

大分市国際化推進計画策定に係る市民意識調査

— 報告書 —

平成27年3月

大分市企画部文化国際課

目次

I 調査計画	1
II 個人調査結果	3
【1】回答者の属性	3
1. 性別構成比	3
2. 年齢別構成比	3
3. 居住年数	4
【2】国際交流の実態や意識について	5
1. 海外旅行・海外生活経験	5
2. 外国人との交流・国際交流・国際協力経験	6
3. 外国人との交流・国際交流・国際協力への参加意向	7
4. 外国人との交流や国際交流・協力で大切にしたいこと	8
5. 「国際交流に参加したくない」「どちらでもない」理由	11
6. 大分市と関係の深い地域	13
7. 国際交流・協力で今後、力を入れるべきこと	15
【3】外国籍市民との共生について	18
1. 地域住民が暮らしやすいと思える都市づくりについて	18
2. 外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりに必要と思うこと	20
3. 外国籍市民に望むことや期待すること	23
【4】その他について	26
1. 大分市固有の特色や特徴で大切にしたいこと	26
2. 現在、実施している事業について	29
3. 姉妹・友好都市との交流において、望ましいこと	31
4. 新たな都市間提携について	34
III 留学生調査結果	36
【1】回答者の属性	36
1. 性別構成比	36
2. 年齢別構成比	36
3. 留学生の種類	37
4. 専攻	37
5. 居住年数	38

【2】国際交流の実態や意識について	39
1. 1カ月の生活費	39
2. 奨学金や住宅助成金の受給状況	40
3. 1カ月当たり奨学金・住宅助成金の受給額	41
4. アルバイト経験	42
5. アルバイトの種類	43
6. アルバイトに対する希望	43
7. 住居形態	44
8. 同居者(ルームシェア等)の有無	45
9. 1カ月の家賃	46
10. 住居の不満	47
11. 勉強や仕事以外での日本人との交流	49
【3】国際交流に対する意識や意向などについて	51
1. 市民との国際交流の希望	51
2. 国際交流やボランティア活動への関心	52
3. 必要な生活情報の入手先	54
4. 現在、最も欲しいと思う情報	56
5. 大分市の好きなおところ	59
6. 卒業後の進路希望	62
IV 国際交流団体調査結果	64
【1】団体の属性	64
1. 団体の形態	64
2. 会員数	64
3. 会員の主な職業	65
4. 団体運営の主な財源	65
【2】活動について	66
1. 国際交流・協力活動	66
2. 活動上の問題点や課題	69
3. 大分市固有の特色や特徴で大切にしたいこと	72
4. 国際交流・協力を行う場合の行政に対する希望	75
V フリーアンサー集約結果	78
【1】個人／現在、実施している事業に対する意見等	78
【2】留学生／アルバイトに対する希望	89
【3】国際交流団体／国際化や国際交流に関する意見	92

I 調査計画

【調査の目的】

本調査は、本市の国際化諸施策に関する市民や留学生、関連団体等の意見やニーズ等を把握し、「第3次大分市国際化推進計画（平成28年度～平成32年度）」を策定するための基礎資料を得るとともに、国際化諸施策を総合的・計画的に推進することを目的として実施した。

【調査対象】

1. 個人／市内に居住する20歳以上の市民
(内訳)
 - ・自治委員 …………… 688人
 - ・市政記者 …………… 26人
 - ・無作為抽出 ……2,000人

 - ・合計 ……………2,714人
2. 留学生／市内に居住する留学生
3. 国際交流団体／市内に所在する国際交流事業を行う各種団体

【調査方法】

郵送配布・郵送回収（留学生については大学等への持ち込み配布・依頼）

【調査期間】

平成26年2月

【回収結果】

	配布数	有効回収数	有効回収率
1. 個人	2,714人	1,206人	44.4%
2. 留学生	600人	262人	43.7%
3. 国際交流団体	129人	62人	48.1%

【報告書の見方について】

1. 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。従って回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
2. 2つ以上の回答が可能な複数回答質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
3. 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、該当数^{*}を「n」で表記している。
4. 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
5. 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
6. 設問によっては、選択肢が大きく異なる場合を除き、平成21年度に実施した同様の調査(「前回調査」と表記)との比較を行っている。
7. この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

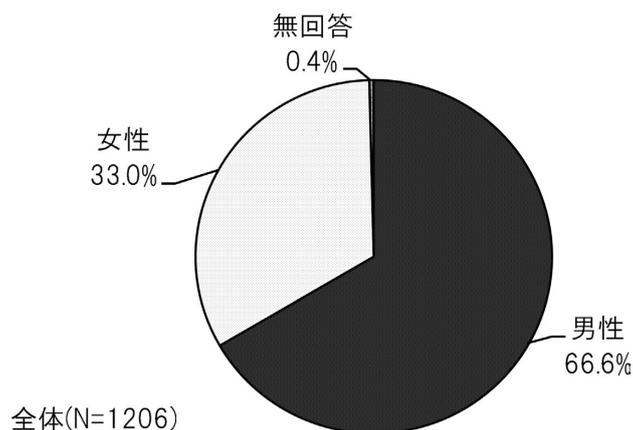
※(例)問Aで1と回答した人のみが、問Bを答える場合の問Bの基数、あるいはクロス集計における各属性(「男性」や「●歳代」・・・)など、限定された回答者数

Ⅱ 個人調査結果

1 回答者の属性

1. 性別構成比(問1)

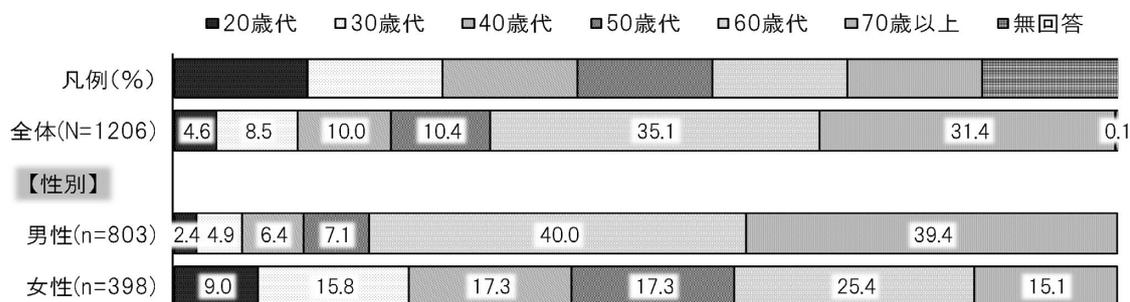
対象者の性別構成比は、男性が66.6%、女性が33.0%と、およそ7:3の構成となっている。



2. 年齢別構成比(問2)

対象者の年齢別構成比は、「60歳代」の割合が35.1%と最も高く、近い割合で「70歳以上」が31.4%で続き、次いで「50歳代」(10.4%)、「40歳代」(10.0%)の順となっている。『60歳以上』の合計で、全体の7割近く(66.5%)を占めている。

性別では、男性は『60歳以上(合計)』で全体の約8割を占めているが、女性は『50歳以下(合計)』で全体の約6割を占め、男性に比べ相対的に年齢の若い層が多くなっている。

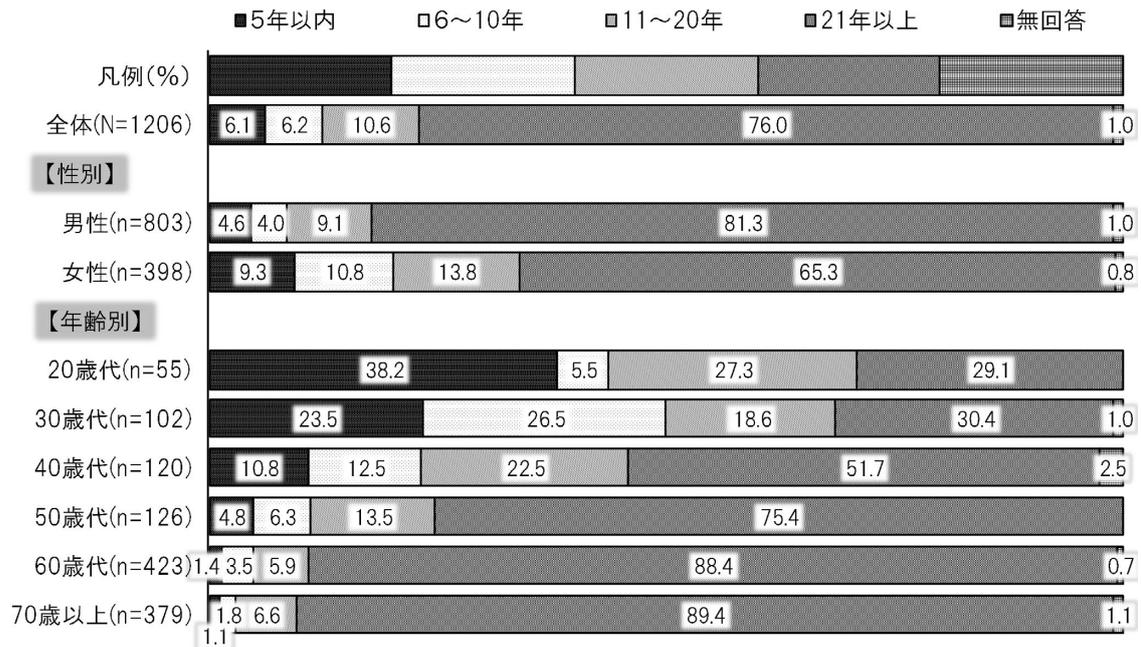


3. 居住年数(問3)

市内での居住年数は、「21年以上」の割合が76.0%と最も高く、次いで「11～20年」が10.6%で続いている。

性別では、男性は「21年以上」が女性を大きく上回っている。

年齢別では、年齢が若い層ほど「5年以内」が高くなる傾向にあり、20歳代では約4割を占めている。また、年齢が上がるほど「21年以上」が高くなり、居住年数は年齢におおむね比例している。



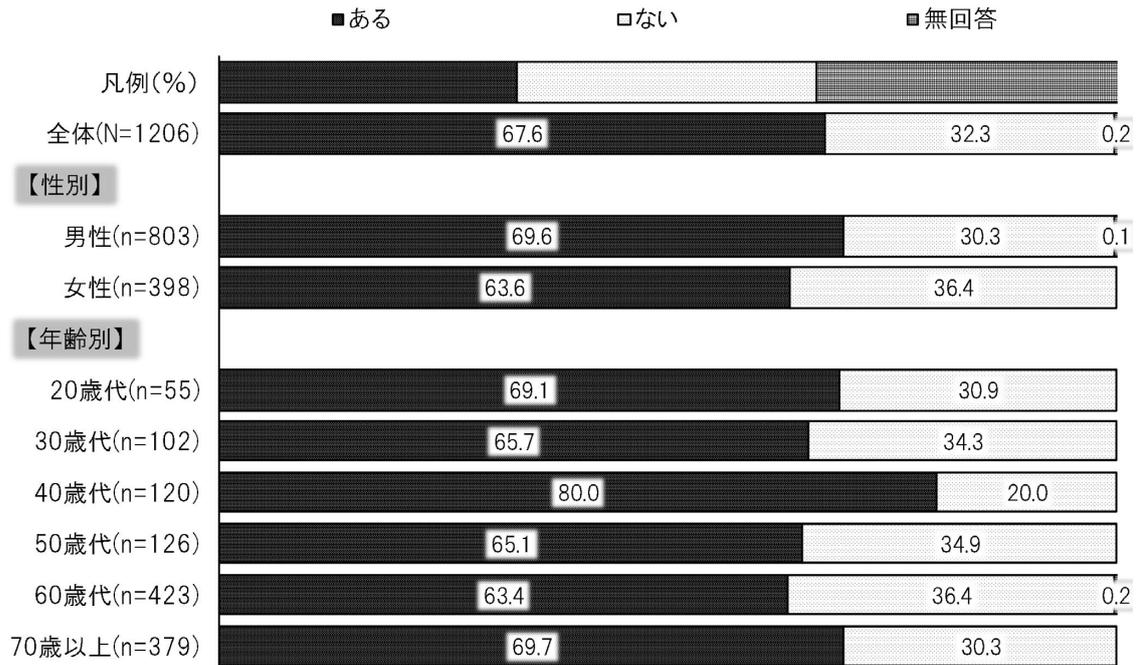
2 国際交流の実態や意識について

1. 海外旅行・海外生活経験(問4)

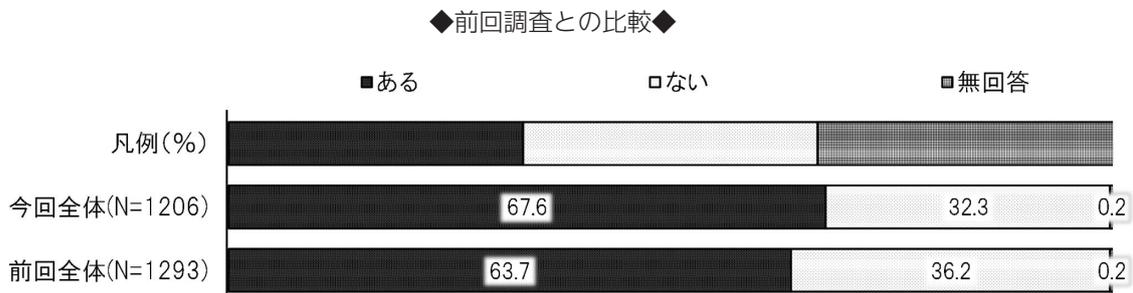
問4 海外旅行経験、または海外生活経験がありますか？

海外旅行・海外生活経験については、「ある」が7割近く(67.6%)を占めている。

「ある」の割合は、性別では男性、年齢別では特に40歳代で8割を占め他の年齢層を大きく上回っている。



前回調査との比較をみると、今回調査では海外旅行・海外生活経験者はやや増加した。

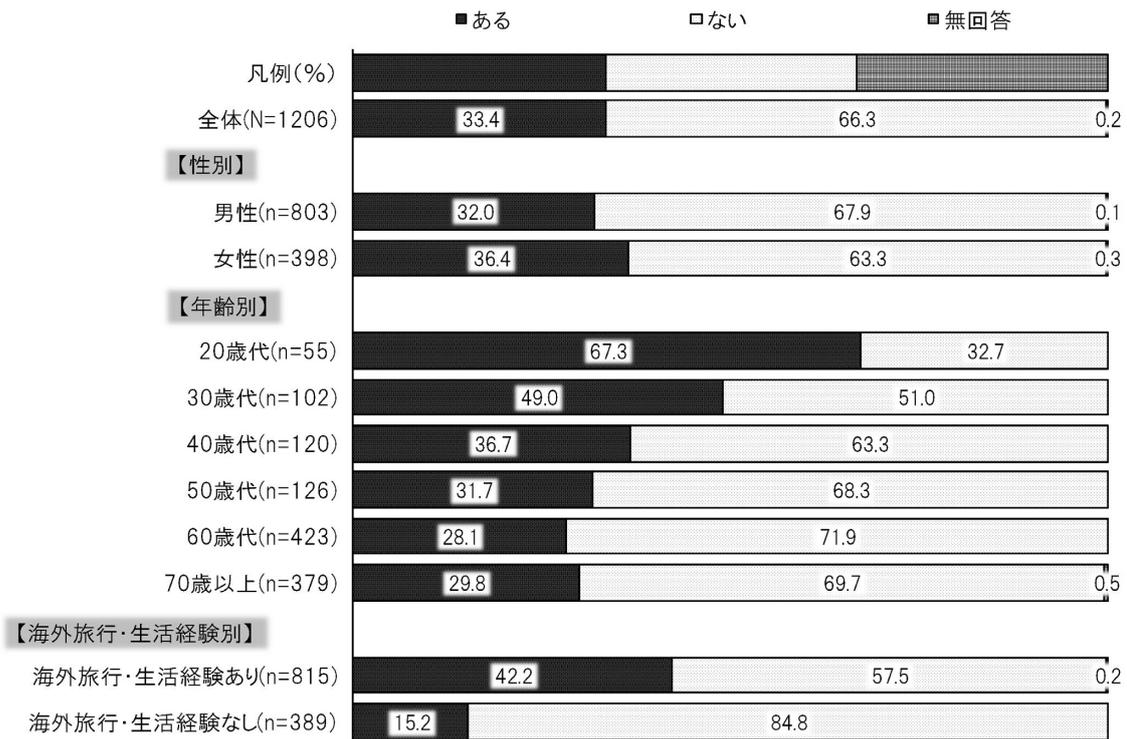


2. 外国人との交流・国際交流・国際協力経験(問5)

問5 外国人との交流や国際交流(国際協力を含む)の経験がありますか？

外国人との交流や国際交流(国際協力を含む)の経験については「ある」が33.4%であった。性別では、女性は男性に比べて「ある」がやや高く、年齢別では年齢が若い層ほど経験者が多くなっており、特に20歳代では6割以上を占めている。

海外旅行・生活経験別で見ると、海外旅行・生活経験がある層で4割以上が「ある」と回答している。



前回調査との比較をみると、大きな差は目立たない。

◆前回調査との比較◆



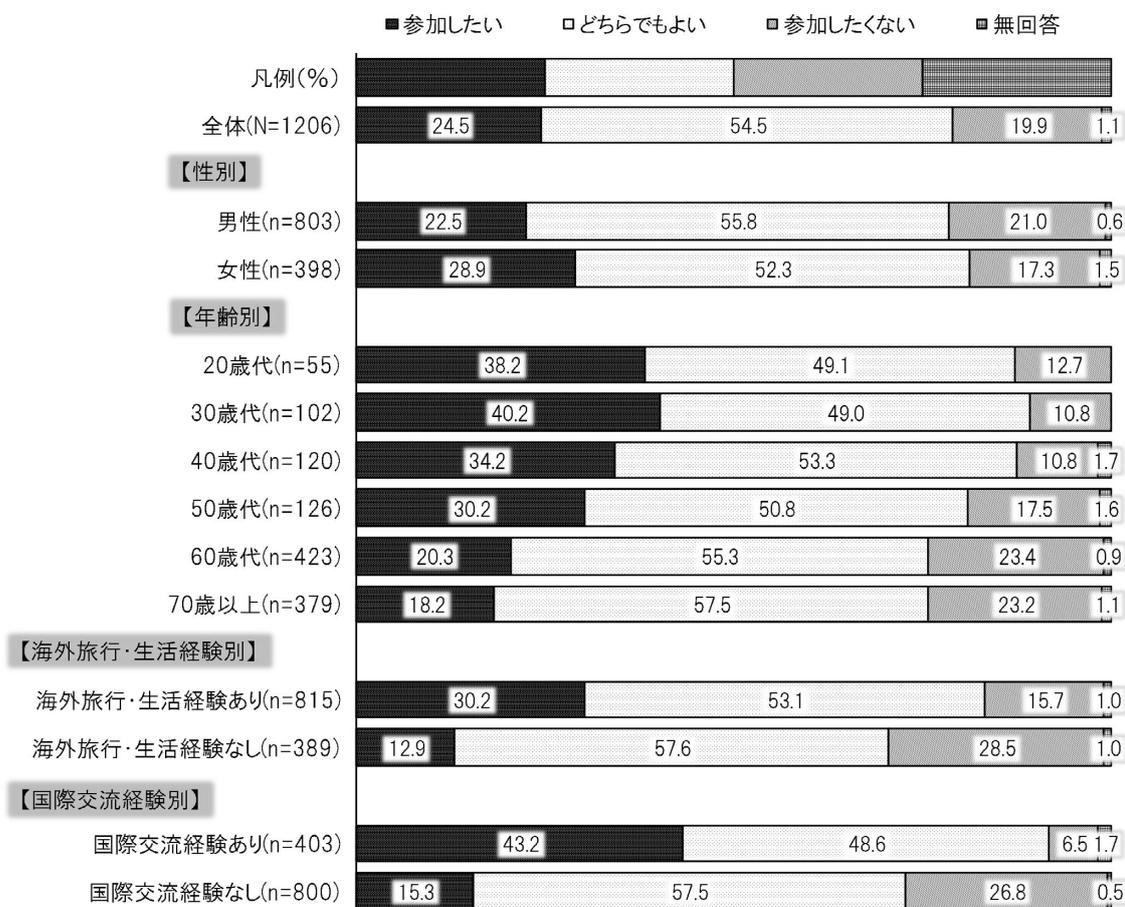
3. 外国人との交流・国際交流・国際協力への参加意向(問6)

問6 外国人との交流や国際交流(国際協力を含む)に参加してみたいですか？

外国人との交流や国際交流(国際協力を含む)への参加意向については、およそ4人に1人(24.5%)が「参加したい」と回答しており、「参加したくない」は約2割(19.9%)となっている。

性別では、女性は男性に比べて参加意向がやや高く、年齢別ではおおむね年齢が若い層ほど参加意向も高くなる傾向にある。

また、海外旅行・生活経験がある層や国際交流経験がある層ほど参加意向は高く、特に国際交流経験がある層の参加意向は4割以上を占めている。



前回調査との比較では、今回調査では「どちらでもよい」が増加し、参加意向が低下した。

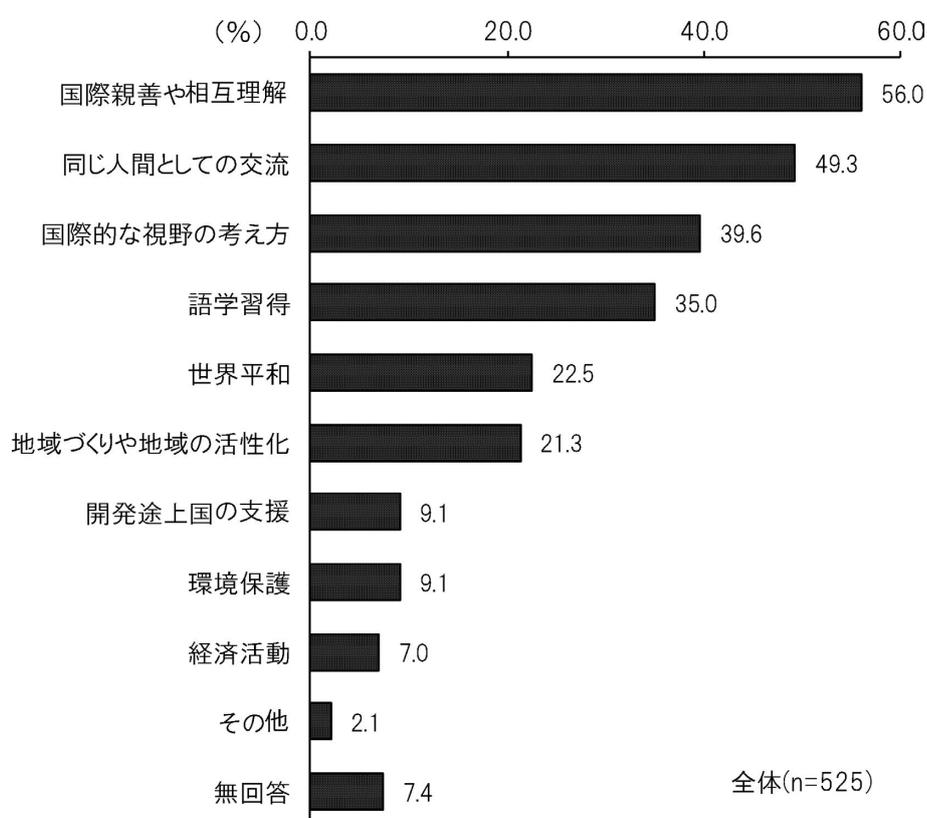
◆前回調査との比較◆



4. 外国人との交流や国際交流・協力で大切にしたいこと(問7)

問7 問5で「外国人との交流や国際交流の経験がある」とお答えした方、または、問6で「外国人との交流や国際交流に参加してみたい」とお答えした方におたずねします。外国人との交流や国際交流・協力で大切にしたいことは何ですか？
(複数回答可)

外国人との交流や国際交流・協力で大切にしたいことについては、「国際親善や相互理解」が56.0%と最も高く、次いで「同じ人間としての交流」(49.3%)、「国際的な視野の考え方」(39.6%)、「語学習得」(35.0%)の順となっている。



性別では、男性は「地域づくりや地域の活性化」「環境保護」がやや高く、女性は特に「語学習得」が高くなっている。

年齢別では、年齢が若い層ほど「語学習得」が高くなる傾向にある。また、50歳代で「同じ人間としての交流」「国際的な視野の考え方」、70歳以上で「地域づくりや地域の活性化」が他の年齢層に比べてそれぞれ高い。

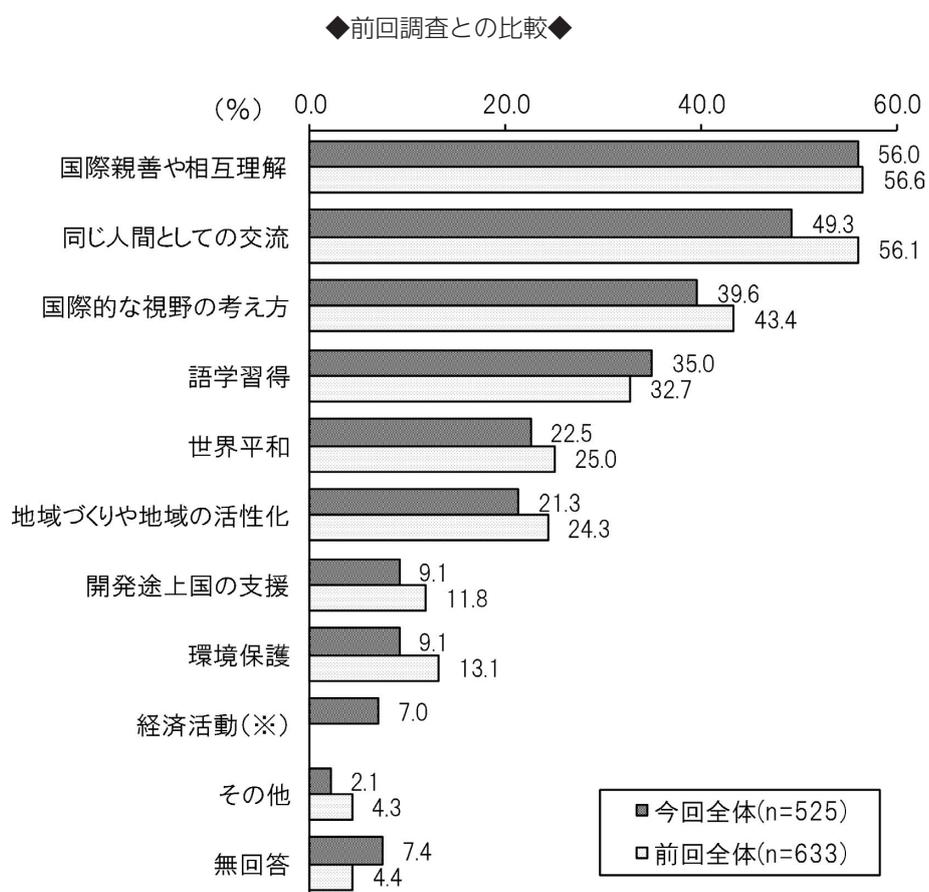
単位(%)		国際親善や相互理解	同じ人間としての交流	国際的な視野の考え方	語学習得	世界平和	地域づくりや地域の活性化	開発途上国の支援	環境保護	経済活動	その他
全体(n=525)		56.0	49.3	39.6	35.0	22.5	21.3	9.1	9.1	7.0	2.1
性別	男性(n=340)	55.0	45.6	35.3	26.8	19.7	23.2	8.5	10.3	9.1	1.5
	女性(n=184)	57.6	56.0	47.3	50.5	27.2	17.9	10.3	7.1	3.3	3.3
年齢別	20歳代(n=40)	55.0	40.0	40.0	52.5	22.5	17.5	12.5	10.0	7.5	2.5
	30歳代(n=64)	51.6	43.8	43.8	62.5	18.8	15.6	9.4	7.8	4.7	0.0
	40歳代(n=61)	52.5	52.5	44.3	42.6	19.7	16.4	11.5	4.9	11.5	1.6
	50歳代(n=57)	61.4	61.4	59.6	29.8	29.8	21.1	8.8	3.5	5.3	3.5
	60歳代(n=159)	59.1	49.7	31.4	28.3	20.1	17.6	10.7	11.3	10.7	3.1
	70歳以上(n=144)	54.2	47.9	36.8	24.3	25.0	31.3	5.6	11.1	2.8	1.4

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（性別・年齢別など）において最も高い割合を示している。（例／性別の場合、男性と女性を比べて高い方に、年齢別の場合、20歳代から70歳以上のうち、最も割合が高い年齢層に網掛け。）

但し、回答割合が10%未満の項目、n数が10未満の項目、及び「その他」については網掛けしていない。また「無回答」は表記から省略している。

（本報告書においては以下同様）

前回調査との比較をみると、今回調査では「同じ人間としての交流」「国際的な視野の考え方」「環境保護」などが低下した。

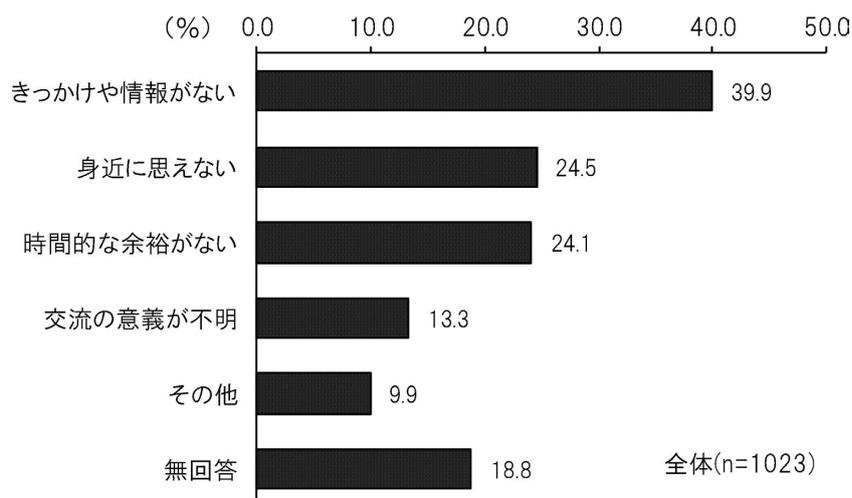


※前回調査では選択肢に無い

5. 「国際交流に参加したくない」「どちらでもない」理由(問8)

問8 問5で「外国人との交流や国際交流の経験がない」、または、問6で「外国人との交流や国際交流に参加したくない」、もしくは、「どちらでもない」とお答えした方におたずねします。その主な理由は何ですか？(2つ以内で回答)

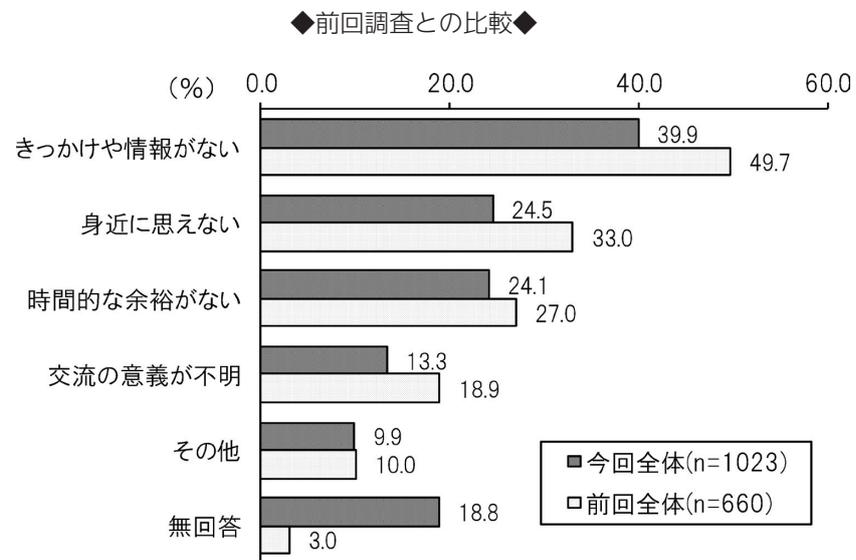
「国際交流に参加したくない」「どちらでもない」理由については、「きっかけや情報がない」が39.9%と最も高く、次いで「身近に思えない」(24.5%)、「時間的な余裕がない」(24.1%)の順となっている。



性別では、男性は「交流の意義が不明」、女性は「きっかけや情報がない」がそれぞれ高くなっている。年齢別では、20歳代と50歳代で「時間的な余裕がない」が他の年齢層に比べ高い。

単位(%)		きっかけや情報がない	身近に思えない	時間的な余裕がない	交流の意義が不明	その他
全体(n=1023)		39.9	24.5	24.1	13.3	9.9
性別	男性(n=701)	37.8	24.1	23.8	15.7	10.1
	女性(n=318)	45.0	25.8	25.2	7.9	9.4
年齢別	20歳代(n=37)	40.5	24.3	40.5	10.8	2.7
	30歳代(n=75)	30.7	12.0	30.7	13.3	17.3
	40歳代(n=94)	45.7	24.5	25.5	9.6	3.2
	50歳代(n=104)	46.2	19.2	37.5	11.5	5.8
	60歳代(n=374)	41.2	31.0	18.7	14.7	9.4
	70歳以上(n=339)	36.9	21.8	22.4	13.6	12.7

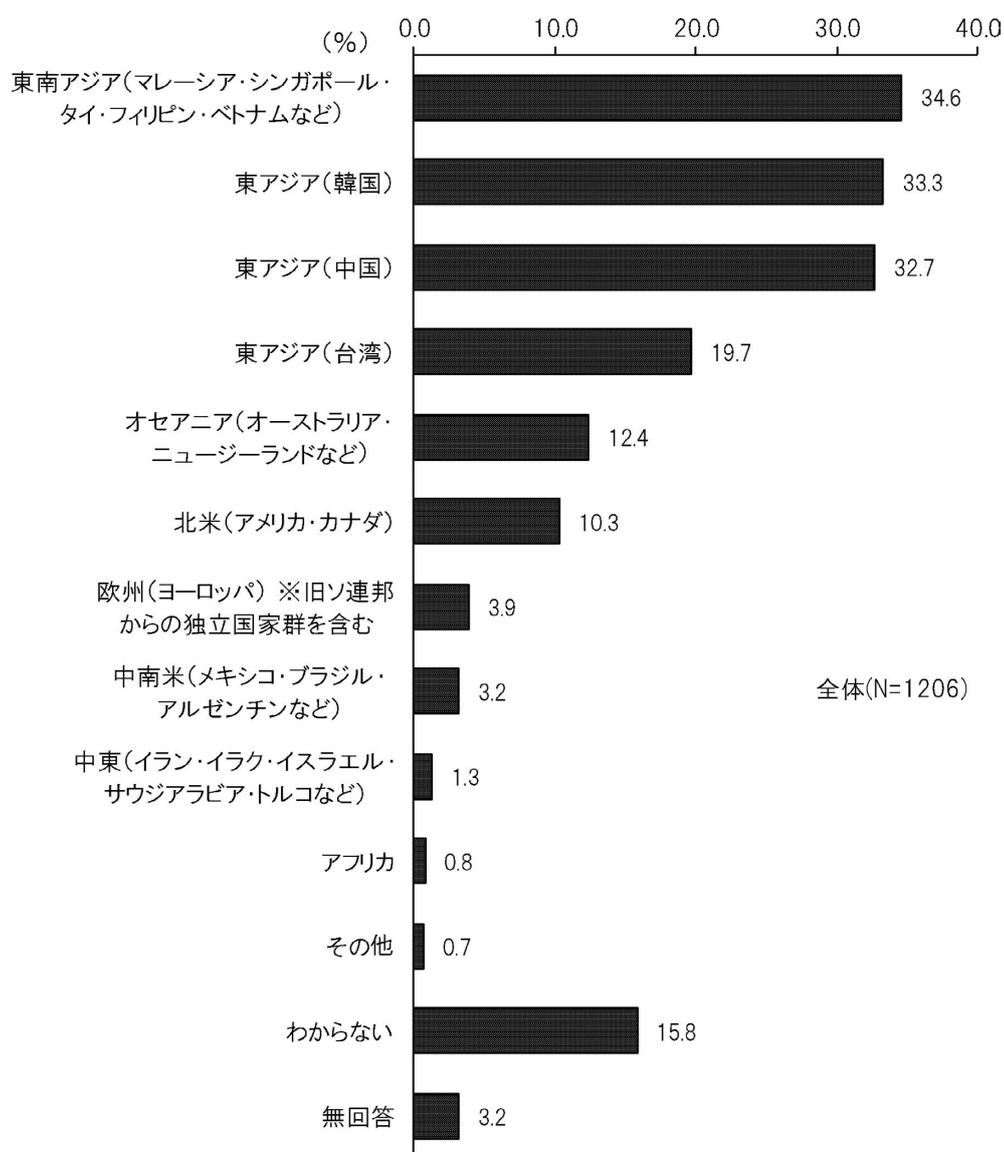
前回調査との比較をみると、今回調査では「きっかけや情報がない」「身近に思えない」「交流の意義が不明」などが低下した。



6. 大分市と関係の深い地域(問9)

問9 大分市にとって関係の深い地域、または将来的に深くなると思われる地域はどこですか？(2箇所以内で回答)

大分市と関係の深い地域、将来的に深くなると思われる地域については、「東アジア(マレーシア・シンガポール・タイ・フィリピン・ベトナムなど)」が34.6%と最も高く、ほぼ並んで「東アジア(韓国)」が33.3%、「東アジア(中国)」が32.7%が続いている。以下「東アジア(台湾)」(19.7%)、「オセアニア(オーストラリア・ニュージーランドなど)」(12.4%)、「北米(アメリカ・カナダ)」(10.3%)の順となっている。



性別では、男性は女性に比べて特に「東南アジア(マレーシア・シンガポール・タイ・フィリピン・ベトナムなど)」が高くなっている。

年齢別では、40歳代で「東アジア(韓国)」、70歳以上で「東アジア(中国)」「東アジア(台湾)」、20歳代で「北米(アメリカ・カナダ)」が他の年齢層に比べそれぞれ高い。

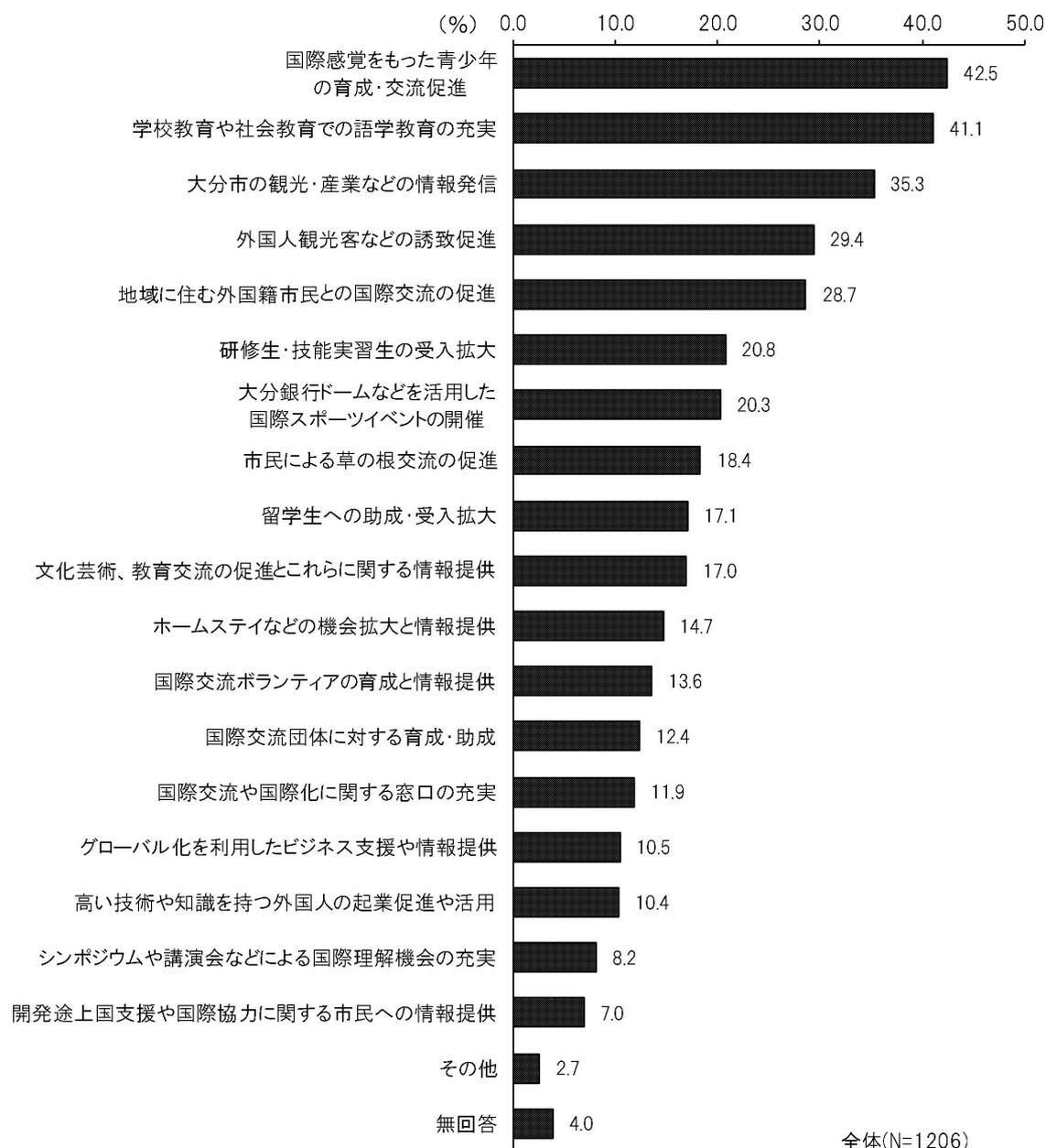
単位(%)		東南アジア(マレーシア・シンガポール・ベトナムなど)	東アジア(韓国)	東アジア(中国)	東アジア(台湾)	オセアニア(オーストラリア・ニュージーランドなど)	北米(アメリカ・カナダ)	含ソ連邦からの独立国家群を	欧州(ヨーロッパ) ※旧	中南米(メキシコ・ブラジル・アルゼンチンなど)	中東(イラン・サウジアラビア・トルコなど)	アフリカ
全体(N=1206)		34.6	33.3	32.7	19.7	12.4	10.3	3.9	3.2	1.3	0.8	
性別	男性(n=803)	39.7	32.4	35.4	21.8	13.9	10.3	4.0	3.6	1.6	0.7	
	女性(n=398)	24.4	35.4	27.6	15.3	9.3	10.3	3.8	2.3	0.8	1.0	
年齢別	20歳代(n=55)	32.7	34.5	25.5	12.7	10.9	18.2	5.5	1.8	1.8	0.0	
	30歳代(n=102)	23.5	30.4	28.4	17.6	5.9	9.8	5.9	2.0	2.0	0.0	
	40歳代(n=120)	25.8	39.2	27.5	20.0	7.5	6.7	5.0	3.3	0.0	0.8	
	50歳代(n=126)	38.1	34.1	27.0	15.1	17.5	3.2	3.2	0.8	2.4	2.4	
	60歳代(n=423)	39.7	31.0	33.1	18.2	13.2	9.5	3.8	4.3	1.2	0.9	
	70歳以上(n=379)	33.8	34.6	38.0	24.5	13.5	13.7	3.2	3.2	1.3	0.5	

単位(%)		その他	わからない
全体(N=1206)		0.7	15.8
性別	男性(n=803)	0.9	10.7
	女性(n=398)	0.5	26.1
年齢別	20歳代(n=55)	0.0	18.2
	30歳代(n=102)	2.0	25.5
	40歳代(n=120)	0.0	25.0
	50歳代(n=126)	0.0	18.3
	60歳代(n=423)	0.7	14.7
	70歳以上(n=379)	1.1	10.6

7. 国際交流・協力で今後、力を入れるべきこと(問10)

問10 国際交流・協力で今後、力を入れるべきことはどれであると考えますか？
(5つ以内で回答)

国際交流・協力で今後、力を入れるべきことについては、「国際感覚をもった青少年の育成・交流促進」が42.5%と最も高く、次いで「学校教育や社会教育での語学教育の充実」(41.1%)、「大分市の観光・産業などの情報発信」(35.3%)、「外国人観光客などの誘致促進」(29.4%)、「地域に住む外国籍市民との国際交流の促進」(28.7%)の順となっている。



性別では、男性は「外国人観光客などの誘致促進」「国際交流団体に対する育成・助成」、女性は「学校教育や社会教育での語学教育の充実」がそれぞれ高くなっている。

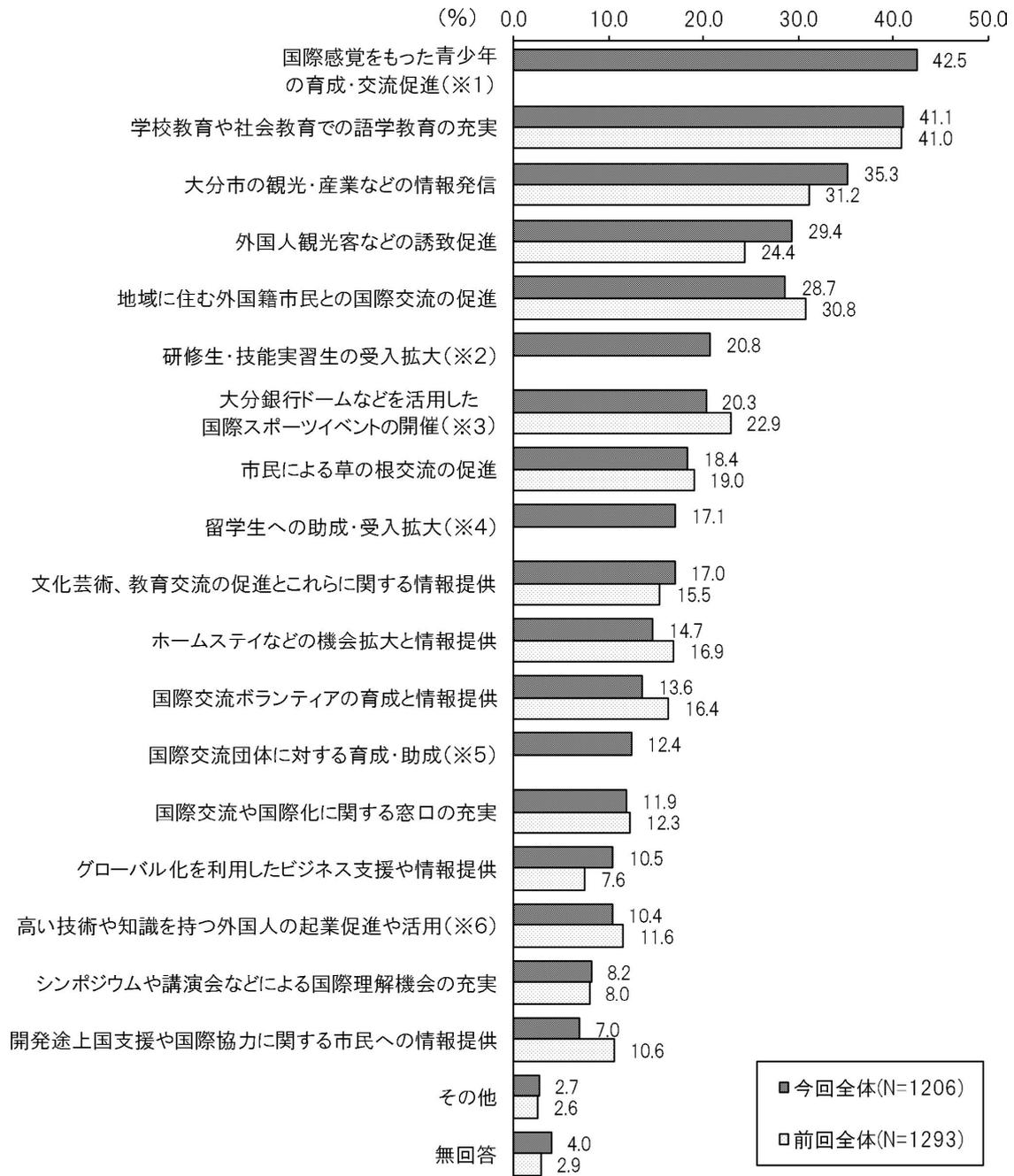
年齢別では、20歳代で「留学生への助成・受入拡大」「ホームステイなどの機会拡大と情報提供」「グローバル化を利用したビジネス支援や情報提供」、30歳代で「高い技術や知識を持つ外国人の起業促進や活用」、50歳代で「文化芸術、教育交流の促進とこれらに関する情報提供」が他の年齢層に比べてそれぞれ高い。

単位(%)		年の育感をもった青少年の育成・交流促進	の語学教育や社会教育での充実	ど大分市の観光・産業などの情報発信	致外国人観光客などの誘致	と地域の国際交流の促進	受研修生・技能実習生の受入拡大	イ活用した国際スポーツ大会の開催	の市民による草の根交流の促進	留大生への助成・受入	文化芸術、教育交流の促進とこれらに関する情報提供
全体(N=1206)		42.5	41.1	35.3	29.4	28.7	20.8	20.3	18.4	17.1	17.0
性別	男性(n=803)	44.8	38.2	37.0	33.7	28.1	22.7	20.2	20.0	17.9	17.1
	女性(n=398)	37.9	46.7	32.2	20.6	29.6	17.1	20.4	15.1	15.3	16.8
年齢別	20歳代(n=55)	18.2	43.6	34.5	20.0	25.5	20.0	29.1	14.5	27.3	18.2
	30歳代(n=102)	30.4	41.2	31.4	28.4	26.5	14.7	24.5	6.9	12.7	10.8
	40歳代(n=120)	41.7	36.7	34.2	24.2	29.2	12.5	28.3	11.7	15.8	14.2
	50歳代(n=126)	27.8	41.3	37.3	17.5	30.2	19.8	16.7	22.2	19.0	30.2
	60歳代(n=423)	46.6	43.3	33.8	29.6	30.0	21.3	16.3	20.6	16.3	16.5
	70歳以上(n=379)	50.1	39.8	38.0	36.4	27.7	25.1	21.1	20.6	17.4	15.6

単位(%)		会ホームステイなどの機会拡大と情報提供	の国際交流ボランティアの育成と情報提供	育国際交流団体に対する育成・助成	す国際交流の窓口の充実	提たグローバル化を支援や情報提供	用外国人の起業知識や活用	高技術や知識を持つ外国人の活用	会などに充てる国際会議や講演会	情報提供に関する市民への国際協力に支えや国際	開途上国や市民への国際	その他
全体(N=1206)		14.7	13.6	12.4	11.9	10.5	10.4	8.2	7.0	2.7		
性別	男性(n=803)	13.9	12.5	15.2	11.0	10.5	10.5	9.5	7.8	2.4		
	女性(n=398)	16.3	15.8	6.8	13.8	10.8	10.1	5.8	5.5	3.3		
年齢別	20歳代(n=55)	30.9	10.9	9.1	10.9	29.1	14.5	7.3	1.8	0.0		
	30歳代(n=102)	15.7	10.8	12.7	11.8	19.6	22.5	1.0	6.9	2.9		
	40歳代(n=120)	11.7	18.3	3.3	13.3	14.2	16.7	5.8	6.7	2.5		
	50歳代(n=126)	15.9	16.7	11.9	15.9	19.8	6.3	8.7	7.9	3.2		
	60歳代(n=423)	14.2	13.5	9.7	10.2	7.6	8.0	8.7	7.1	2.8		
	70歳以上(n=379)	13.2	12.4	19.0	12.4	4.5	8.4	10.3	7.7	2.6		

前回調査との比較をみると、今回調査では「大分市の観光・産業などの情報発信」「外国人観光客などの誘致促進」などが増加し、「地域に住む外国籍市民との国際交流の促進」などがやや低下した。

◆前回調査との比較◆



※1：前回調査では「青少年交流の促進」(29.9%)、「国際感覚をもった青少年の育成」(25.3%)
 ※2、4：前回調査では「留学生、研修生の受入拡大」(20.7%)、「留学生、研修生への助成」(11.5%)
 ※3：前回調査では「九州石油ドームなどを活用した国際スポーツイベントの開催」
 ※5：前回調査では「国際交流団体の育成」(14.8%)、「国際交流に対する助成」(11.9%)
 ※6：前回調査では「高い技術や知識を持つ留学生などの企業促進や活用」
 注：今回調査には「国際交流を行う施設の整備」(前回調査：12.8%)の選択肢が無い

3 外国籍市民との共生について

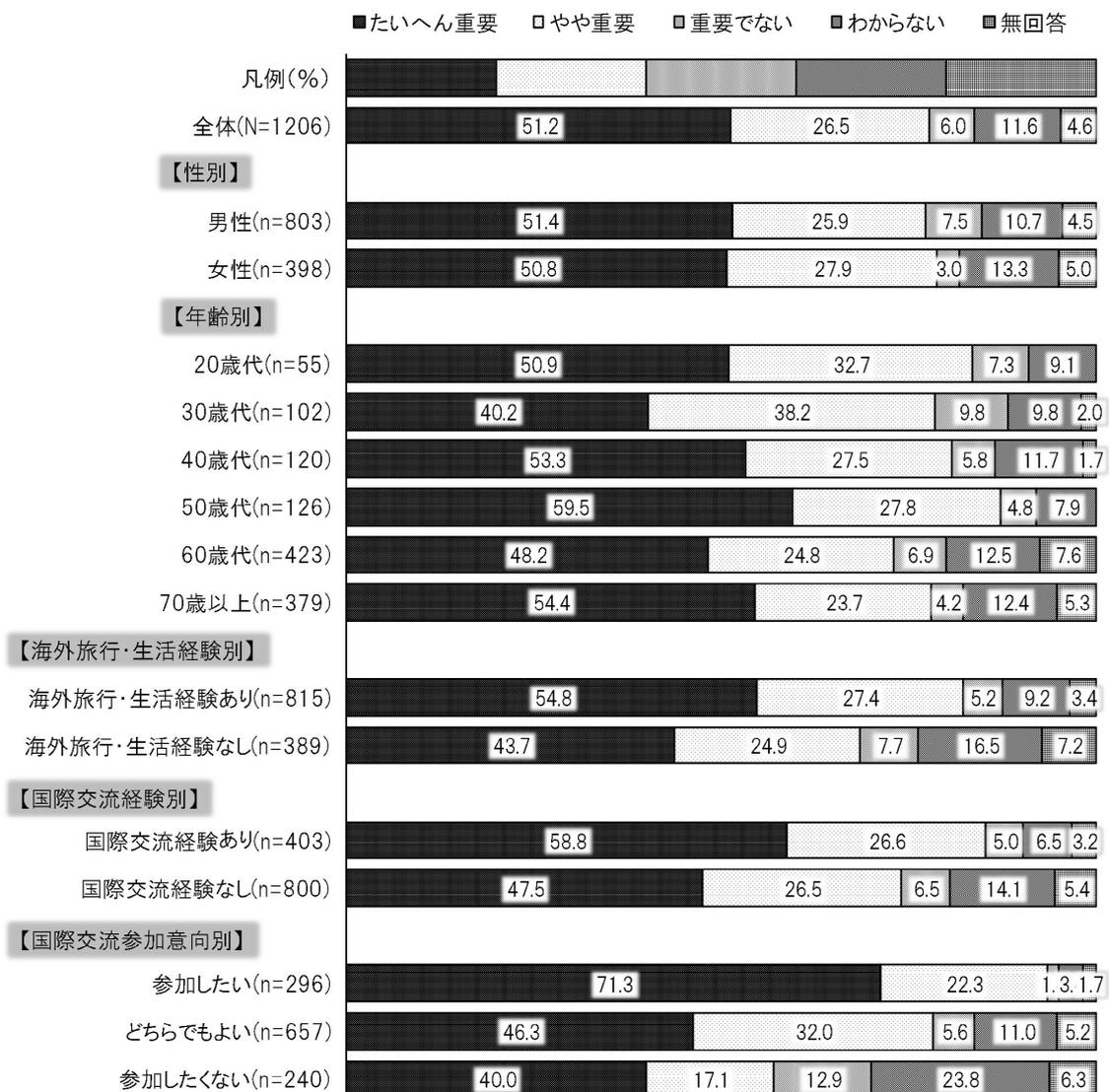
1. 地域住民が暮らしやすいと思える都市づくりについて(問11)

問11 国籍などに関係なく地域住民が暮らしやすいと思える都市づくりをどのように思いますか？

地域住民が暮らしやすいと思える都市づくりについては、「たいへん重要」が過半数(51.2%)を占め最も高く、「やや重要」(26.5%)を合わせると合計8割近く(77.7%)が『重要』という意識を示している。

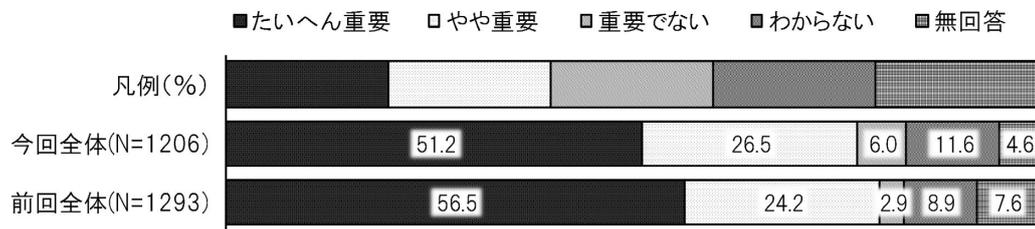
性別では大きな差は目立たないが、年齢別では、ほぼすべての年齢層において『重要』の占める割合が高く、特に50歳代で「たいへん重要」が6割近くを占め、他の年齢層を上回っている。

海外旅行・生活経験がある層、国際交流経験がある層、外国人との交流・国際交流・国際協力への参加意向がある層ほど「たいへん重要」が高くなっている。



前回調査との比較をみると、今回調査では「たいへん重要」が低下した。

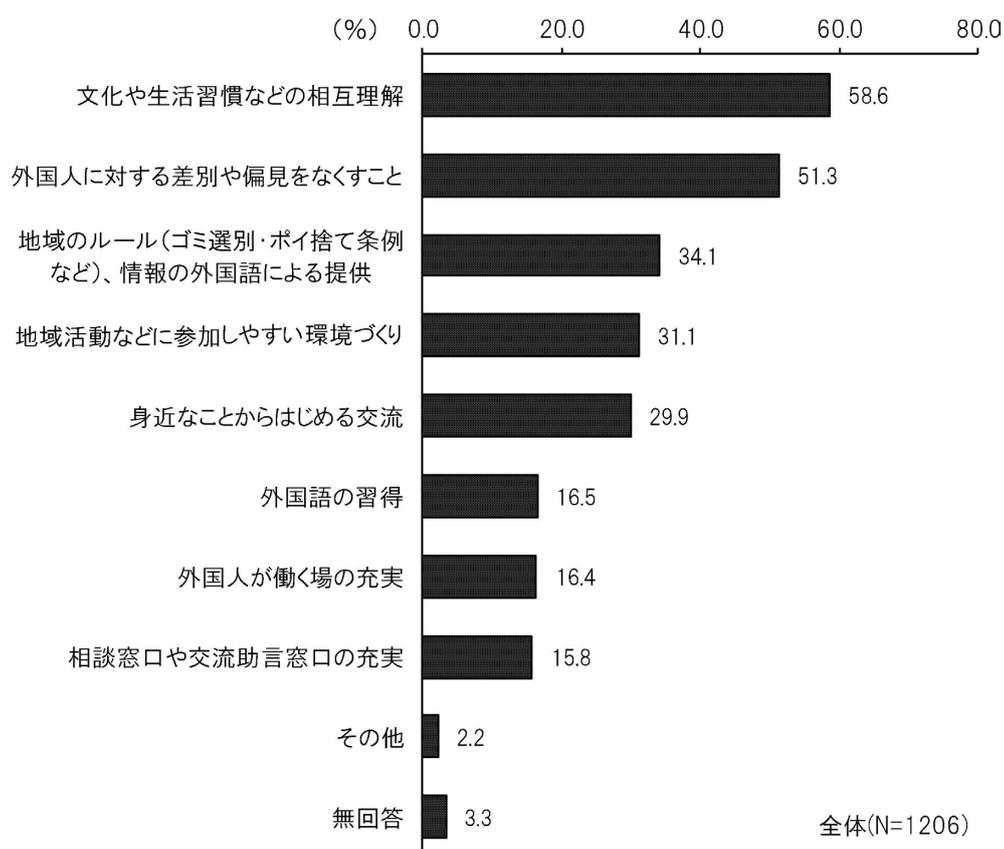
◆前回調査との比較◆



2. 外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりに必要と思うこと(問12)

問12 外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりをするうえで必要と思われることは何ですか？(3つ以内で回答)

外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりに必要と思うことについては、「文化や生活習慣などの相互理解」が58.6%と最も高く、次いで「外国人に対する差別や偏見をなくすこと」(51.3%)、「地域のルール(ゴミ選別・ポイ捨て条例)など、情報の外国語による提供」(34.1%)、「地域活動などに参加しやすい環境づくり」(31.1%)、「身近なことからはじめる交流」(29.9%)の順となっている。



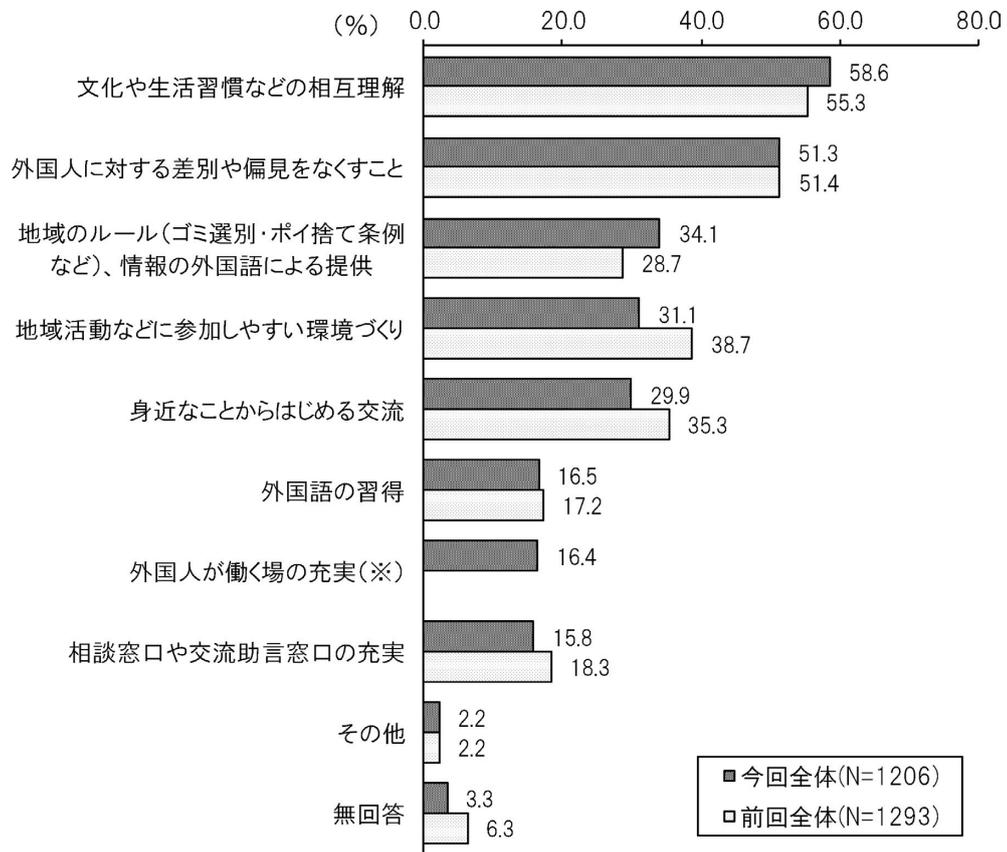
性別では、男性は「地域活動などに参加しやすい環境づくり」、女性は「外国人に対する差別や偏見をなくすこと」がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、30歳代で「地域のルール(ゴミ選別・ポイ捨て条例など)、情報の外国語による提供」、50歳代で「外国人に対する差別や偏見をなくすこと」などが他の年齢層に比べて高くなっている。

単位(%)		理解文化や生活習慣などの相互	外国人に対する差別や偏見をなくすこと	地域のルール(ゴミ選別・ポイ捨て条例など)による提供	地域活動などに参加しやすい環境づくり	身近なことから始める交流	外国語の習得	外国人が働く場の充実	相談窓口や交流助言窓口の充実	その他
全体(N=1206)		58.6	51.3	34.1	31.1	29.9	16.5	16.4	15.8	2.2
性別	男性(n=803)	58.2	48.4	32.3	35.1	30.3	16.8	17.4	14.4	2.5
	女性(n=398)	60.1	57.0	37.7	23.1	29.1	15.8	14.1	18.3	1.5
年齢別	20歳代(n=55)	69.1	47.3	36.4	25.5	21.8	16.4	29.1	18.2	0.0
	30歳代(n=102)	60.8	49.0	51.0	11.8	23.5	14.7	19.6	21.6	2.9
	40歳代(n=120)	65.8	42.5	41.7	25.8	23.3	16.7	20.8	21.7	1.7
	50歳代(n=126)	61.1	61.9	33.3	22.2	31.7	13.5	11.1	24.6	4.0
	60歳代(n=423)	57.2	47.0	31.7	35.0	31.0	17.0	15.4	11.8	1.9
	70歳以上(n=379)	54.9	56.7	29.8	37.5	33.2	17.2	15.3	13.2	2.1

前回調査との比較をみると、今回調査では「文化や生活習慣などの相互理解」「地域のルール（ゴミ選別・ポイ捨て条例など）、情報の外国語による提供」がやや増加し、「地域活動などに参加しやすい環境づくり」「身近なことからはじめる交流」が低下した。

◆前回調査との比較◆

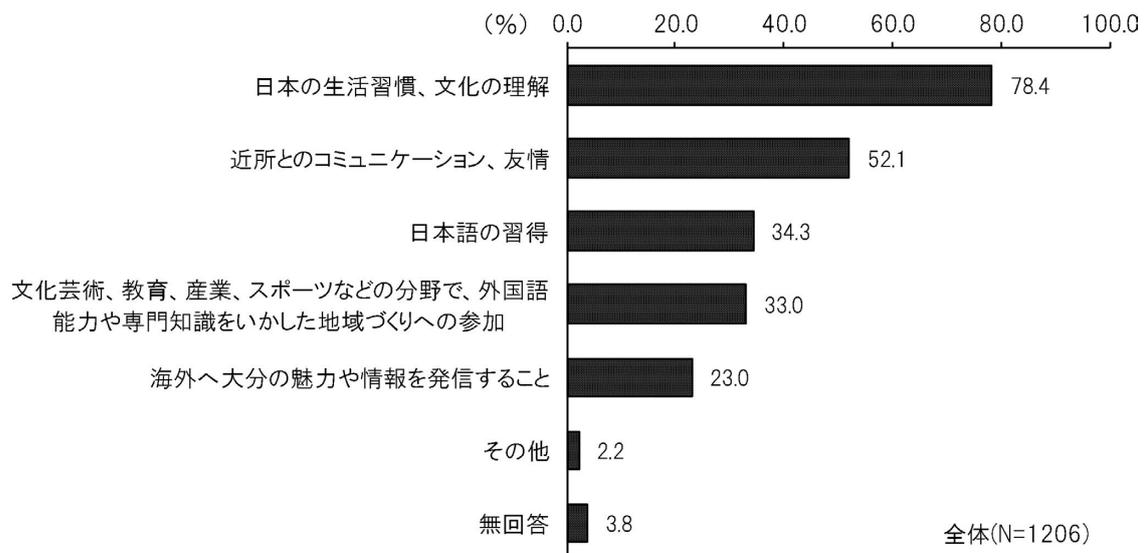


※前回調査では選択肢に無い

3. 外国籍市民に望むことや期待すること(問13)

問13 外国籍市民に望むことや期待することは何ですか？(3つ以内で回答)

外国籍市民に望むことや期待することについては、「日本の生活習慣、文化の理解」が78.4%と最も高く、次いで「近所とのコミュニケーション、友情」(52.1%)、「日本語の習得」(34.3%)「文化芸術、教育、産業、スポーツなどの分野で、外国語能力や専門知識をいかした地域づくりへの参加」(33.0%)の順となっている。



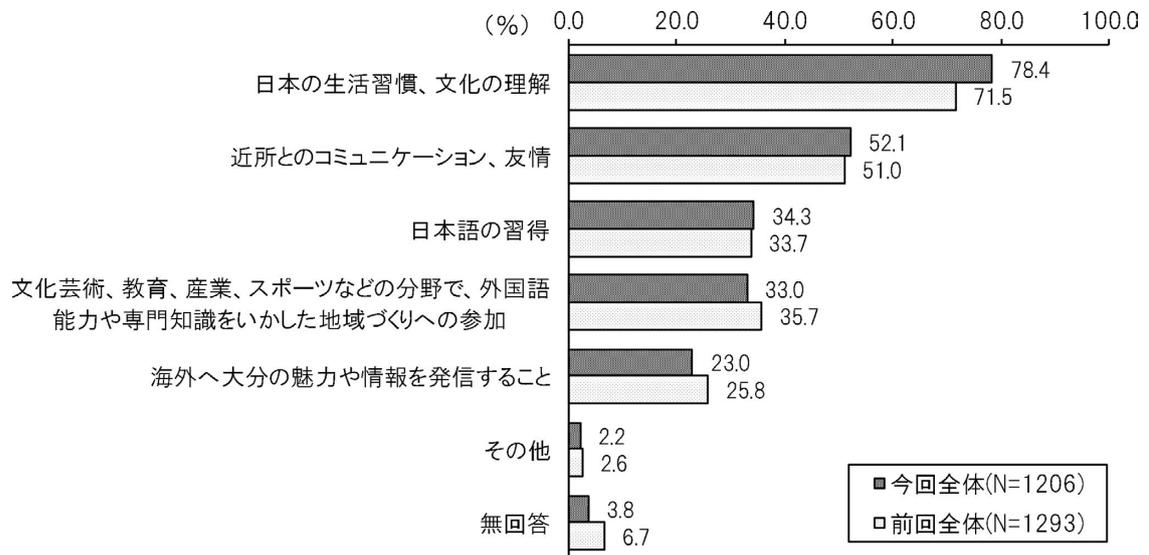
性別では、男性は女性に比べて「近所とのコミュニケーション、友情」「文化芸術、教育、産業、スポーツなどの分野で、外国語能力や専門知識をいかした地域づくりへの参加」がやや高くなっている。

年齢別では、20歳代で「海外へ大分の魅力や情報を発信すること」、50歳代で「日本の生活習慣、文化の理解」、70歳代で「文化芸術、教育、産業、スポーツなどの分野で、外国語能力や専門知識をいかした地域づくりへの参加」が他の年齢層に比べてそれぞれやや高い。

単位(%)		日本の生活習慣、文化の理解	近所とのコミュニケーション、友情	日本語の習得	文化芸術、教育、産業、スポーツなどの分野で、外国語能力や専門知識をいかした地域づくりへの参加	海外へ大分の魅力や情報を発信すること	その他
全体(N=1206)		78.4	52.1	34.3	33.0	23.0	2.2
性別	男性(n=803)	78.2	53.4	34.9	34.1	23.4	2.0
	女性(n=398)	78.9	48.7	33.2	30.7	22.1	2.5
年齢別	20歳代(n=55)	78.2	38.2	25.5	30.9	32.7	1.8
	30歳代(n=102)	68.6	47.1	34.3	27.5	17.6	4.9
	40歳代(n=120)	75.8	48.3	30.8	36.7	22.5	1.7
	50歳代(n=126)	84.1	54.0	38.1	33.3	20.6	4.0
	60歳代(n=423)	77.8	52.0	35.5	29.1	20.3	1.9
	70歳以上(n=379)	80.7	55.9	34.0	38.0	26.9	1.3

前回調査との比較では、今回調査では「日本の生活習慣、文化の理解」が増加した。

◆前回調査との比較◆

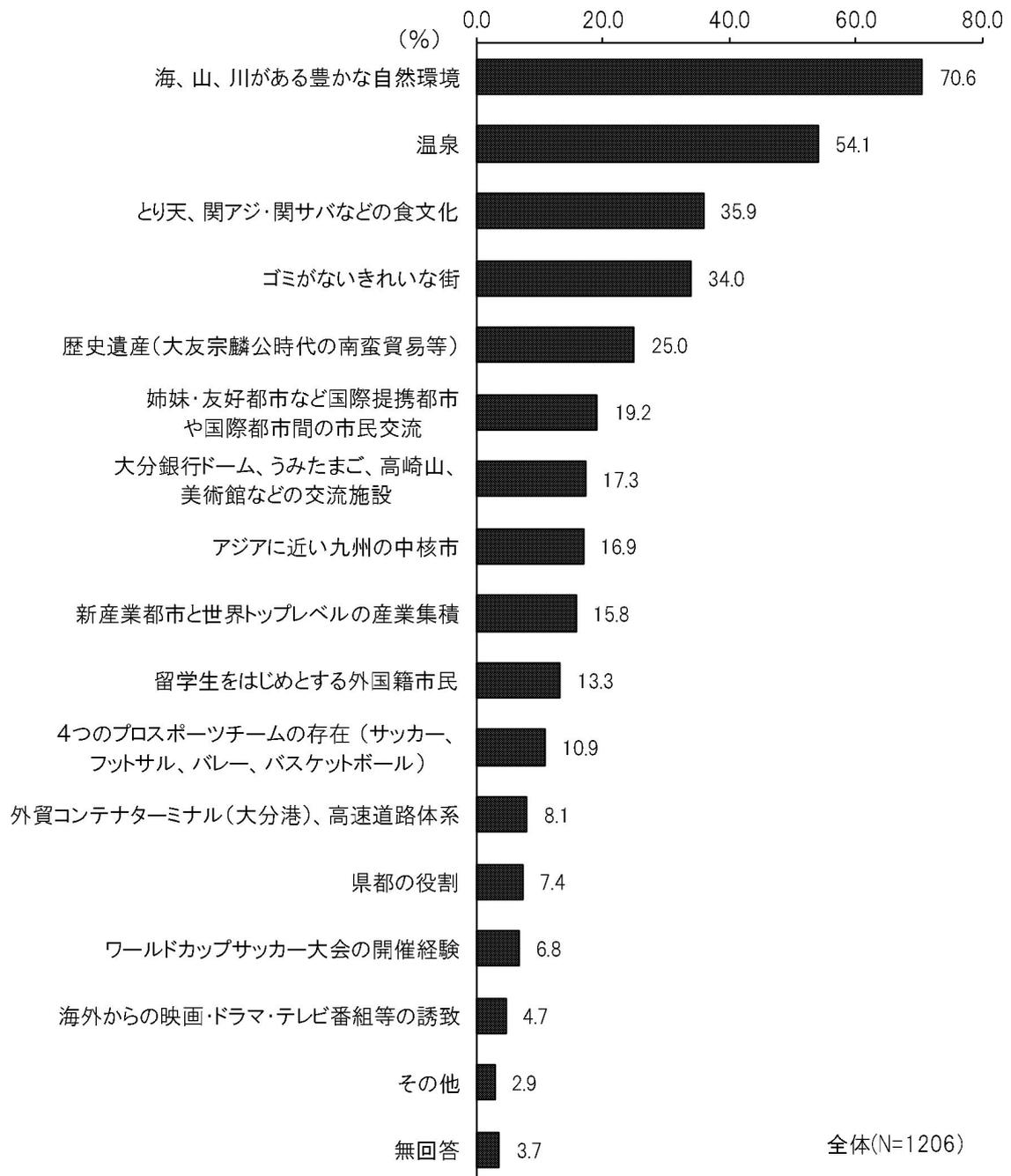


4 その他について

1. 大分市固有の特色や特徴で大切にしたいこと(問14)

問14 大分市固有の特色や特徴で大切にしたいことは何ですか？(複数回答可)

国際化計画をつくる際に大切にしたい大分市固有の特色や特徴については、「海、山、川がある豊かな自然環境」が70.6%と最も高く、次いで「温泉」(54.1%)、「とり天、関アジ・関サバなどの食文化」(35.9%)、「ゴミがないきれいな街」(34.0%)の順となっている。



性別では、男性は「アジアに近い九州の中核市」「新産業都市と世界トップレベルの産業集積」、女性は「温泉」「とり天、関アジ・関サバなどの食文化」がそれぞれ高くなっている。

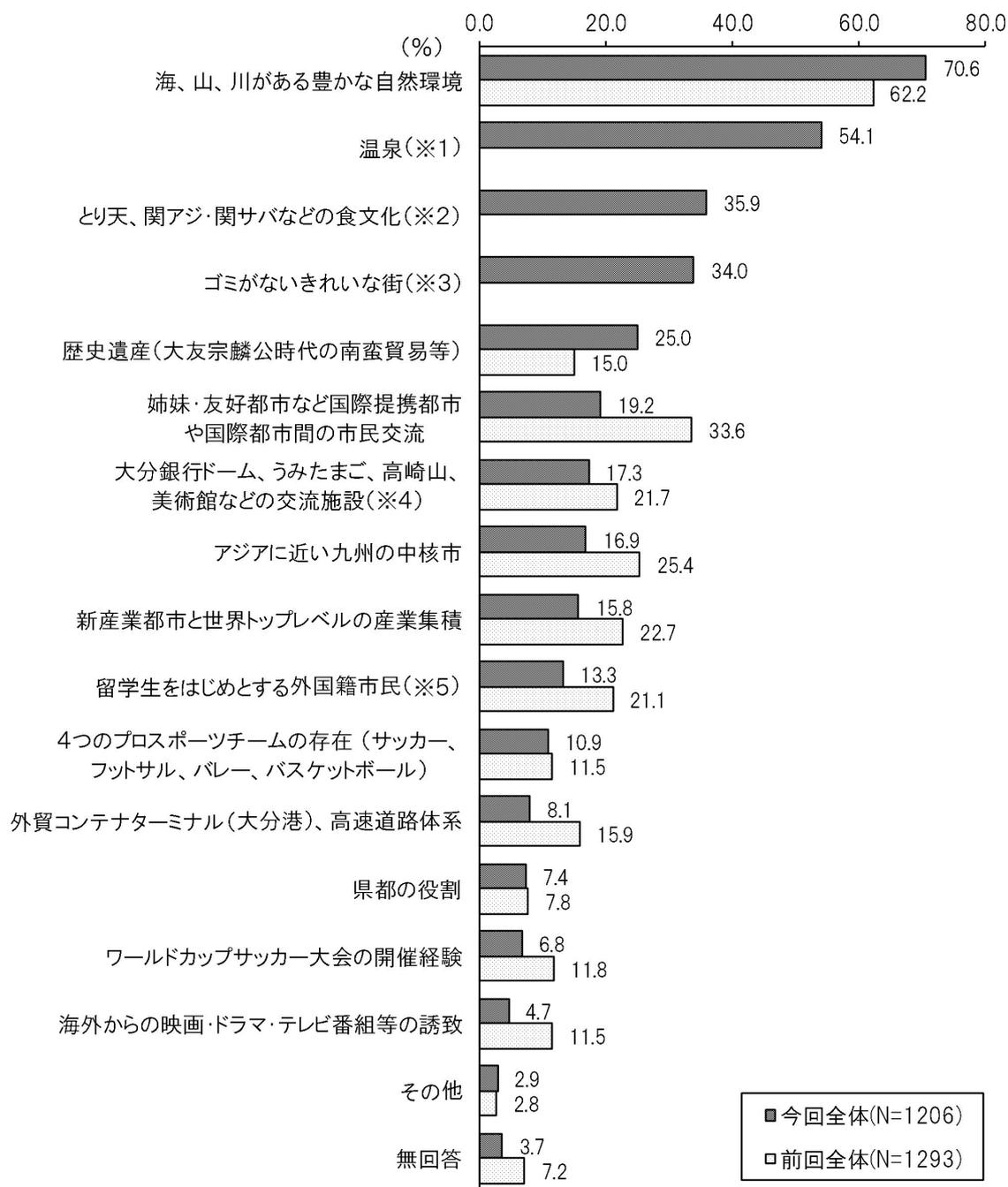
年齢別では、年齢が若い層ほど「温泉」「とり天、関アジ・関サバなどの食文化」が高く、年齢が上がるほど「ゴミがないきれいな街」「歴史遺産(大友宗麟公時代の南蛮貿易等)」「姉妹・友好都市など国際提携都市や国際都市間の市民交流」が高くなる傾向にある。

単位(%)		海、山、川がある豊かな自然環境	温泉	とり天、関アジ・関サバなどの食文化	ゴミがないきれいな街	歴史遺産(大友宗麟公時代の南蛮貿易等)	姉妹・友好都市や国際都市間の市民交流	まごの交流施設、美術館など	大分銀行ドーム、美術館など	アジアに近い九州の中核市
全体(N=1206)		70.6	54.1	35.9	34.0	25.0	19.2	17.3	16.9	
性別	男性(n=803)	68.9	47.7	31.8	33.0	26.2	21.0	16.1	19.4	
	女性(n=398)	74.1	67.1	44.0	35.9	22.4	15.3	19.8	11.8	
年齢別	20歳代(n=55)	67.3	83.6	67.3	21.8	10.9	9.1	23.6	7.3	
	30歳代(n=102)	65.7	78.4	58.8	16.7	12.7	6.9	26.5	9.8	
	40歳代(n=120)	71.7	65.8	59.2	25.0	20.0	12.5	19.2	10.8	
	50歳代(n=126)	77.0	69.0	46.0	36.5	28.6	17.5	13.5	15.9	
	60歳代(n=423)	72.8	47.5	29.1	36.6	26.0	18.9	12.3	18.2	
	70歳以上(n=379)	67.5	42.0	22.2	39.6	29.6	27.2	20.3	21.1	

単位(%)		新産業都市と世界トップレベルの産業集積	留学生をはじめとする外国籍市民	4つの存在(スポーツ、ホール、パビリオン、バスケットボール、サッカー、バレーボール)	外貿コンテナターミナル系(大分港)、高速道路ナ体	県都の役割	ワールドカップサッカー大会の開催経験	海外からの映画・番組等の誘致	その他
全体(N=1206)		15.8	13.3	10.9	8.1	7.4	6.8	4.7	2.9
性別	男性(n=803)	19.3	12.8	10.8	9.0	7.7	6.5	4.5	3.0
	女性(n=398)	8.8	13.8	11.1	6.5	6.8	7.3	5.3	2.8
年齢別	20歳代(n=55)	3.6	14.5	20.0	3.6	3.6	12.7	7.3	1.8
	30歳代(n=102)	7.8	8.8	11.8	2.9	2.0	9.8	9.8	2.9
	40歳代(n=120)	8.3	12.5	21.7	11.7	5.0	10.8	7.5	3.3
	50歳代(n=126)	13.5	11.9	11.9	11.9	3.2	4.8	4.8	3.2
	60歳代(n=423)	17.3	12.5	7.1	6.6	8.0	5.0	3.8	2.8
	70歳以上(n=379)	21.4	15.8	9.8	9.5	10.8	6.6	3.2	2.9

前回調査との比較をみると、今回調査では「海、山、川がある豊かな自然環境」「歴史遺産(大友宗麟公時代の南蛮貿易等)」が増加し、「姉妹・友好都市など国際提携都市や国際都市間の市民交流」「アジアに近い九州の中核市」「新産業都市と世界トップレベルの産業集積」「留学生をはじめとする外国籍市民」などが低下した。

◆前回調査との比較◆



※1～3: 前回調査では選択肢に無い

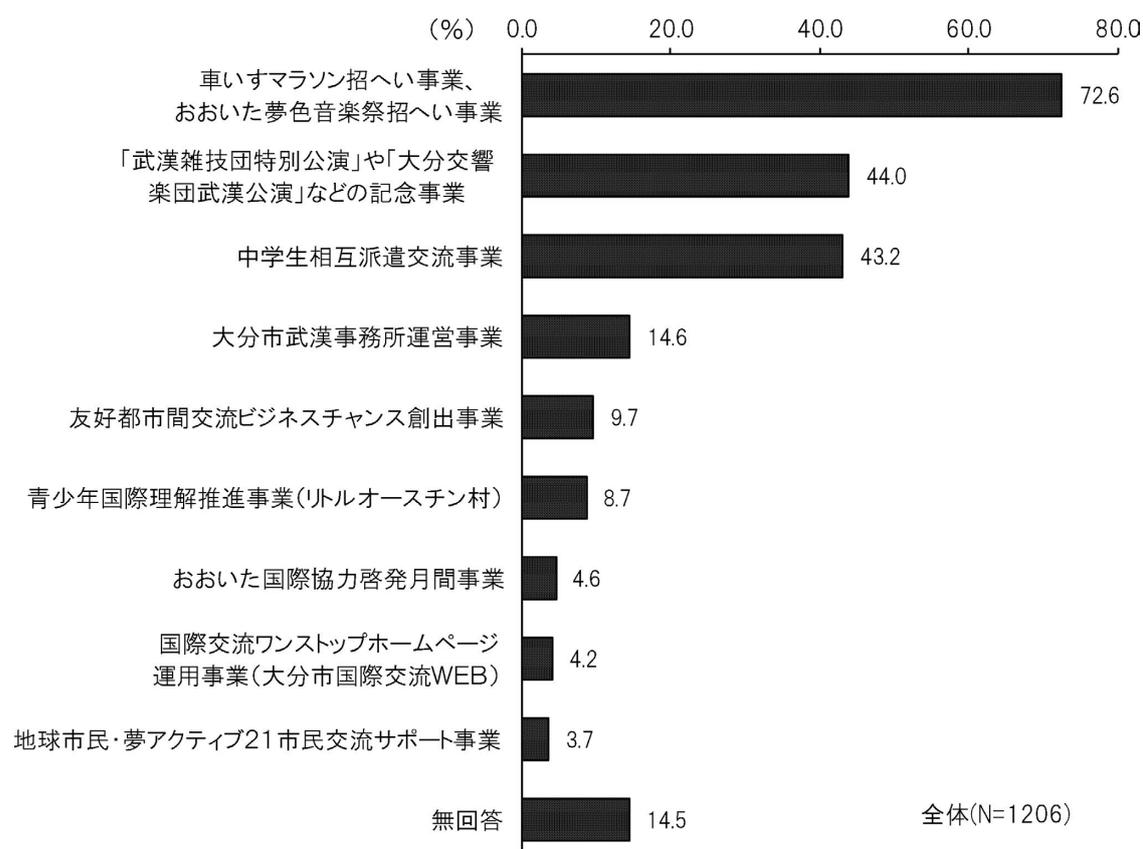
※4: 前回調査では「九州石油ドーム、うみたまご、高崎山などの交流施設」

※5: 前回調査では「増加する留学生をはじめとする外国籍市民」

2. 現在、実施している事業について(問15)

問15 次の事業で、知っている事業がありますか？(複数回答可)

現在、実施している事業については、「車いすマラソン招へい事業、おおいた夢色音楽祭招へい事業」が72.6%と突出して最も高く、次いで「『武漢雑技団特別公演』や『大分交響楽団武漢公演』などの記念事業」(44.0%)、「中学生相互派遣交流事業」(43.2%)の順となっており、このほかの事業の認知は相対的に低い。



性別では、男性は女性に比べて特に『武漢雑技団特別公演』や『大分交響楽団武漢公演』などの記念事業」「大分市武漢事務所運営事業」が高くなっている。

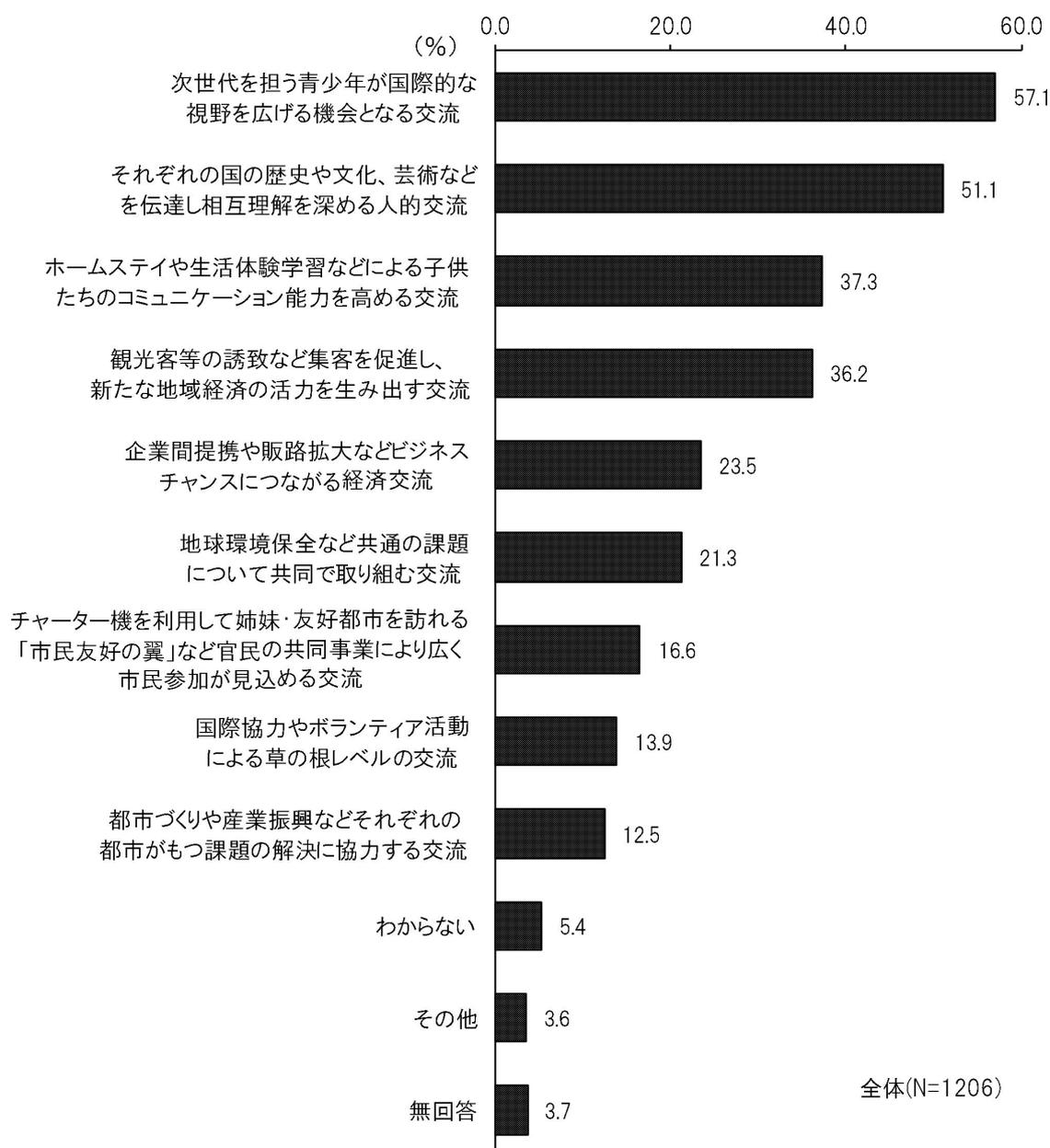
年齢別では、70歳以上で特に『武漢雑技団特別公演』や『大分交響楽団武漢公演』などの記念事業」「中学生相互派遣交流事業」が他の年齢層に比べて高い。

単位(%)		へい事業	車いすマラソン色音楽祭招	なごの記念事業	「武漢雑技団特別公演」や	中学生相互派遣交流事業	大分市武漢事務所運営事業	手好都市間交流ビジネス	青少年国際理解推進事業(リトルオーステン村)	事業	おいた国際協力啓発月間	国際交流ワンストップホ	1地球市民・夢アクト事業
全体(N=1206)		72.6	44.0	43.2	14.6	9.7	8.7	4.6	4.2	3.7			
性別	男性(n=803)	72.4	49.1	45.0	17.7	11.8	9.2	4.1	4.0	3.9			
	女性(n=398)	73.1	33.9	40.2	8.5	5.5	7.8	5.5	4.8	3.5			
年齢別	20歳代(n=55)	56.4	9.1	16.4	5.5	1.8	5.5	1.8	1.8	1.8			
	30歳代(n=102)	64.7	17.6	33.3	2.9	2.0	8.8	2.9	2.9	1.0			
	40歳代(n=120)	71.7	27.5	33.3	9.2	4.2	10.0	2.5	5.0	2.5			
	50歳代(n=126)	71.4	34.9	35.7	7.1	6.3	8.7	7.1	7.1	6.3			
	60歳代(n=423)	72.1	48.7	44.7	18.4	11.6	6.1	4.3	3.3	4.0			
	70歳以上(n=379)	78.1	59.1	53.8	19.0	13.7	11.6	5.5	4.7	4.0			

3. 姉妹・友好都市との交流において、望ましいこと(問17)

問17 姉妹・友好都市との交流において、どのようなものが望ましいと考えますか？
(複数回答可)

姉妹・友好都市との交流において、望ましいことについては、「次世代を担う青少年が国際的な視野を広げる機会となる交流」が57.1%と最も高く、次いで「それぞれの国の歴史や文化、芸術などを伝達し相互理解を深める人的交流」(51.1%)、「ホームステイや生活体験学習などによる子供たちのコミュニケーション能力を高める交流」(37.3%)、「観光客等の誘致など集客を促進し、新たな地域経済の活力を生み出す交流」(36.2%)の順となっている。



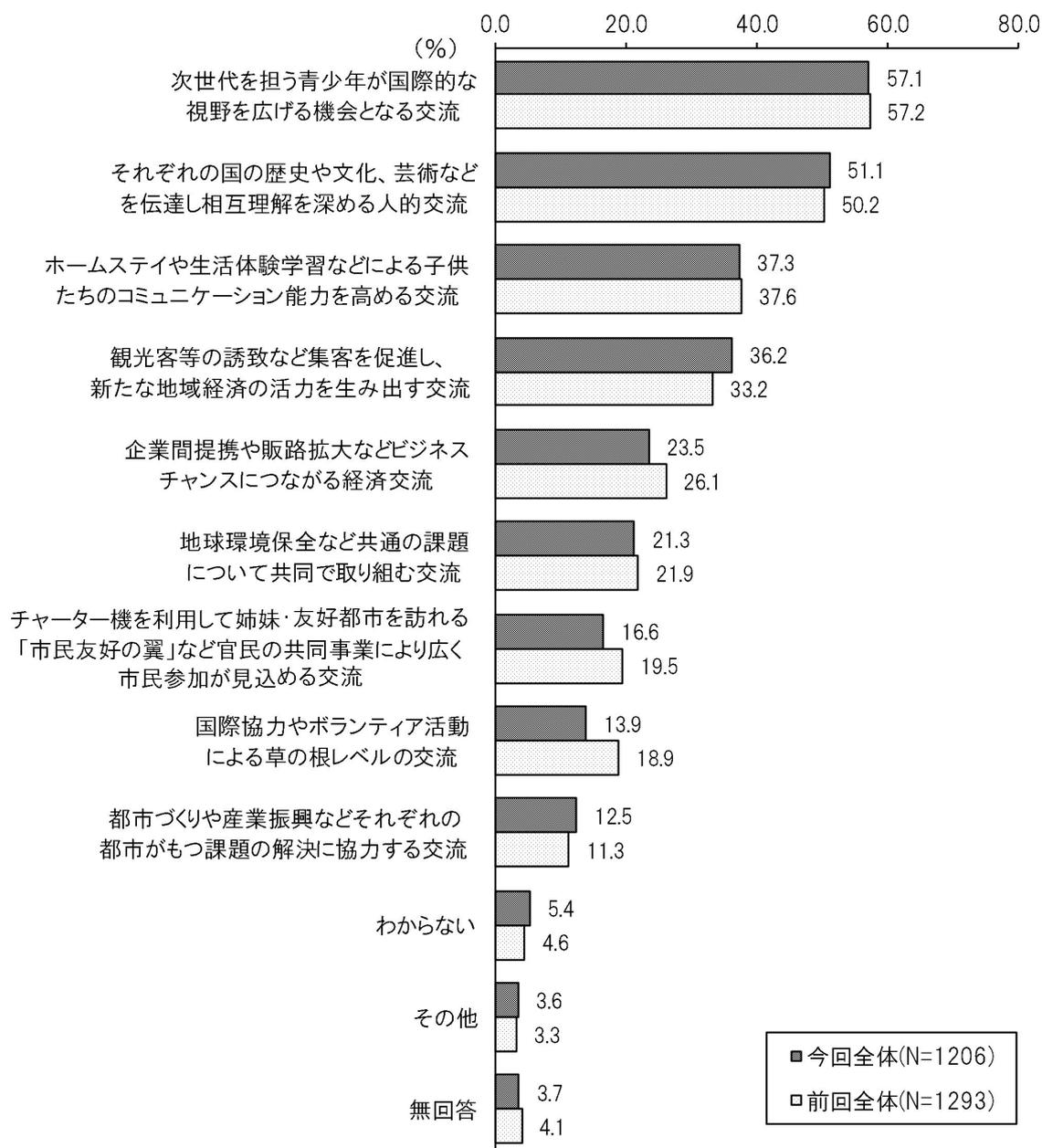
性別では、男性は「観光客等の誘致など集客を促進し、新たな地域経済の活力を生み出す交流」、女性は「ホームステイや生活体験学習などによる子供たちのコミュニケーション能力を高める交流」がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、20歳代で「それぞれの国の歴史や文化、芸術などを伝達し相互理解を深める人的交流」「ホームステイや生活体験学習などによる子供たちのコミュニケーション能力を高める交流」、70歳以上で「観光客等の誘致など集客を促進し、新たな地域経済の活力を生み出す交流」などが他の年齢層に比べてそれぞれ高い。

単位(%)		次世代を担う青少年が国際的な視野を広げる機会となる交流	それぞれの国の歴史や文化、芸術などを伝達し相互理解を深める人的交流	ホームステイや生活体験学習などによる子供たちのコミュニケーション能力を高める交流	観光客等の誘致など集客を促進し、新たな地域経済の活力を生み出す交流	企業間提携や販路拡大などビジネスチャンスにつながる経済交流	地球環境保全など共通の課題について共同で取り組む交流	訪れる「市民友好の翼」など官民の共同事業により広く市民参加が見込める交流	チャーター機を利用して姉妹・友好都市を訪問する「市民友好の翼」など官民の共同事業により広く市民参加が見込める交流	国際協力やボランティア活動による草の根レベルの交流	都市づくりや産業振興などそれぞれの都市がもつ課題の解決に協力する交流	わからない	その他
	全体(N=1206)	57.1	51.1	37.3	36.2	23.5	21.3	16.6	13.9	12.5	5.4	3.6	
性別	男性(n=803)	56.4	50.7	34.4	39.1	22.7	22.5	17.9	14.7	13.9	4.7	4.1	
	女性(n=398)	58.8	52.0	43.2	30.4	24.9	18.8	14.1	12.6	9.8	6.8	2.5	
年齢別	20歳代(n=55)	36.4	60.0	50.9	32.7	29.1	18.2	10.9	12.7	10.9	3.6	3.6	
	30歳代(n=102)	53.9	51.0	46.1	35.3	36.3	9.8	9.8	8.8	5.9	3.9	4.9	
	40歳代(n=120)	57.5	53.3	37.5	34.2	25.0	15.0	17.5	16.7	9.2	5.0	2.5	
	50歳代(n=126)	54.0	55.6	40.5	25.4	19.8	22.2	12.7	20.6	19.0	9.5	4.0	
	60歳代(n=423)	56.7	50.1	34.0	33.3	22.0	22.7	15.6	13.5	13.5	6.6	3.3	
	70歳以上(n=379)	62.5	48.8	35.6	44.1	21.4	25.1	21.4	12.9	12.4	3.4	3.7	

前回調査との比較をみると、今回調査では「国際協力ボランティア活動による草の根レベルの交流」などがやや低下しているものの、大きな差は目立たない。

◆前回調査との比較◆



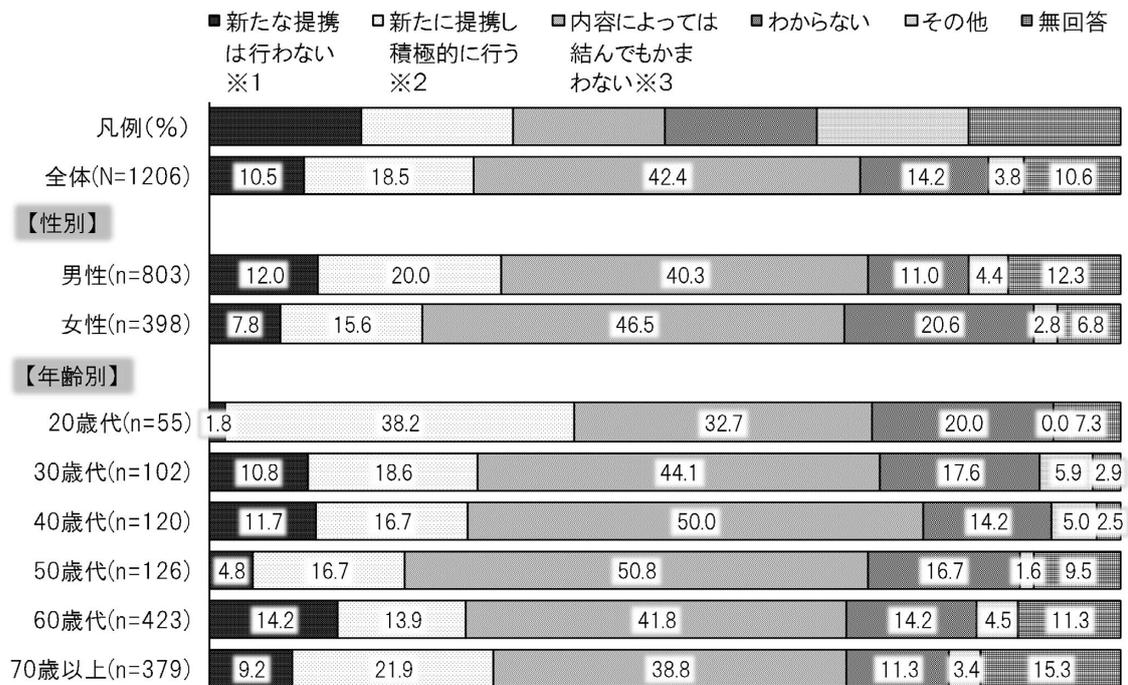
4. 新たな都市間提携について(問18)

問18 新たな都市間提携について、どのような方向性が望ましいと思われますか？

新たな都市間提携については、「内容によっては、新たに姉妹・友好都市提携を結んでもかまわない」が42.4%と最も高く、次いで「新たに姉妹・友好都市提携を結び積極的に交流を行う」(18.5%)の順となっている。

性別では、男性は「新たに姉妹・友好都市提携を結び積極的に交流を行う」、女性は「内容によっては、新たに姉妹・友好都市提携を結んでもかまわない」及び「わからない」がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、20歳代で「新たに姉妹・友好都市提携を結び積極的に交流を行う」が他の年齢層に比べて高く、40～50歳代では「内容によっては、新たに姉妹・友好都市提携を結んでもかまわない」が過半数を占めている。



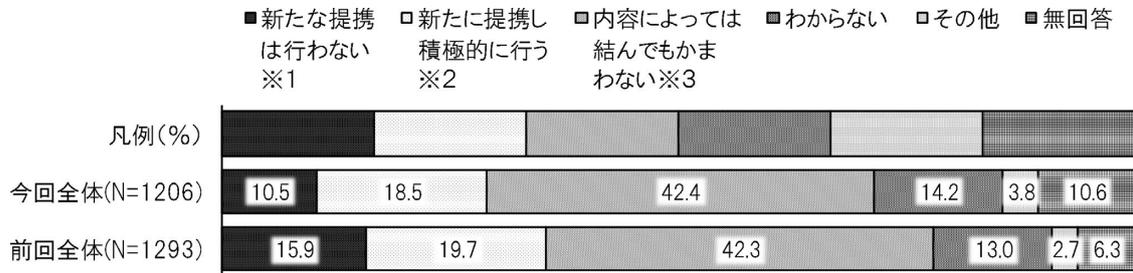
※1：既存の姉妹・友好都市との市民交流の促進に重点を置き、新たな姉妹・友好都市の提携は行わない

※2：新たに姉妹・友好都市提携を結び積極的に交流を行う

※3：内容によっては、新たに姉妹・友好都市提携を結んでもかまわない

前回調査との比較をみると、今回調査では「既存の姉妹・友好都市との市民交流の促進に重点を置き、新たな姉妹・友好都市の提携は行わない」が低下した。

◆前回調査との比較◆



※1：既存の姉妹・友好都市との市民交流の促進に重点を置き、新たな姉妹・友好都市の提携は行わない

※2：新たに姉妹・友好都市提携を結び積極的に交流を行う

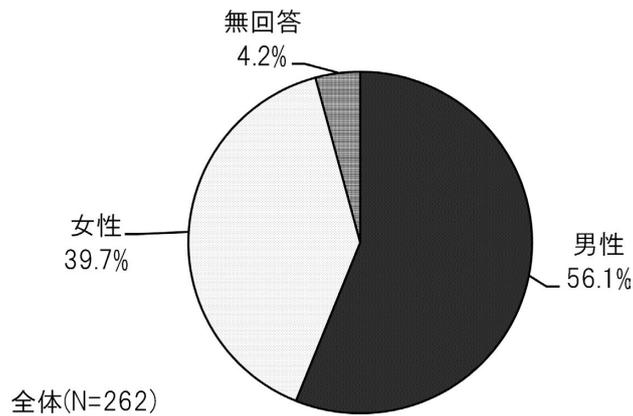
※3：内容によっては、新たに姉妹・友好都市提携を結んでもかまわない

Ⅲ 留学生調査結果

1 回答者の属性

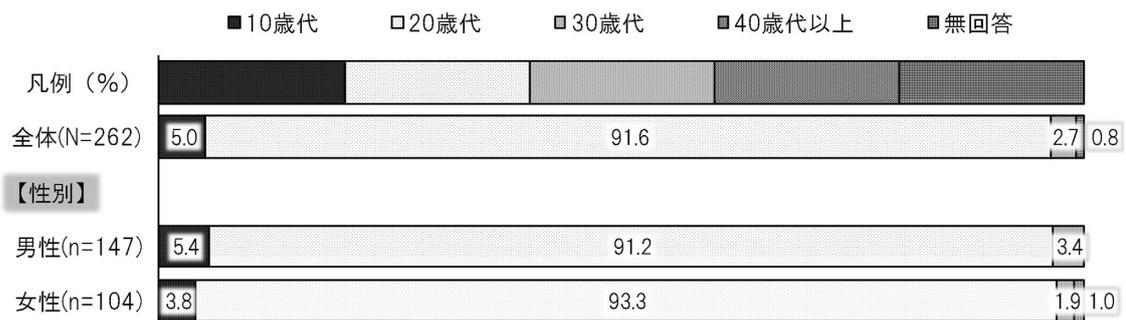
1. 性別構成比(問1)

対象者の性別構成比は、男性が56.1%、女性が39.7%となっている。



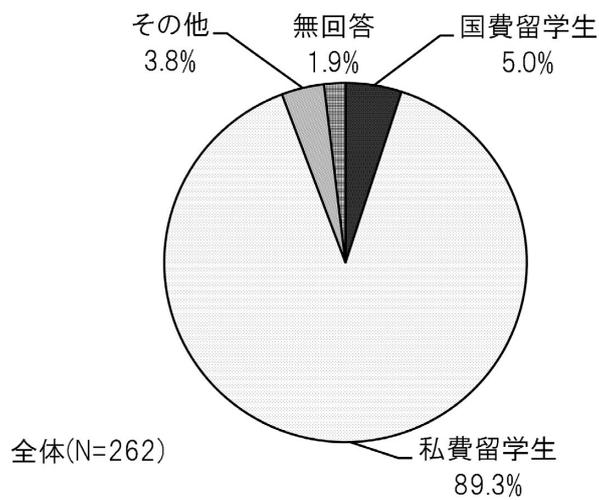
2. 年齢別構成比(問2)

対象者の年齢別構成比は、「20歳代」の割合が9割以上(91.6%)と大半を占めており、性別でみても大きな差は目立たない。



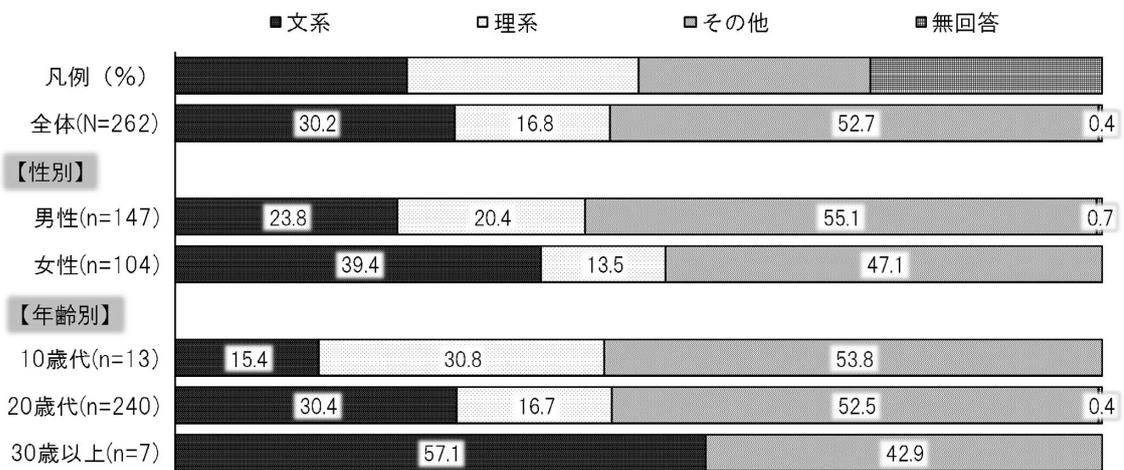
3. 留学生の種類(問3)

種類については、「私費留学生」が9割近く(89.3%)と大半を占めている。



4. 専攻(問4)

専攻については、「その他」が過半数(52.7%)を占め最も高く、次いで「文系」(30.2%)、「理系」(16.8%)の順となっている。

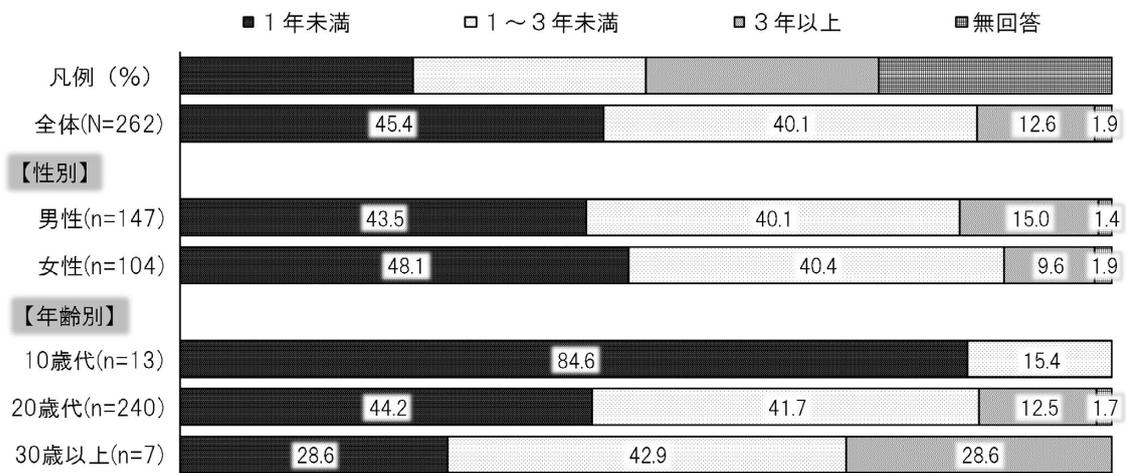


注：年齢別の「30歳以上」は該当数(n)が少ないため、参考値として参照。以下同様。

5. 居住年数(問5)

居住年数については、「1年未満」が45.4%と最も高く、次いで「1～3年未満」が40.1%で続いている。「3年以上」は12.6%となっている。

年齢別では、10歳代で「1年未満」が大半を占めている。



2 国際交流の実態や意識について

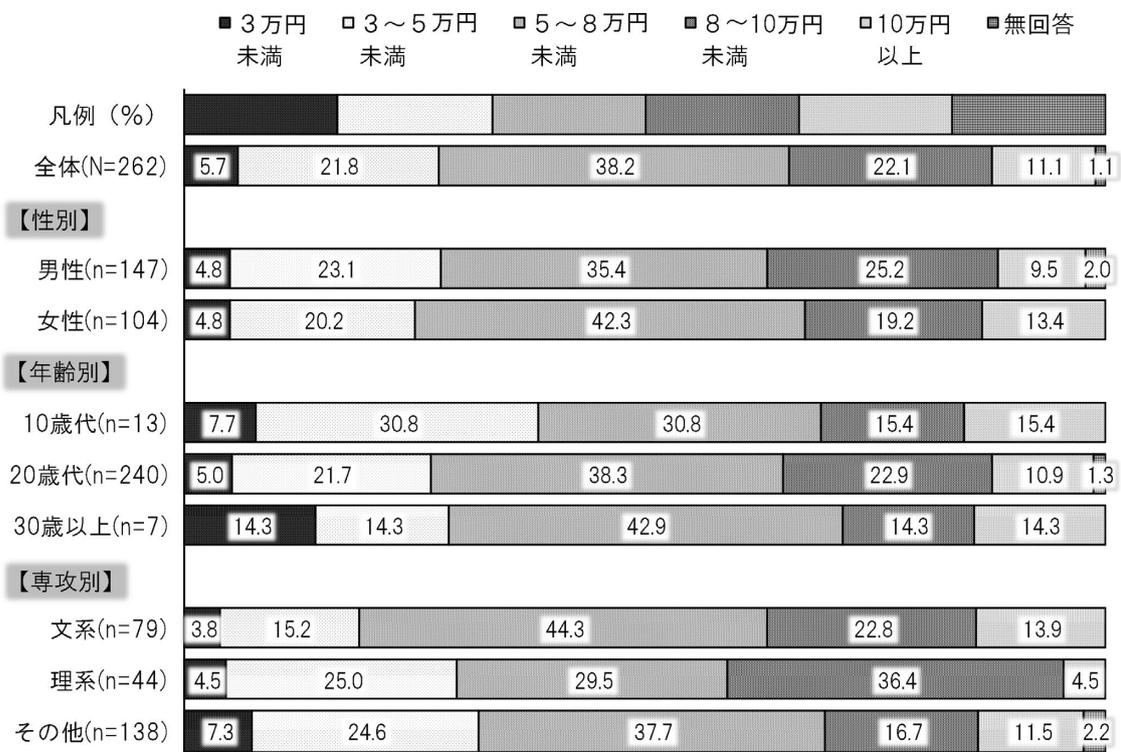
1. 1カ月の生活費(問6)

問6 授業料をのぞいて、1カ月に生活費としてどのくらい支払っていますか？

1カ月の生活費については、「5～8万円未満」が38.2%と最も高く、次いで「8～10万円未満」(22.1%)「3～5万円未満」(21.8%)の順となっている。

性別では、男性は「8～10万円未満」、女性は「5～8万円未満」がそれぞれ高くなっている。

年齢別では10歳代で「3～5万円未満」、専攻別では「理系」で「8～10万円未満」がそれぞれ高くなっている。



前回調査との比較をみると、今回調査では「8～10万円未満」が増加し、「3～5万円未満」が低下した。

◆前回調査との比較◆



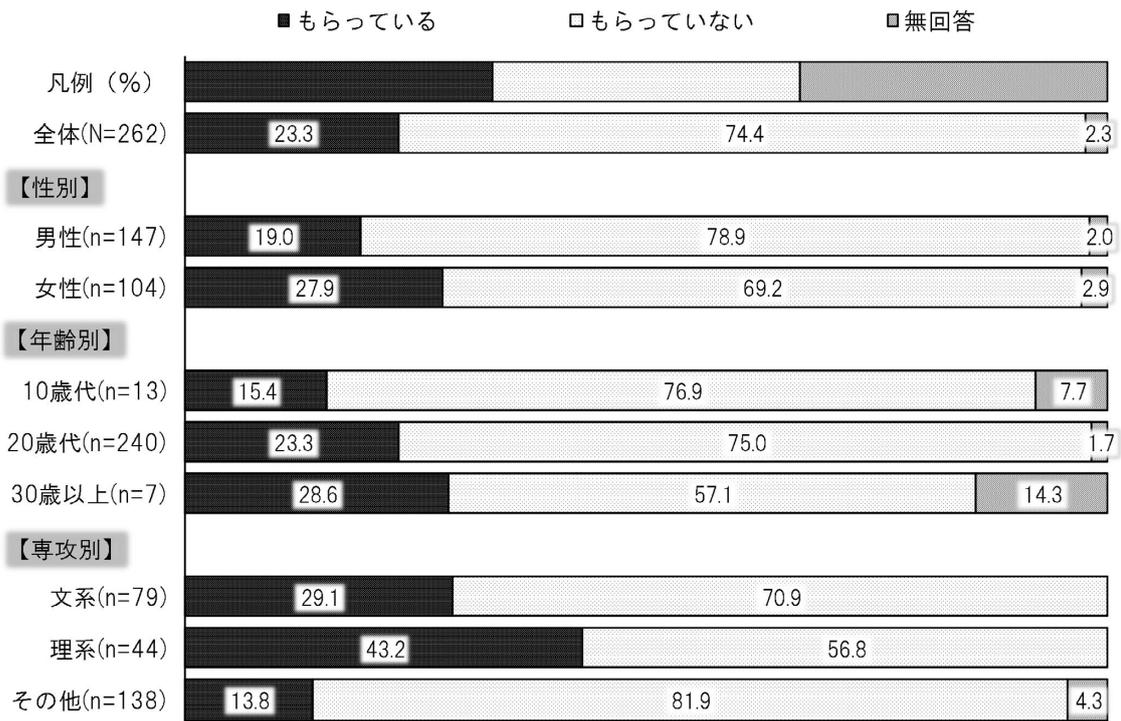
2. 奨学金や住宅助成金の受給状況(問7)

問7 奨学金や住宅助成金などをもらっていますか？

奨学金や住宅助成金の受給状況については、約2割(23.3%)が受給している。

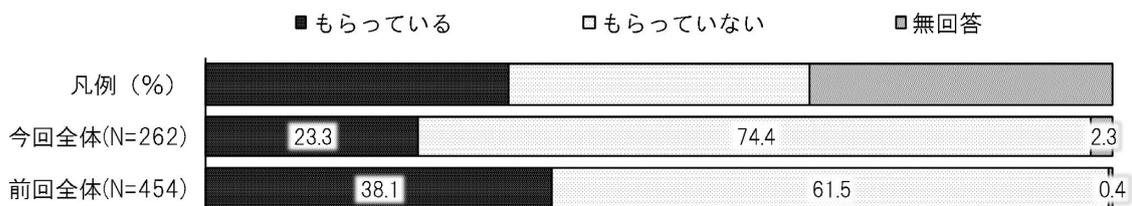
性別では、女性は男性に比べて受給者が多く、年齢別では、年齢が上がるほど受給率も高くなる傾向にある。

専攻別では、「理系」で受給者は4割以上と高い。



前回調査との比較をみると、今回調査では受給率は低下した。

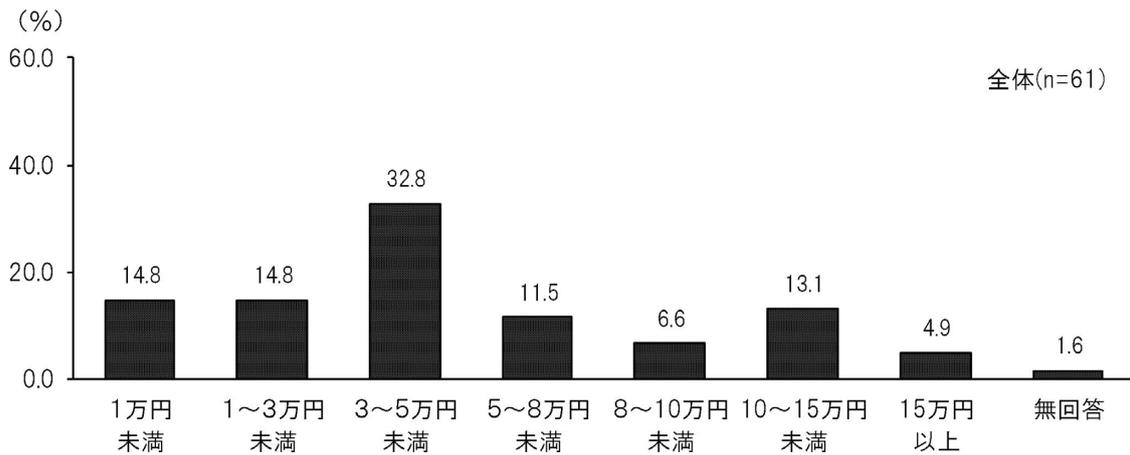
◆前回調査との比較◆



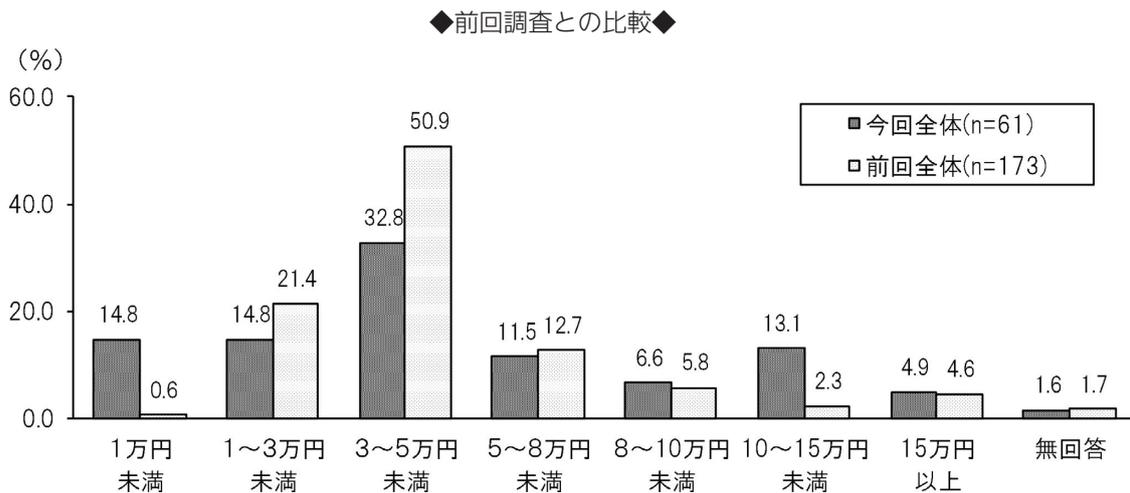
3. 1カ月当たり奨学金・住宅助成金の受給額(問8)

問8 奨学金や住宅助成金などをもらっている方にお聞きます。1カ月、どのくらいもらっていますか？

1カ月当たり奨学金・住宅助成金の受給額については、「3～5万円未満」が32.8%と最も高く、次いで「1万円未満」「1～3万円未満」(各14.8%)、「10～15万円未満」(13.1%)の順となっている。



前回調査との比較をみると、今回調査では「1万円未満」「10～15万円未満」が増加し、「3～5万円未満」が低下した。

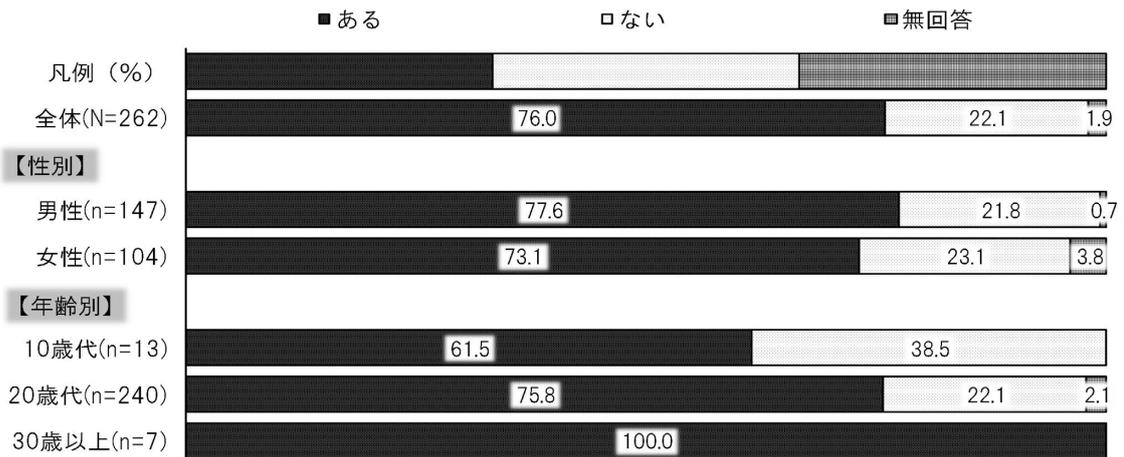


4. アルバイト経験(問9)

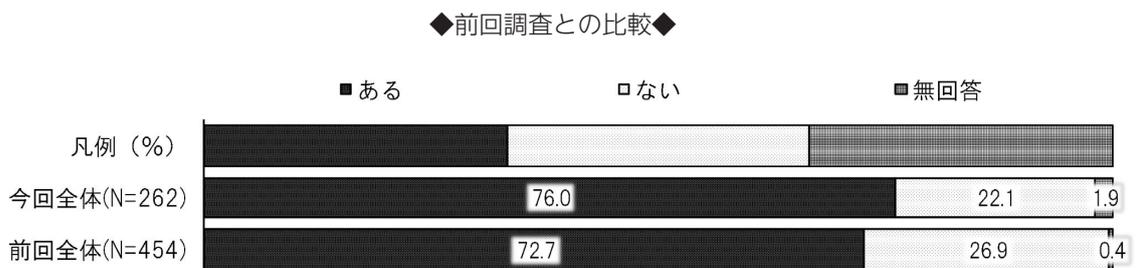
問9 アルバイトをしたことがありますか？

アルバイト経験については、7割以上(76.0%)が経験ありと回答している。

性別では、男性は女性に比べてアルバイト経験者がやや多く、年齢別では、年齢が上がるほどアルバイト経験者も多くなる傾向にある。



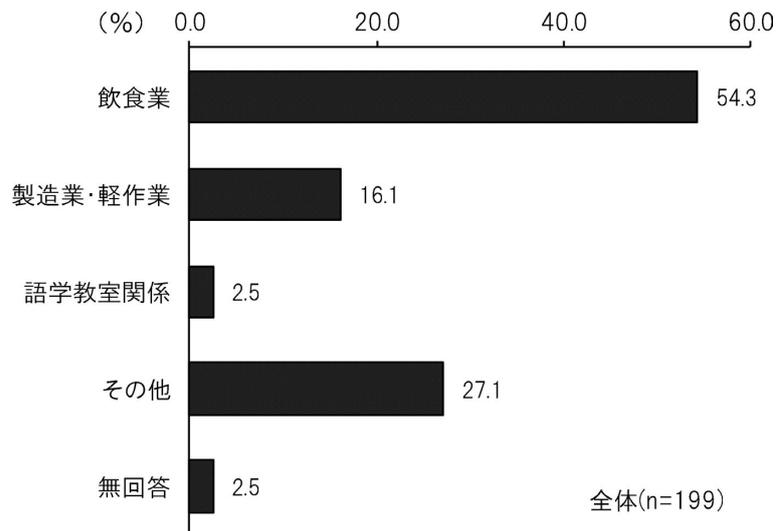
前回調査との比較をみると、今回調査ではアルバイト経験者はやや増加した。



5. アルバイトの種類(問10)

問10 どんなところでアルバイトをしていましたか？

アルバイトの種類については、「飲食業」が54.3%と突出して最も高く、次いで「その他」(27.1%)、「製造業・軽作業」(16.1%)の順となっている。



6. アルバイトに対する希望(問11)

問11 アルバイトをする場合の希望はありますか？(職種、給料、労働時間など)

自由回答

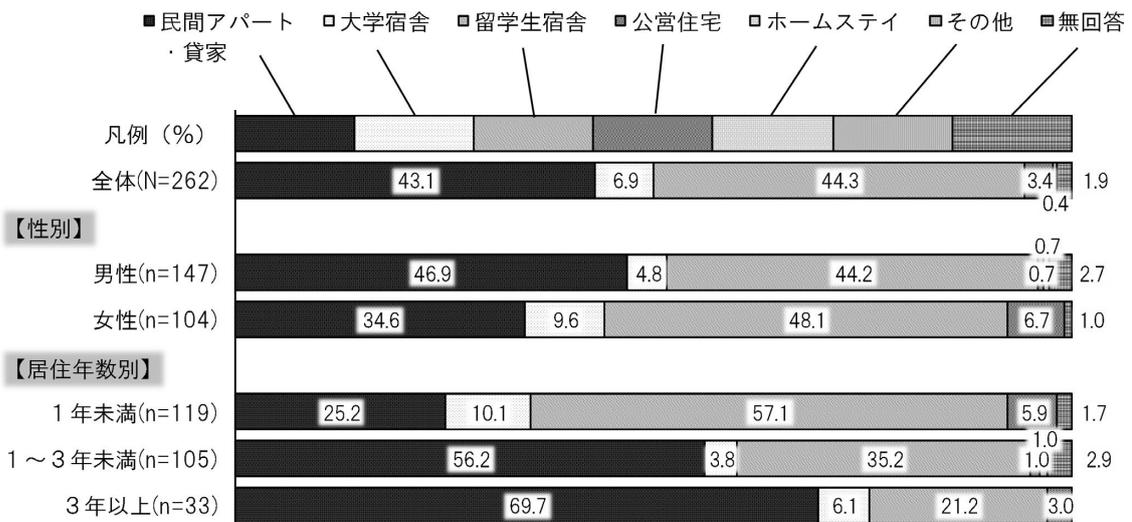
7. 住居形態(問12)

問12 どのような住宅に住んでいますか？

住居形態については、「留学生宿舎」(44.3%)と「民間アパート・貸家」(43.1%)にはほぼ二分されている。

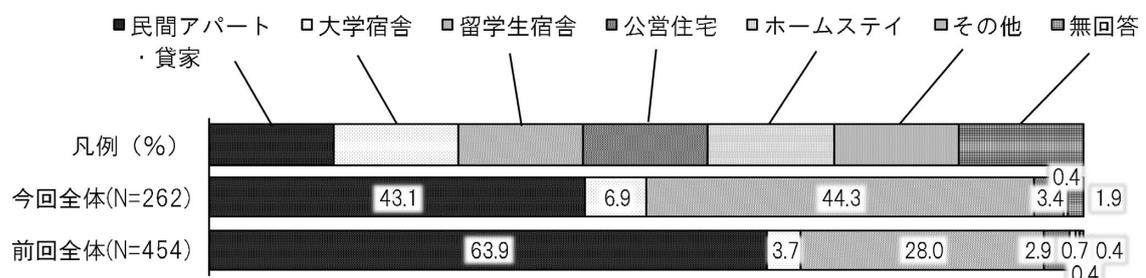
性別では、男性は「民間アパート・貸家」、女性は「留学生宿舎」がそれぞれ高くなっている。

居住年数別でみると、居住年数が長い層ほど「民間アパート・貸家」が高く、居住年数が短い層ほど「留学生宿舎」が高くなっている。



前回調査との比較をみると、今回調査では「留学生宿舎」が増加し、「民間アパート・貸家」が低下した。

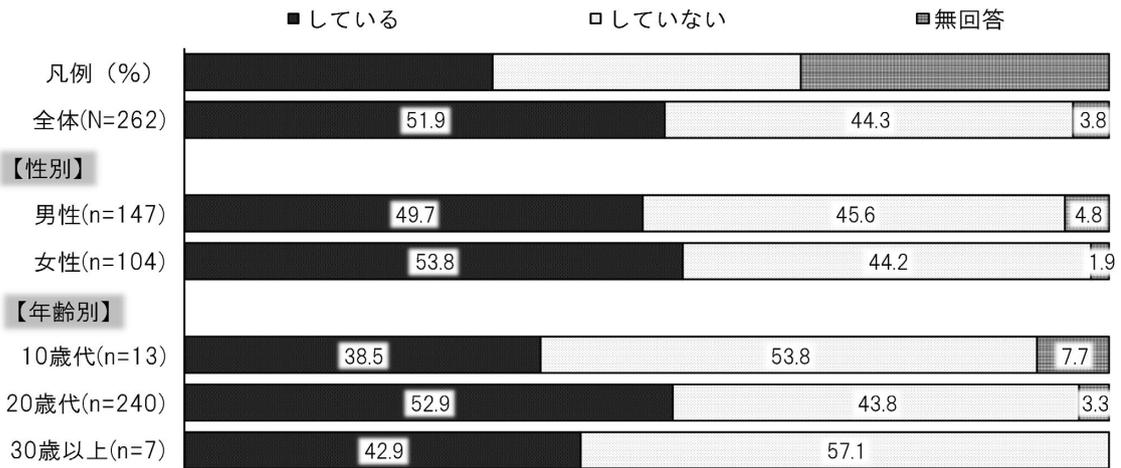
◆前回調査との比較◆



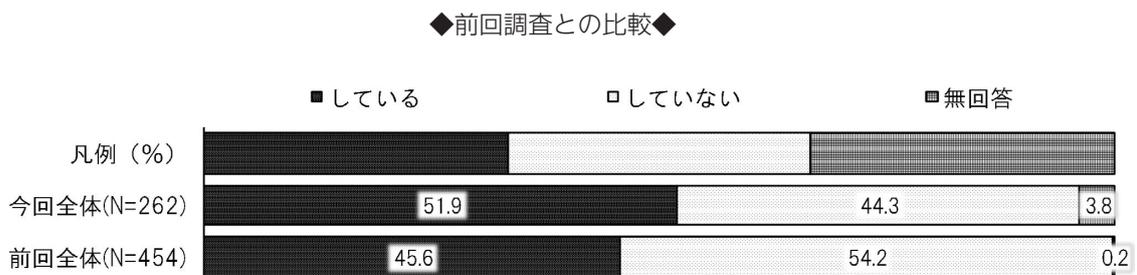
8. 同居者(ルームシェア等)の有無(問13)

問13 友人などと一緒に暮らしていますか？(ルームシェアをしていますか？)

同居者(ルームシェア等)の有無については、過半数(51.9%)が「している」と回答している。性別では、女性は男性に比べて「している」がやや高く、年齢別では、10歳代で「していない」が高い。



前回調査との比較をみると、今回調査では「している」が増加した。



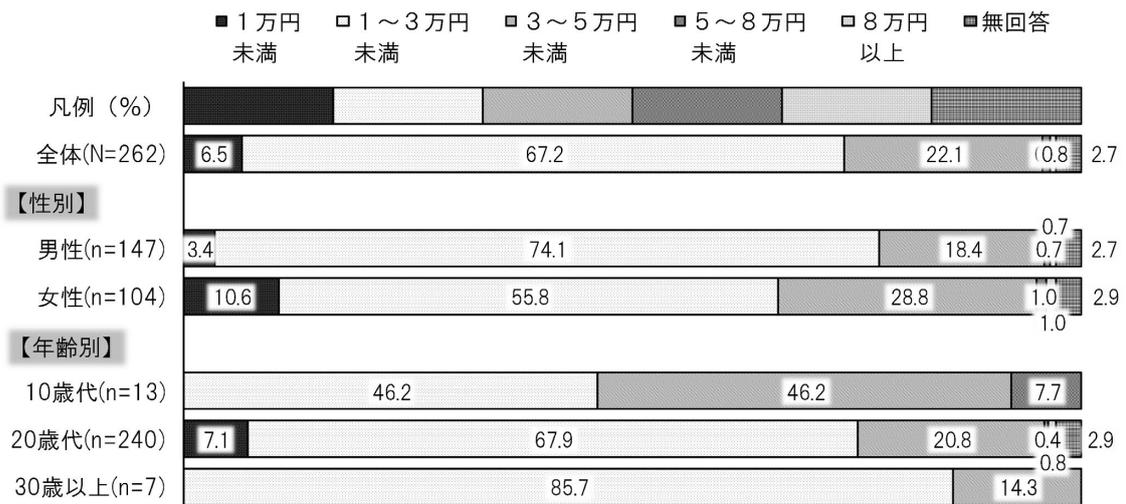
9. 1カ月の家賃(問14)

問14 礼金、敷金を除く、1カ月の家賃はどのくらいですか？

1カ月の家賃については、「1～3万円未満」が67.2%と最も高く、「3～5万円未満」が22.1%で続いており、両者で全体の大半を占めている。

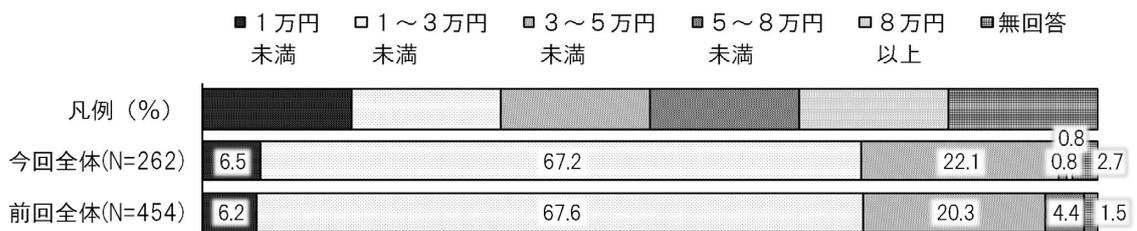
性別では、男性は「1～3万円未満」、女性は「3～5万円未満」がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、年齢が若い層ほど「3～5万円未満」が高くなる傾向にある。



前回調査との比較をみると、大きな差は目立たない。

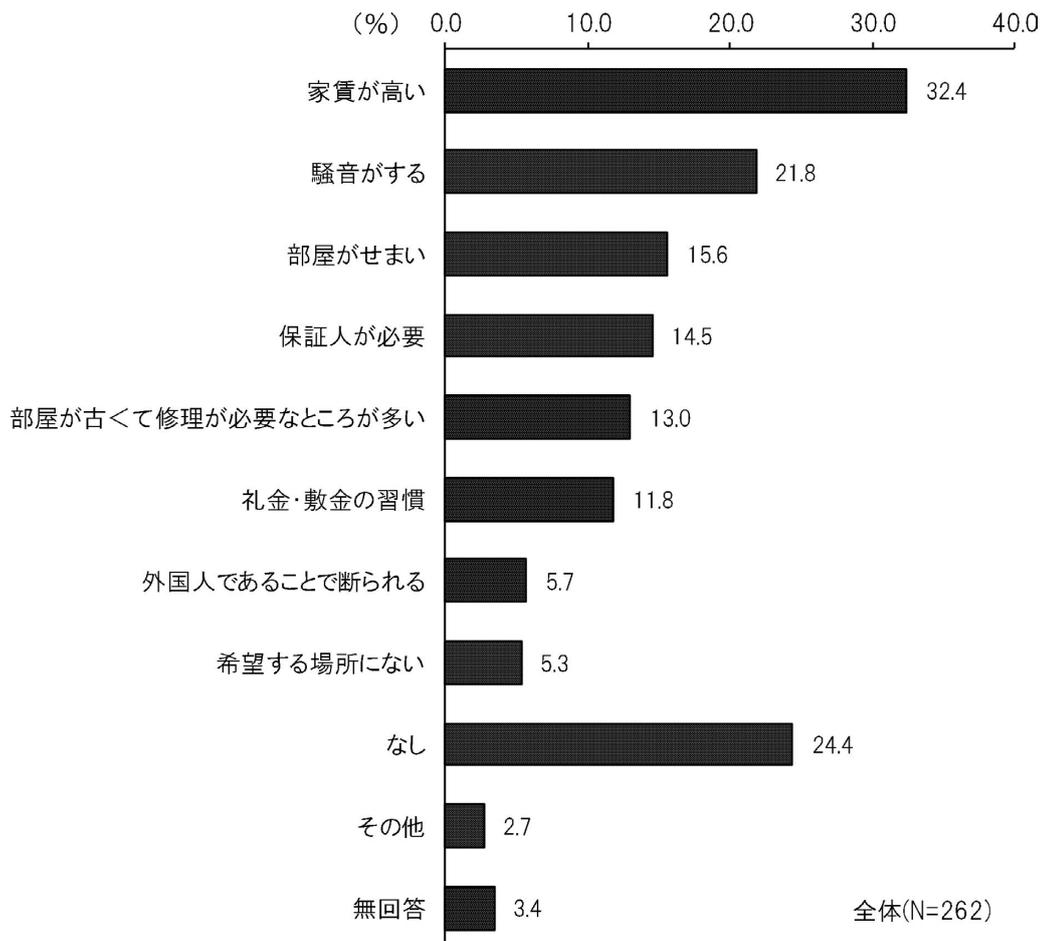
◆前回調査との比較◆



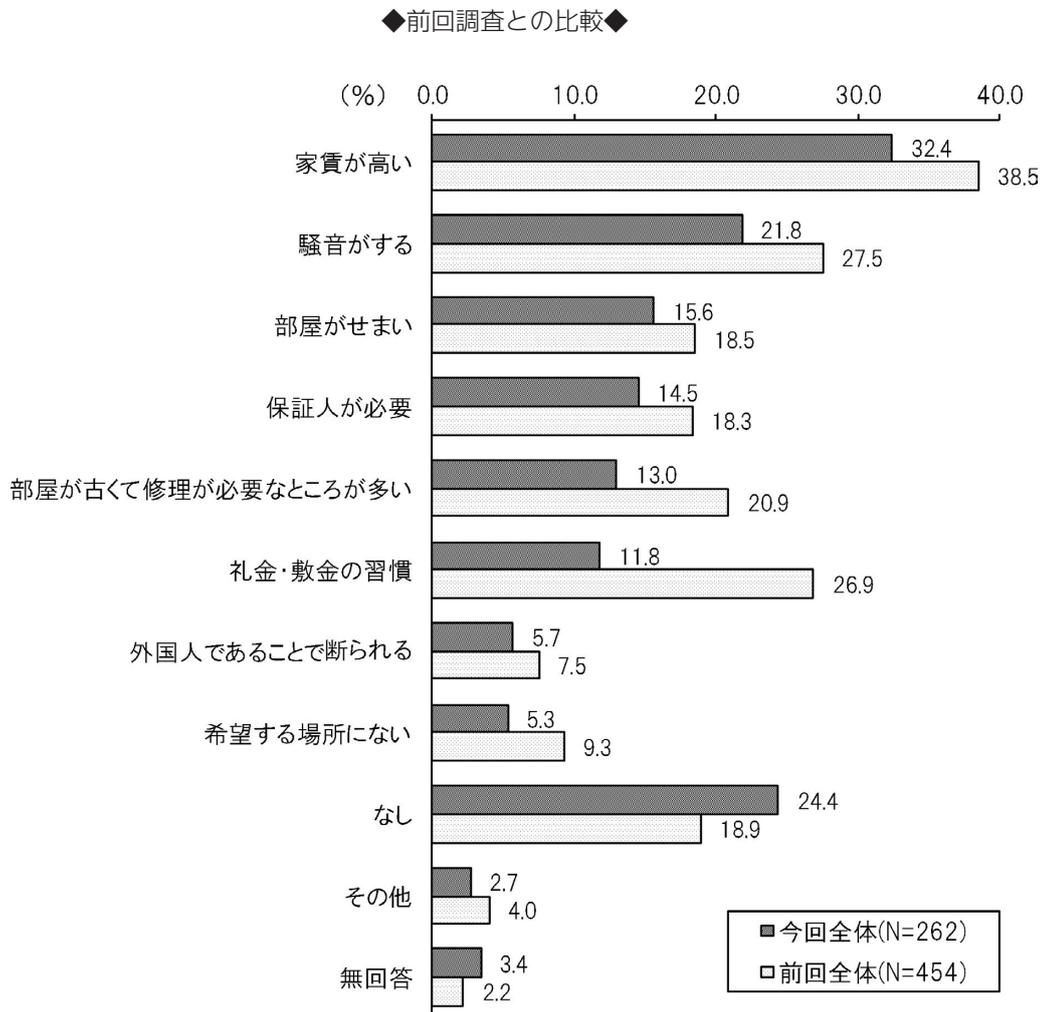
10. 住居の不満(問15)

問15 住居への不満がありましたら、3つ以内でお答えください。

住居の不満については、「なし」が24.4%であることから、全体の7割程度が何らかの不満を感じているとみられる。不満の理由は、「家賃が高い」が32.4%と最も高く、次いで「騒音がする」(21.8%)、「部屋がせまい」(15.6%)、「保証人が必要」(14.5%)、「部屋が古くて修理が必要なところが多い」(13.0%)、「礼金・敷金の習慣」(11.8%)の順となっている。



前回調査との比較をみると、今回調査ではほぼすべての項目で低下しており、特に「礼金・敷金の習慣」は大きく低下した。



11. 勉強や仕事以外での日本人との交流(問16)

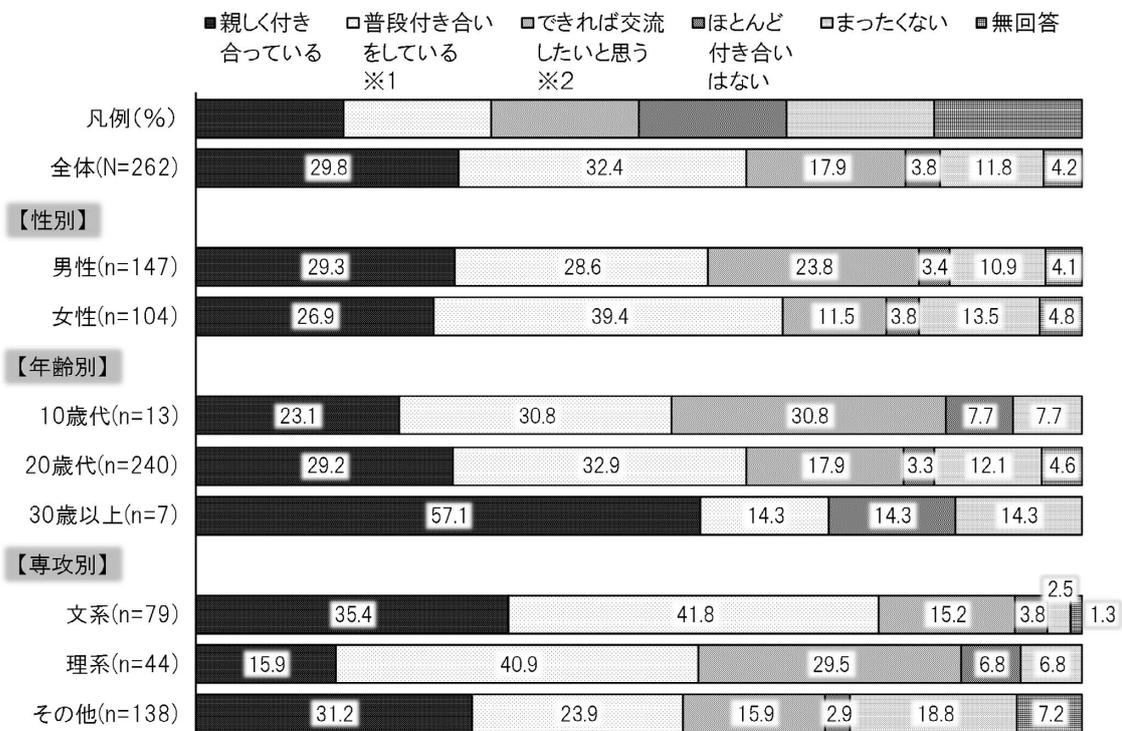
問16 勉強や仕事以外で日本人との交流がありますか？

勉強や仕事以外での日本人との交流については、「親しいわけではないが、普段付き合いをしている」が32.4%と最も高く、次いで「親しく付き合っている」が29.8%となっている。

性別では、男性は「ほとんど付き合いはないが、できれば交流したいと思う」、女性は「親しいわけではないが、普段付き合いをしている」がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、年齢が若い層ほど「ほとんど付き合いはないが、できれば交流したいと思う」が高くなる傾向にある。

専攻別では、理系で「ほとんど付き合いはないが、できれば交流したいと思う」が他の専攻に比べて高い。

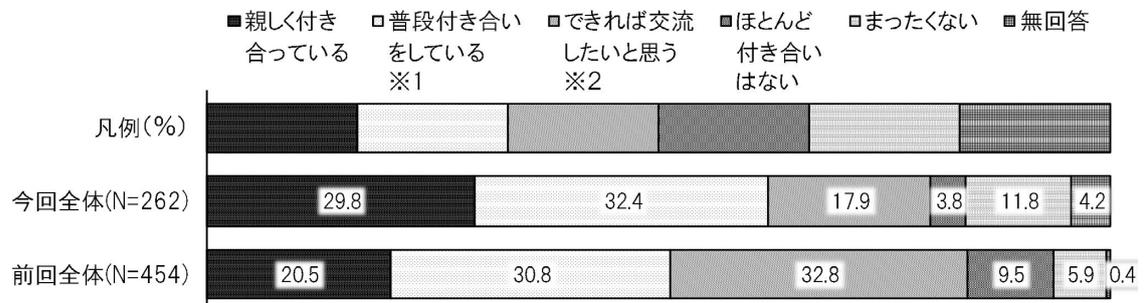


※1: 親しいわけではないが、普段付き合いをしている

※2: ほとんど付き合いはないが、できれば交流したいと思う

前回調査との比較をみると、今回調査では「親しく付き合っている」「まったくない」が増加し、「ほとんど付き合いはないが、できれば交流したいと思う」が低下した。

◆前回調査との比較◆



※1: 親しいわけではないが、普段付き合いをしている

※2: ほとんど付き合いはないが、できれば交流したいと思う

3 国際交流に対する意識や意向などについて

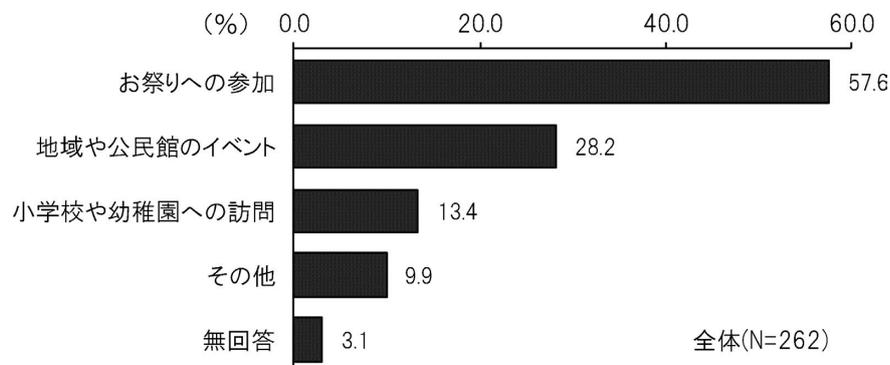
1. 市民との国際交流の希望 (問17)

問17 市民との国際交流は何を望みますか？

市民との国際交流の希望については、「お祭りへの参加」が57.6%と最も高く、次いで「地域や公民館のイベント」(28.2%)、「小学校や幼稚園への訪問」(13.4%)の順となっている。

性別では、女性は男性に比べて「お祭りへの参加」が高く、居住年数別では、居住年数が長いほど「お祭りへの参加」「地域や公民館のイベント」が高くなる傾向にある。

日本人との交流別では、普段付き合い程度の層で「お祭りへの参加」、ほとんど付き合いが無い層で「小学校や幼稚園への訪問」がそれぞれ高くなっている。



単位 (%)		お祭りへの参加	地域や公民館のイベント	小学校や幼稚園への訪問	その他
全体(N=262)		57.6	28.2	13.4	9.9
性別	男性(n=147)	54.4	28.6	14.3	10.9
	女性(n=104)	64.4	26.9	12.5	7.7
居住年数別	1年未満(n=119)	52.1	26.1	16.0	12.6
	1～3年未満(n=105)	62.9	29.5	10.5	8.6
	3年以上(n=33)	63.6	33.3	12.1	3.0
日本人との交流別	親しい(n=78)	56.4	30.8	12.8	9.0
	普段付き合い程度(n=85)	65.9	28.2	12.9	9.4
	できれば交流したい(n=47)	63.8	23.4	19.1	6.4
	ほとんど付き合いが無い(n=10)	40.0	20.0	20.0	10.0
	まったくくない(n=31)	45.2	29.0	9.7	19.4

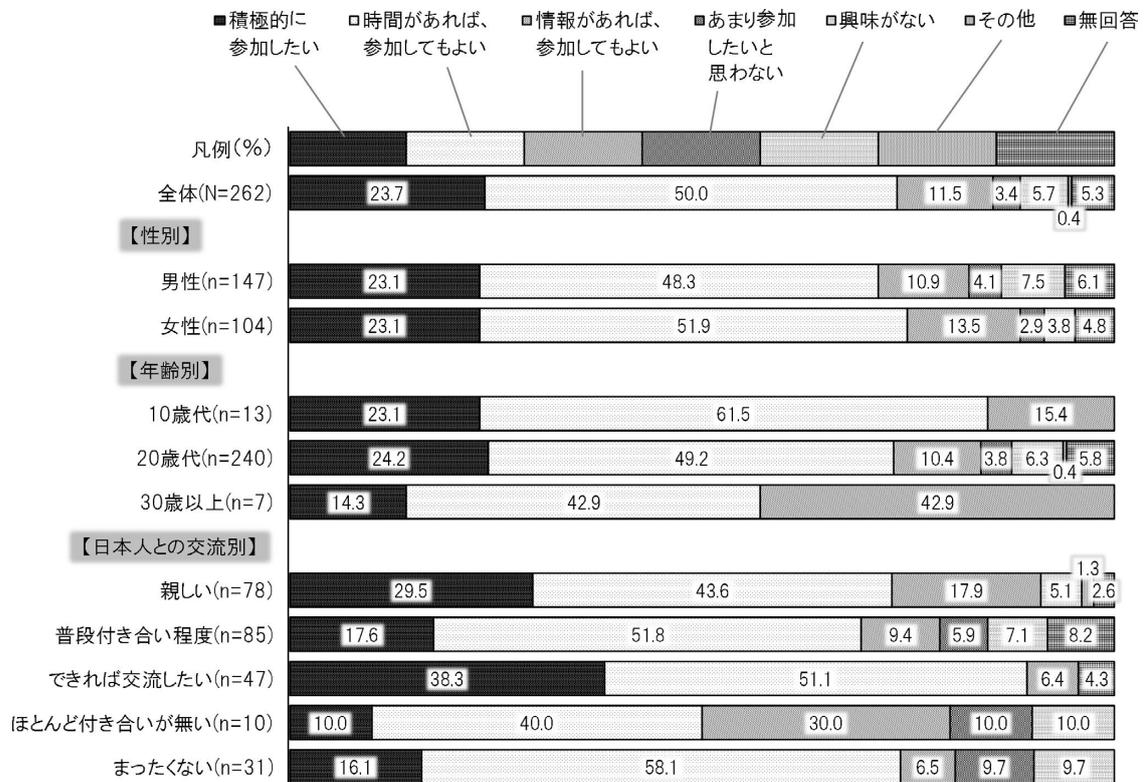
2. 国際交流やボランティア活動への関心(問18)

問18 国際交流やボランティア活動への参加に関心がありますか？

国際交流やボランティア活動への関心については、「時間があれば、参加してもよい」が半数(50.0%)と最も高く、「積極的に参加したい」が23.7%でそれに続き、両者で全体の7割以上を占めている。

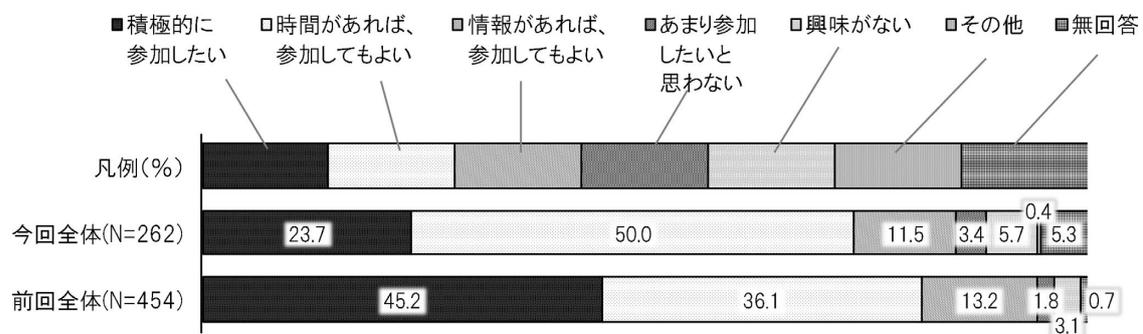
性別では大きな差は目立たないが、年齢別では10歳代で「時間があれば、参加してもよい」が他の年齢層に比べて高い。

日本人との交流別では、できれば交流したい層で「積極的に参加したい」が他の層に比べて高くなっている。



前回調査との比較をみると、今回調査では「時間があれば、参加してもよい」が増加し、「積極的に参加したい」が低下した。

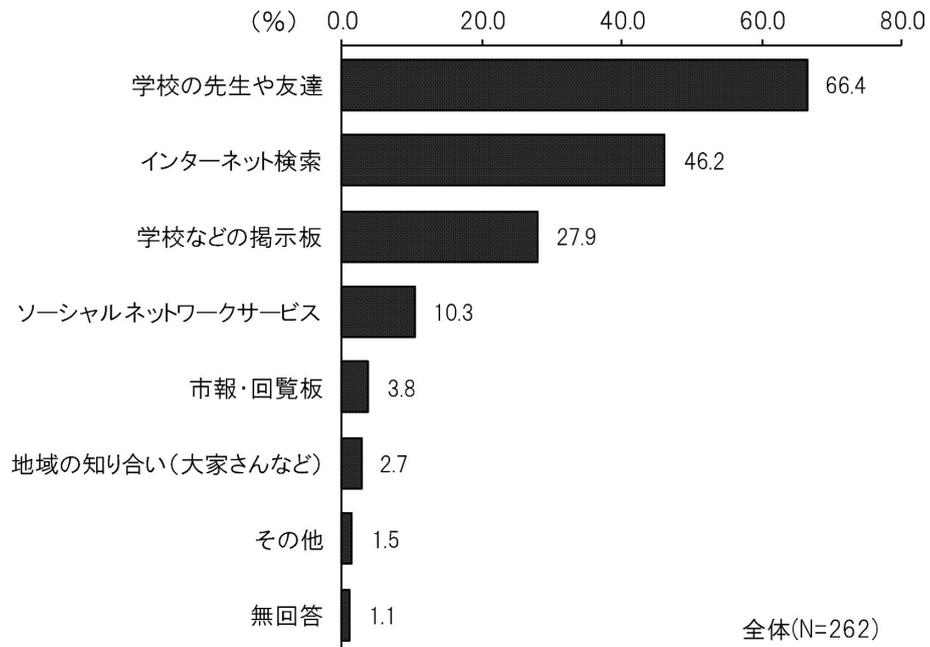
◆前回調査との比較◆



3. 必要な生活情報の入手先(問19)

問19 あなたが必要な生活情報は、主にどこから入手していますか？(2つ以内で回答)

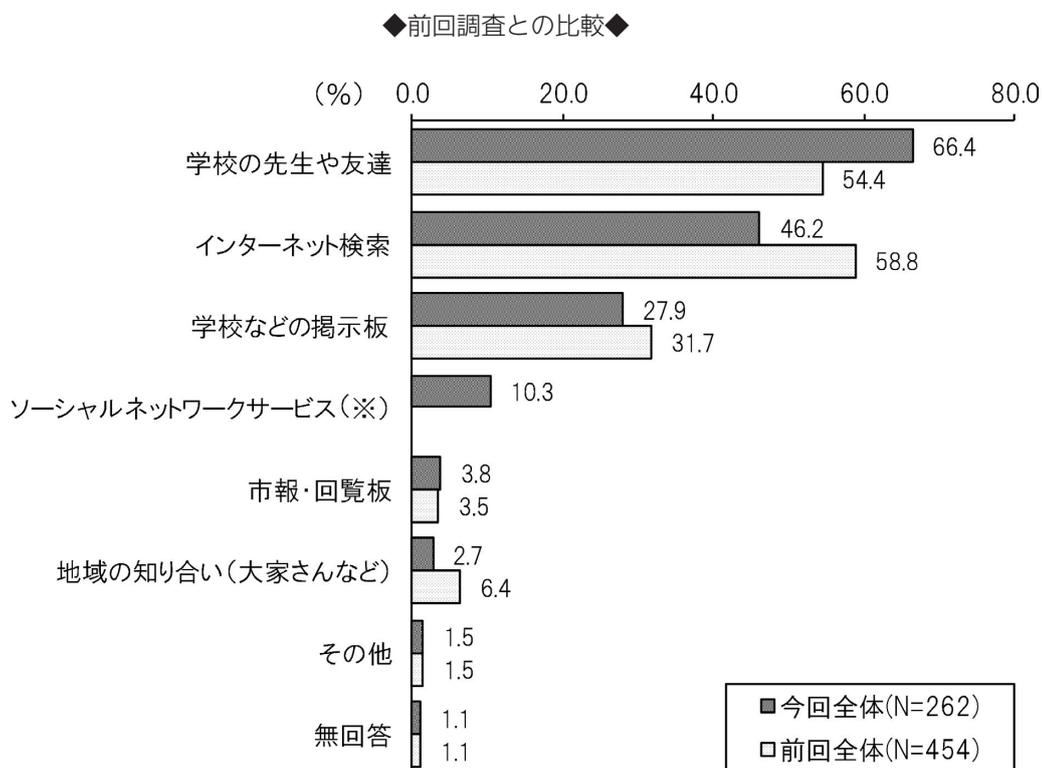
必要な生活情報の入手先については、「学校の先生や友達」が66.4%と最も高く、次いで「インターネット検索」(46.2%)、「学校などの掲示板」(27.9%)の順となっている。



性別では、女性は男性に比べて「学校の先生や友達」が高く、年齢別では10歳代で「ソーシャルネットワークサービス」が他の年齢層に比べて特に高い。専攻別では、その他の専攻で「学校の先生や友達」、文系で「学校などの掲示板」がそれぞれ高い。

単位(%)		学校の先生や友達	インターネット検索	学校などの掲示板	ソーシャルネットワークサービス	市報・回覧板	地域の知り合い(大家さんなど)	その他
全体(N=262)		66.4	46.2	27.9	10.3	3.8	2.7	1.5
性別	男性(n=147)	61.9	44.2	29.3	10.2	5.4	4.1	0.7
	女性(n=104)	75.0	50.0	25.0	11.5	1.9	0.0	1.9
年齢別	10歳代(n=13)	76.9	30.8	23.1	30.8	0.0	7.7	0.0
	20歳代(n=240)	65.4	46.7	27.9	9.6	4.2	2.5	1.7
	30歳以上(n=7)	85.7	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
専攻別	文系(n=79)	55.7	60.8	36.7	11.4	6.3	2.5	1.3
	理系(n=44)	56.8	65.9	20.5	9.1	0.0	6.8	2.3
	その他(n=138)	75.4	31.2	25.4	10.1	3.6	1.4	1.4

前回調査との比較をみると、今回調査では「学校の先生や友達」が増加し、「インターネット検索」が低下した。

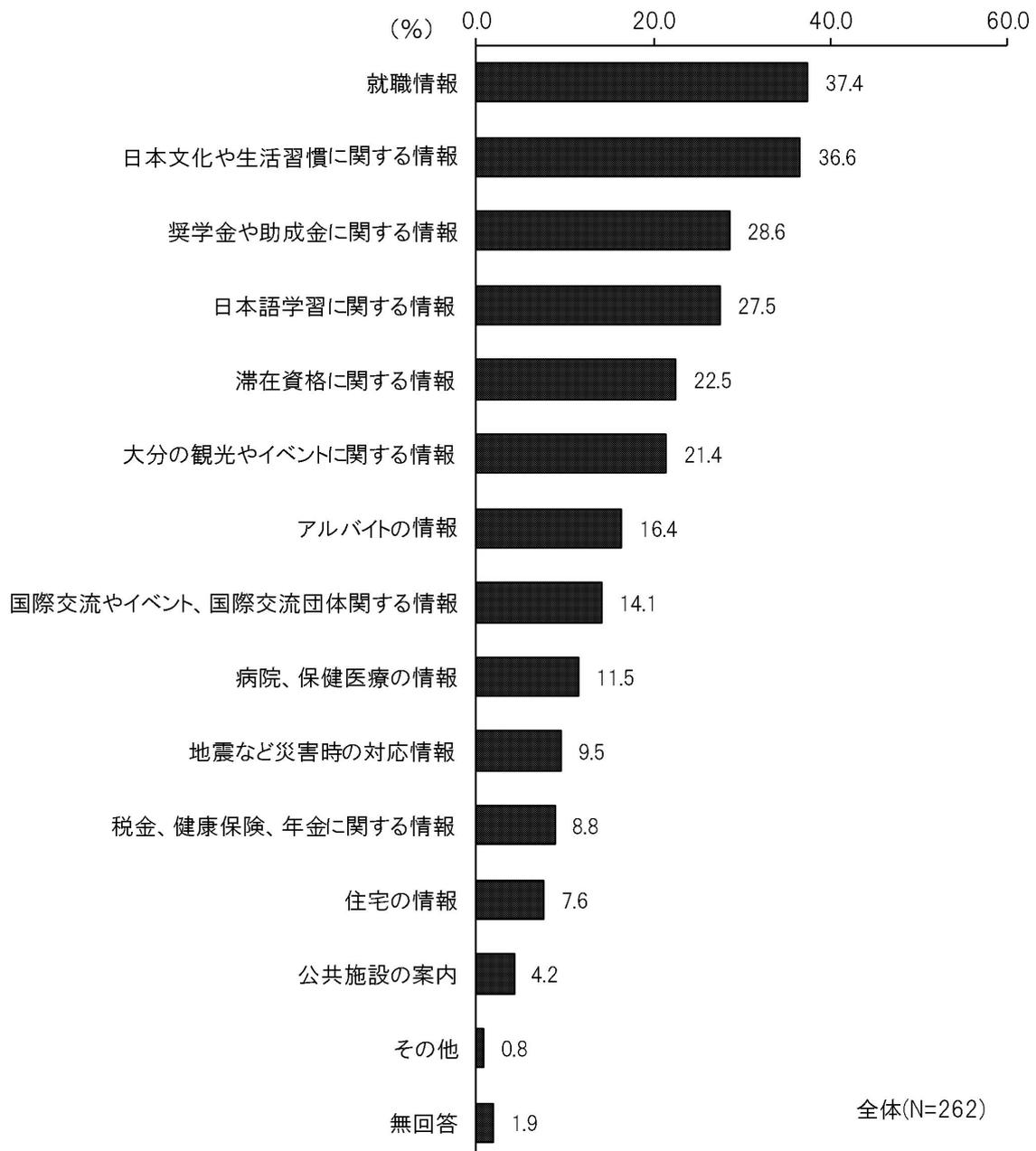


※前回調査では選択肢に無い

4. 現在、最も欲しいと思う情報(問20)

問20 あなたが現在、最も欲しいと思う情報は何か？(3つ以内で回答)

現在、最も欲しいと思う情報については、「就職情報」が37.4%と最も高く、ほぼ並んで「日本文化や生活習慣に関する情報」(36.6%)と続く。以下「奨学金や助成金に関する情報」(28.6%)、「日本語学習に関する情報」(27.5%)、「滞在資格に関する情報」(22.5%)、「大分の観光やイベントに関する情報」(21.4%)の順となっている。



性別では、男性は「日本文化や生活習慣に関する情報」、女性は「国際交流やイベント、国際交流団体に関する情報」「アルバイトの情報」がそれぞれ高くなっている。

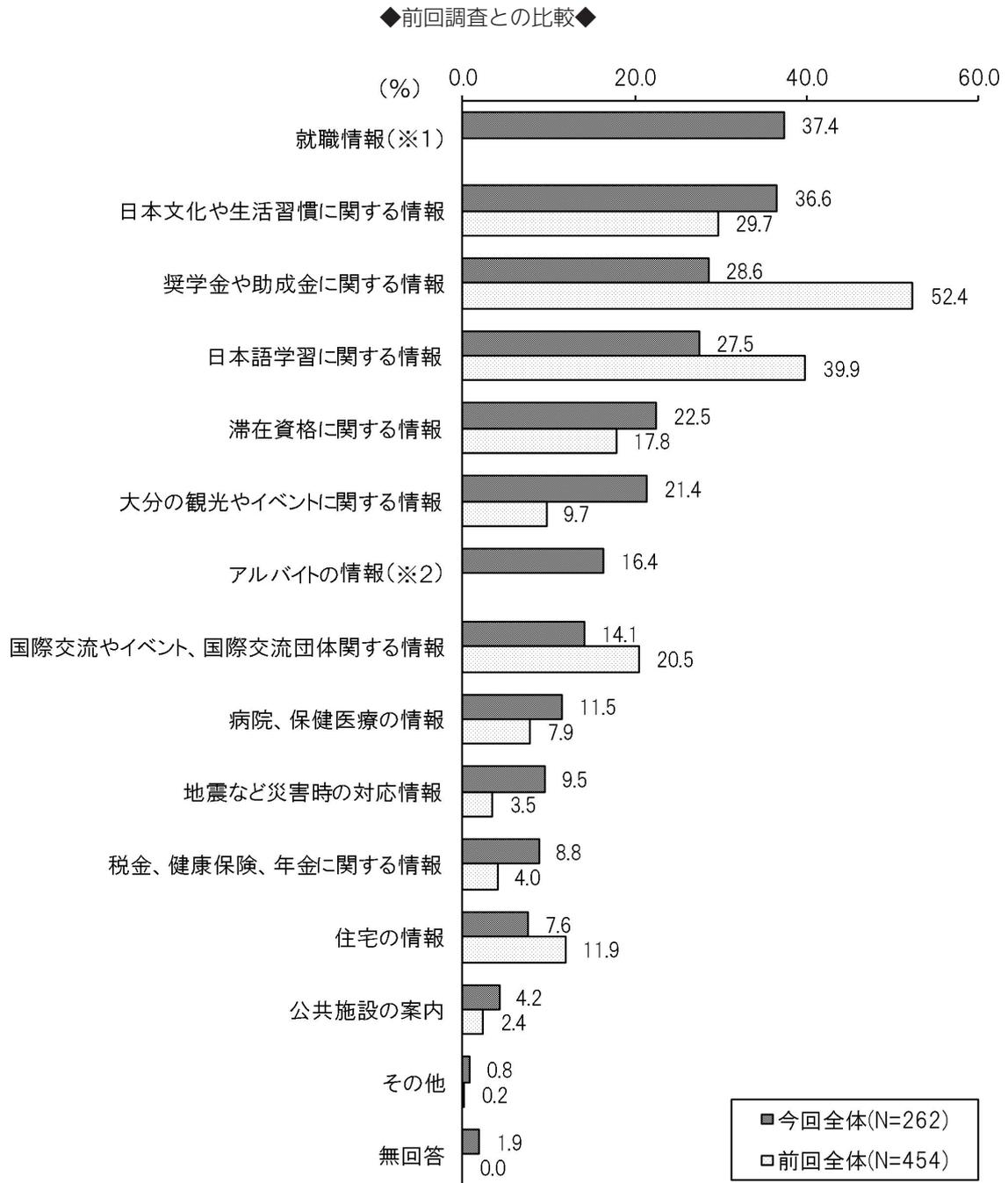
年齢別では、10歳代で「日本文化や生活習慣に関する情報」「奨学金や助成金に関する情報」「日本語学習に関する情報」「国際交流やイベント、国際交流団体に関する情報」、20歳代で「就職情報」が他の年齢層に比べてそれぞれ高い。

専攻別では、文系で「奨学金や助成金に関する情報」、その他の専攻で「滞在資格に関する情報」などがそれぞれ高くなっている。

単位(%)		就職情報	日本文化や生活習慣に関する情報	奨学金や助成金に関する情報	日本語学習に関する情報	滞在資格に関する情報	大分の観光やイベントに関する情報	アルバイトの情報	国際交流やイベントに関する情報	病院、保健医療の情報	地震など災害時の対応
全体(N=262)		37.4	36.6	28.6	27.5	22.5	21.4	16.4	14.1	11.5	9.5
性別	男性(n=147)	38.8	38.8	27.2	26.5	23.8	20.4	12.9	9.5	10.2	10.9
	女性(n=104)	38.5	31.7	31.7	29.8	20.2	25.0	19.2	21.2	14.4	8.7
年齢別	10歳代(n=13)	23.1	53.8	38.5	46.2	7.7	7.7	23.1	38.5	0.0	15.4
	20歳代(n=240)	39.2	35.8	27.9	26.3	22.9	22.9	16.3	12.9	12.5	9.2
	30歳以上(n=7)	14.3	28.6	28.6	28.6	42.9	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3
専攻別	文系(n=79)	41.8	27.8	41.8	22.8	12.7	27.8	12.7	17.7	10.1	5.1
	理系(n=44)	36.4	40.9	31.8	27.3	9.1	22.7	11.4	18.2	18.2	0.0
	その他(n=138)	35.5	40.6	20.3	30.4	31.9	17.4	20.3	10.9	10.1	15.2

単位(%)		税金、健康保険、年金に関する情報	住宅の情報	公共施設の案内	その他
全体(N=262)		8.8	7.6	4.2	0.8
性別	男性(n=147)	8.2	6.8	4.1	1.4
	女性(n=104)	8.7	7.7	3.8	0.0
年齢別	10歳代(n=13)	7.7	0.0	7.7	0.0
	20歳代(n=240)	7.9	7.5	4.2	0.8
	30歳以上(n=7)	28.6	28.6	0.0	0.0
専攻別	文系(n=79)	16.5	5.1	6.3	1.3
	理系(n=44)	9.1	0.0	6.8	0.0
	その他(n=138)	4.3	11.6	2.2	0.7

前回調査との比較をみると、今回調査では「日本文化や生活習慣に関する情報」「滞在資格に関する情報」「大分の観光やイベントに関する情報」が増加し、「奨学金や助成金に関する情報」「日本語学習に関する情報」が低下した。

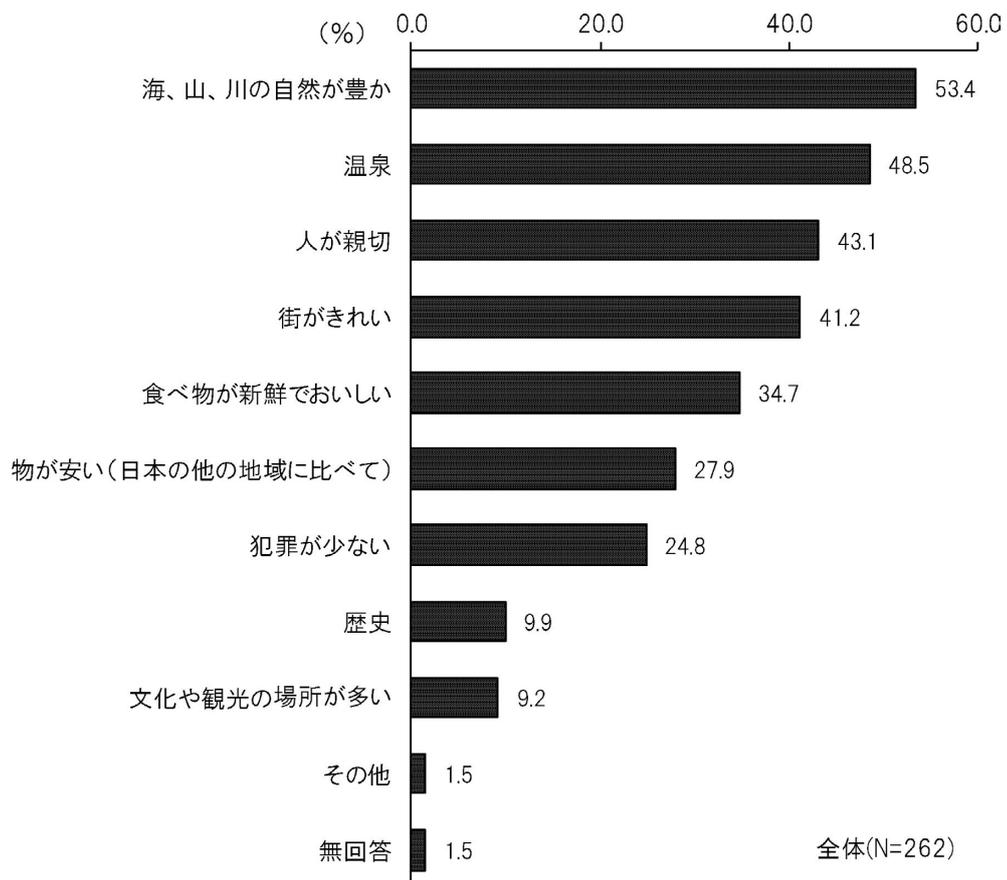


※1～2: 前回調査では「仕事、アルバイトの情報」(54.0%)

5. 大分市の好きなところ(問21)

問21 大分の好きなところは何ですか？(いくつでも可)

大分市の好きなところについては、「海、山、川の自然が豊か」が53.4%と最も高く、次いで「温泉」(48.5%)、「人が親切」(43.1%)、「街がきれい」(41.2%)の順となっている。

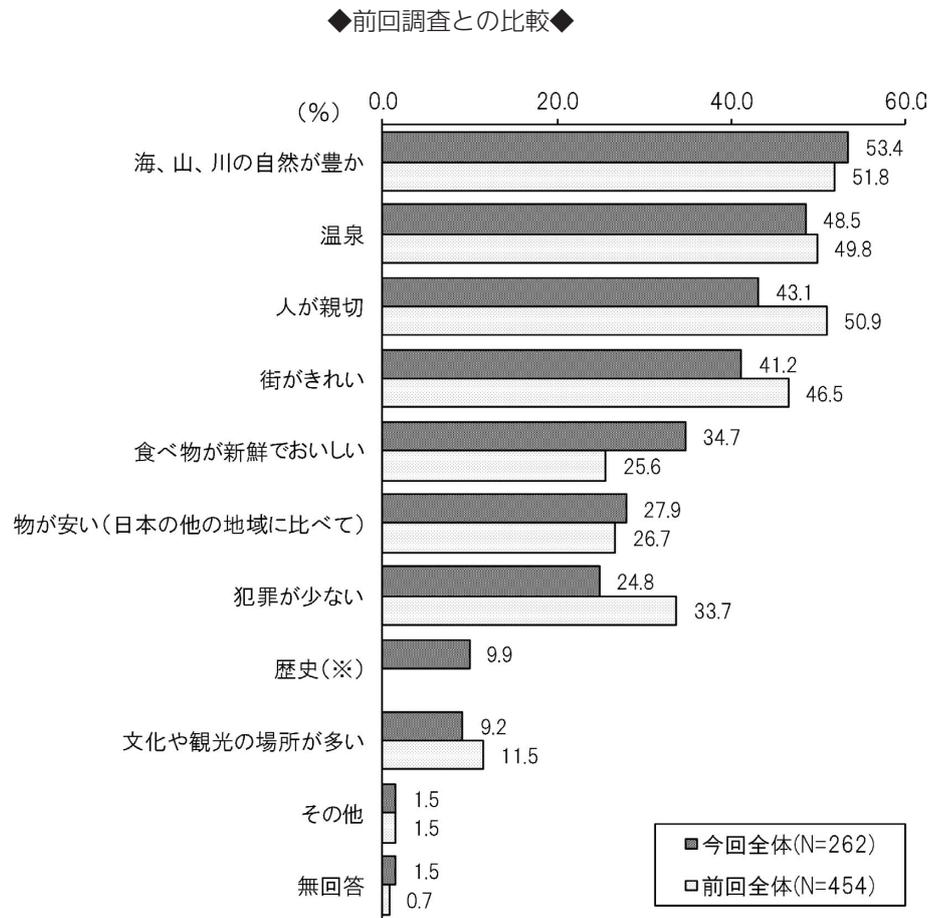


性別では、ほとんどの項目で女性は男性を上回っており、特に「海、山、川の自然が豊か」「人が親切」「街がきれい」「食べ物が新鮮でおいしい」「犯罪が少ない」の割合が高い。

年齢別では、10歳代で「物が安い(日本の他の地域に比べて)」が高く、居住年数別では、居住年数が長いほど「温泉」「物が安い(日本の他の地域に比べて)」「犯罪が少ない」が高くなる傾向にある。

単位(%)		豊海、 か、山、 川の自然が	温泉	人が親切	街がきれい	し食 べ物が新鮮 でおい	の物 地が安い に比(日本 の他	犯罪が 少ない	歴史	多文 化や 観光 の場 所が	その 他
全体(N=262)		53.4	48.5	43.1	41.2	34.7	27.9	24.8	9.9	9.2	1.5
性別	男性(n=147)	49.7	46.9	38.1	35.4	30.6	30.6	20.4	10.2	8.8	2.7
	女性(n=104)	61.5	52.9	51.0	51.9	41.3	26.0	31.7	8.7	9.6	0.0
年齢別	10歳代(n=13)	30.8	46.2	38.5	38.5	7.7	61.5	7.7	0.0	7.7	0.0
	20歳代(n=240)	54.2	49.2	42.9	41.7	36.3	26.7	25.4	10.4	9.6	1.7
	30歳以上(n=7)	71.4	42.9	57.1	28.6	28.6	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0
居住年数別	1年未満(n=119)	53.8	47.9	42.9	38.7	30.3	26.1	21.8	7.6	8.4	0.8
	1～3年未満(n=105)	54.3	41.0	45.7	45.7	40.0	27.6	23.8	12.4	10.5	2.9
	3年以上(n=33)	45.5	75.8	36.4	36.4	33.3	36.4	39.4	6.1	9.1	0.0

前回調査との比較をみると、今回調査では「食べ物が新鮮でおいしい」が増加し、「人が親切」「街がきれい」「犯罪が少ない」が低下した。



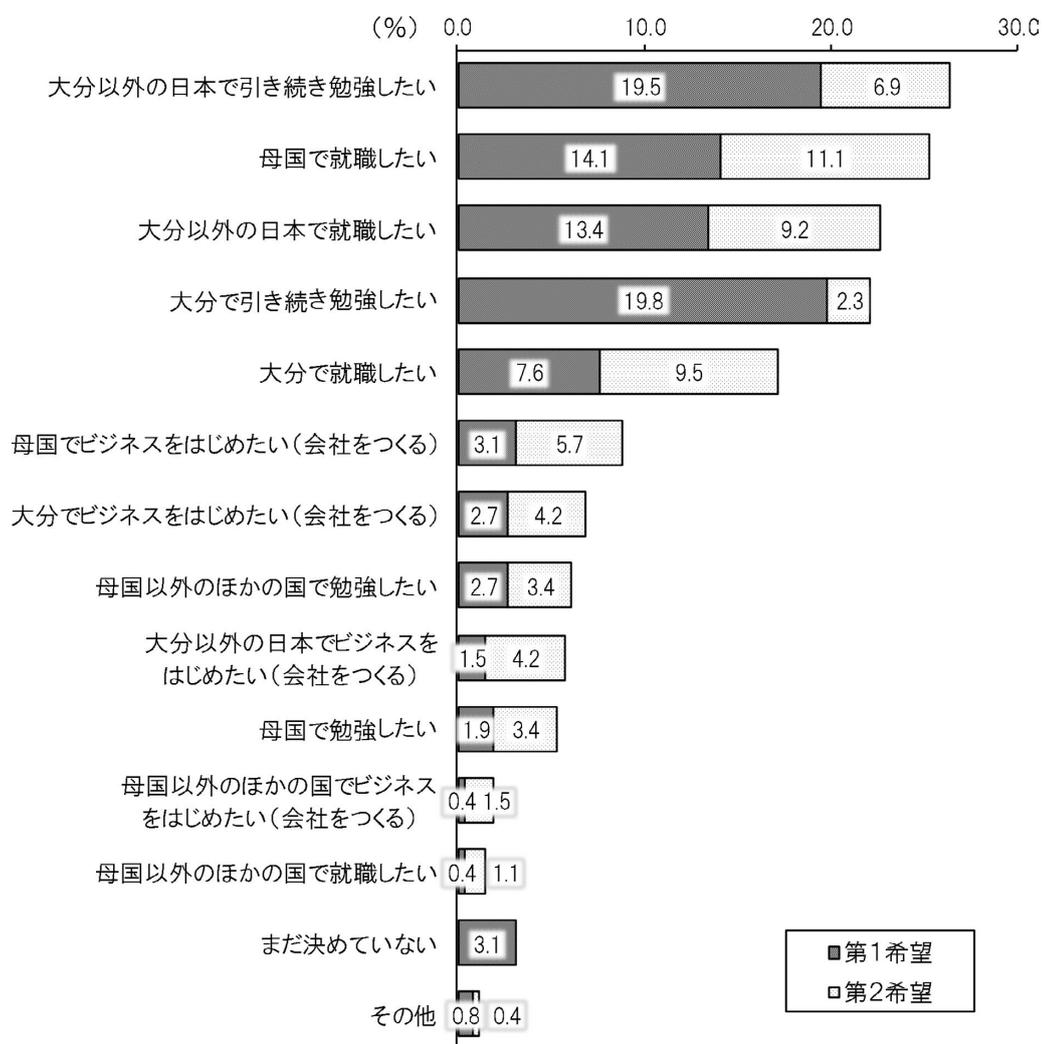
※前回調査では選択肢に無い

6. 卒業後の進路希望 (問22)

問22 卒業した後、どのような進路を希望しますか？ 優先順に2つ以内で選んで、解答欄に番号でご回答ください。

卒業後の進路希望に関する「第一希望」をみると、「大分で引き続き勉強したい」が19.8%と最も高く、ほぼ並んで「大分以外の日本で引き続き勉強したい」(19.5%)と続く。以下「母国で就職したい」(14.1%)、「大分以外の日本で就職したい」(13.4%)の順となっている。

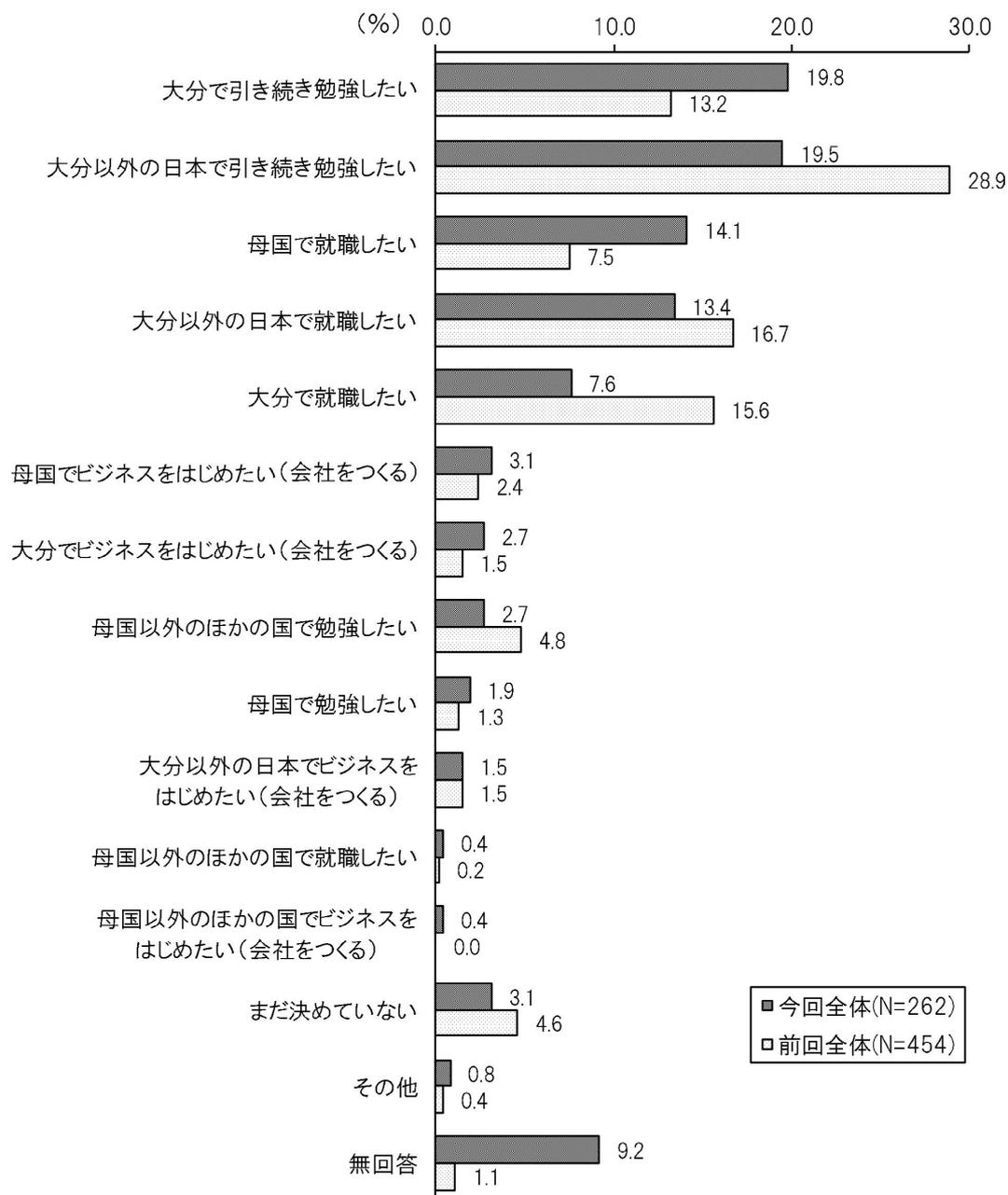
「第一希望」と「第二希望」を合計すると、「大分以外の日本で引き続き勉強したい」、「母国で就職したい」、「大分以外の日本で就職したい」など大分以外での進路を希望する意見が多く、次いで「大分で引き続き勉強したい」、「大分で就職したい」となっている。



注：「無回答」を除いて表記

前回調査との第一希望の比較をみると、今回調査では、「大分で引き続き勉強したい」「母国で就職したい」が増加し、「大分以外の日本で引き続き勉強したい」「大分以外の日本で就職したい」「大分で就職したい」が低下した。

◆前回調査との比較◆

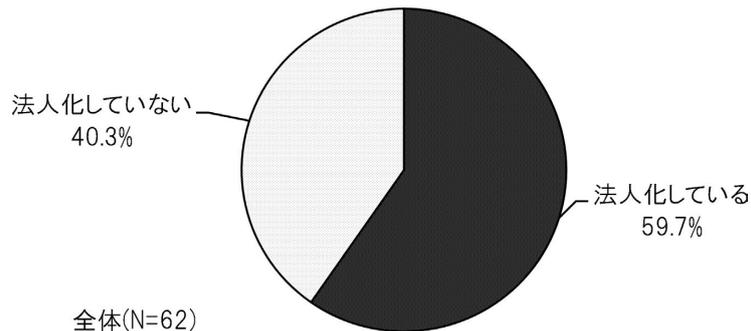


IV 国際交流団体調査結果

1 団体の属性

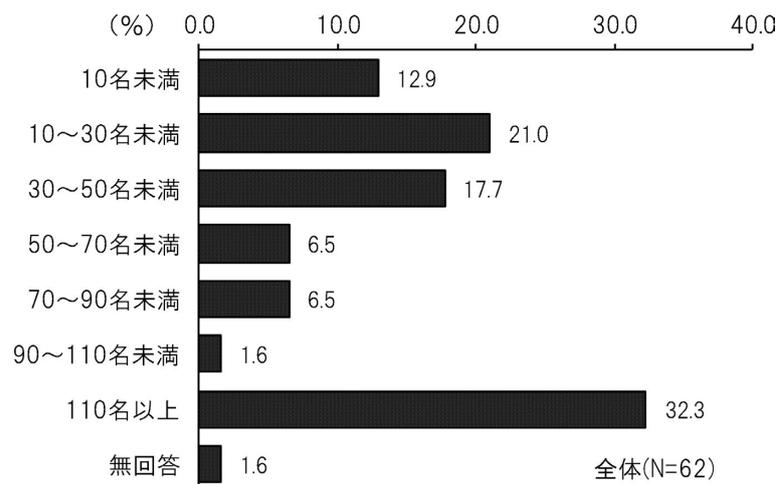
1. 団体の形態(問1)

団体の形態は、「法人化している」が59.7%、「法人化していない」が40.3%で、およそ6:4の構成となっている。



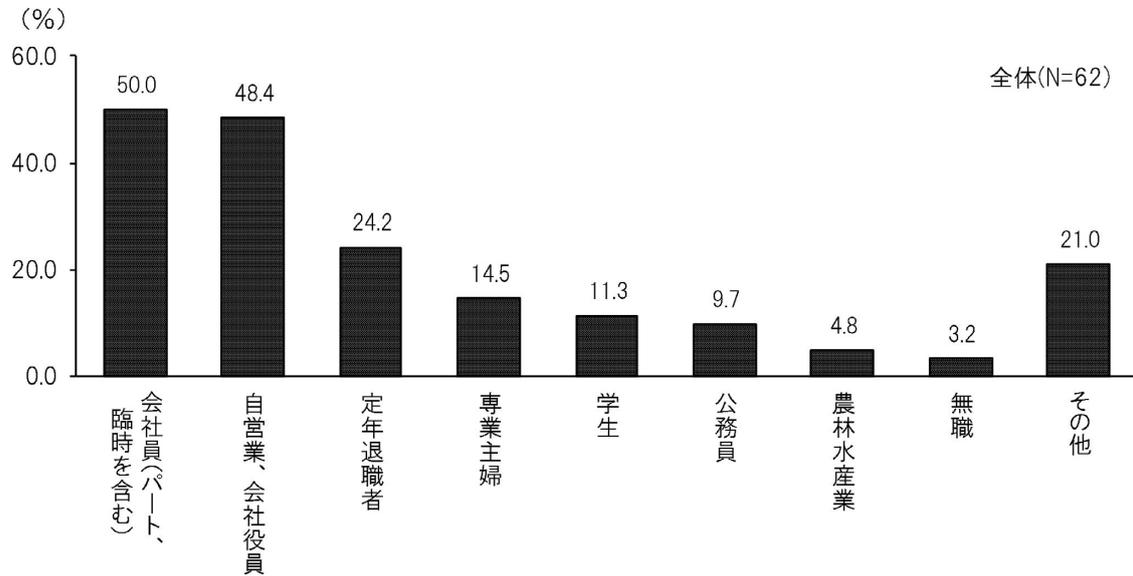
2. 会員数(問2)

会員数は、「110名以上」が32.3%と最も高く、次いで「10～30名未満」(21.0%)、「30～50名未満」(17.7%)、「10名未満」(12.9%)と続いている。



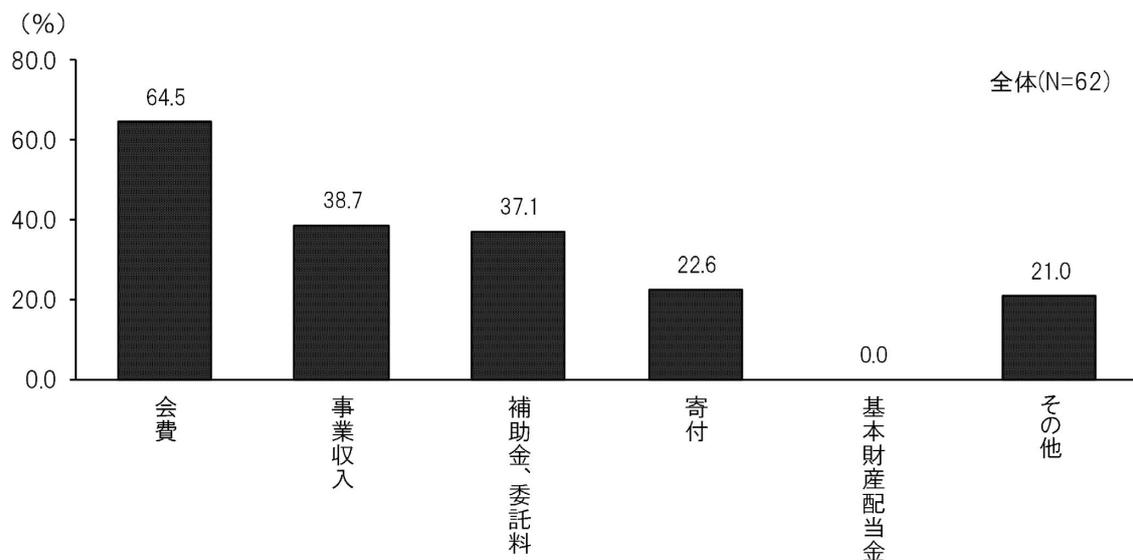
3. 会員の主な職業(問3)

会員の主な職業は、「会社員(パート、臨時を含む)」が50.0%と最も高く、ほぼ並んで「自営業、会社役員」が48.4%となっており、以下「定年退職者」(24.2%)、「専業主婦」(14.5%)の順となっている。



4. 団体運営の主な財源(問4)

団体運営の主な財源は、「会費」が64.5%と最も高く、次いで「事業収入」(38.7%)、「補助金、委託料」(37.1%)の順となっている。

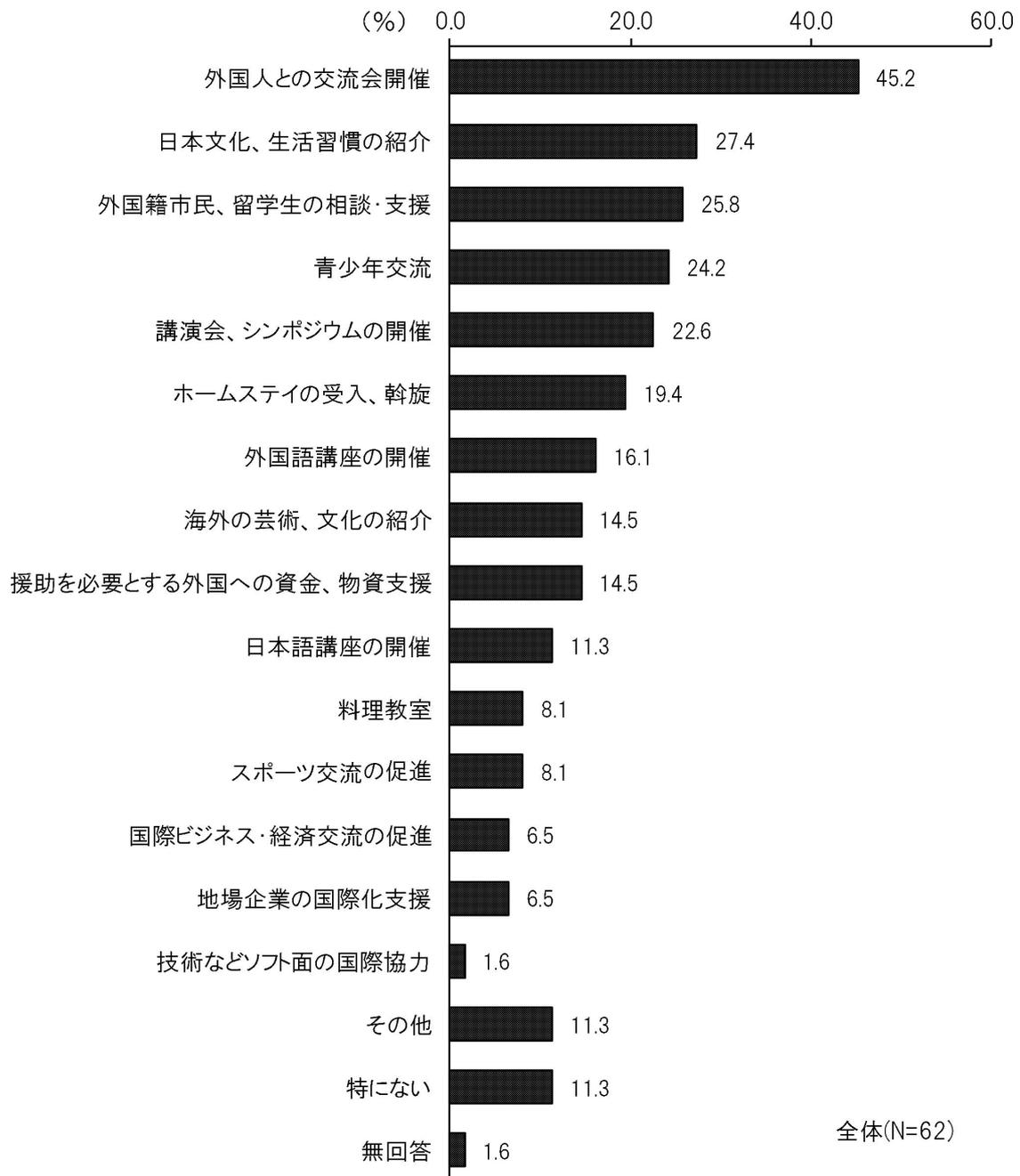


2 活動について

1. 国際交流・協力活動(問5)

問5 国際交流・協力活動の主なものは何ですか？(該当5つ以内で回答)

国際交流・協力活動については、「外国人との交流会開催」が45.2%と最も高く、次いで「日本文化、生活習慣の紹介」(27.4%)、「外国籍市民、留学生の相談・支援」(25.8%)、「青少年交流」(24.2%)、「講演会、シンポジウムの開催」(22.6%)などの順となっている。



形態別では、法人で「青少年交流」「海外の芸術、文化の紹介」「日本語講座の開催」「スポーツ交流の促進」「国際ビジネス・経済交流の促進」「地場企業の国際化支援」、非法人で「ホームステイの受入、斡旋」がそれぞれ高くなっている。

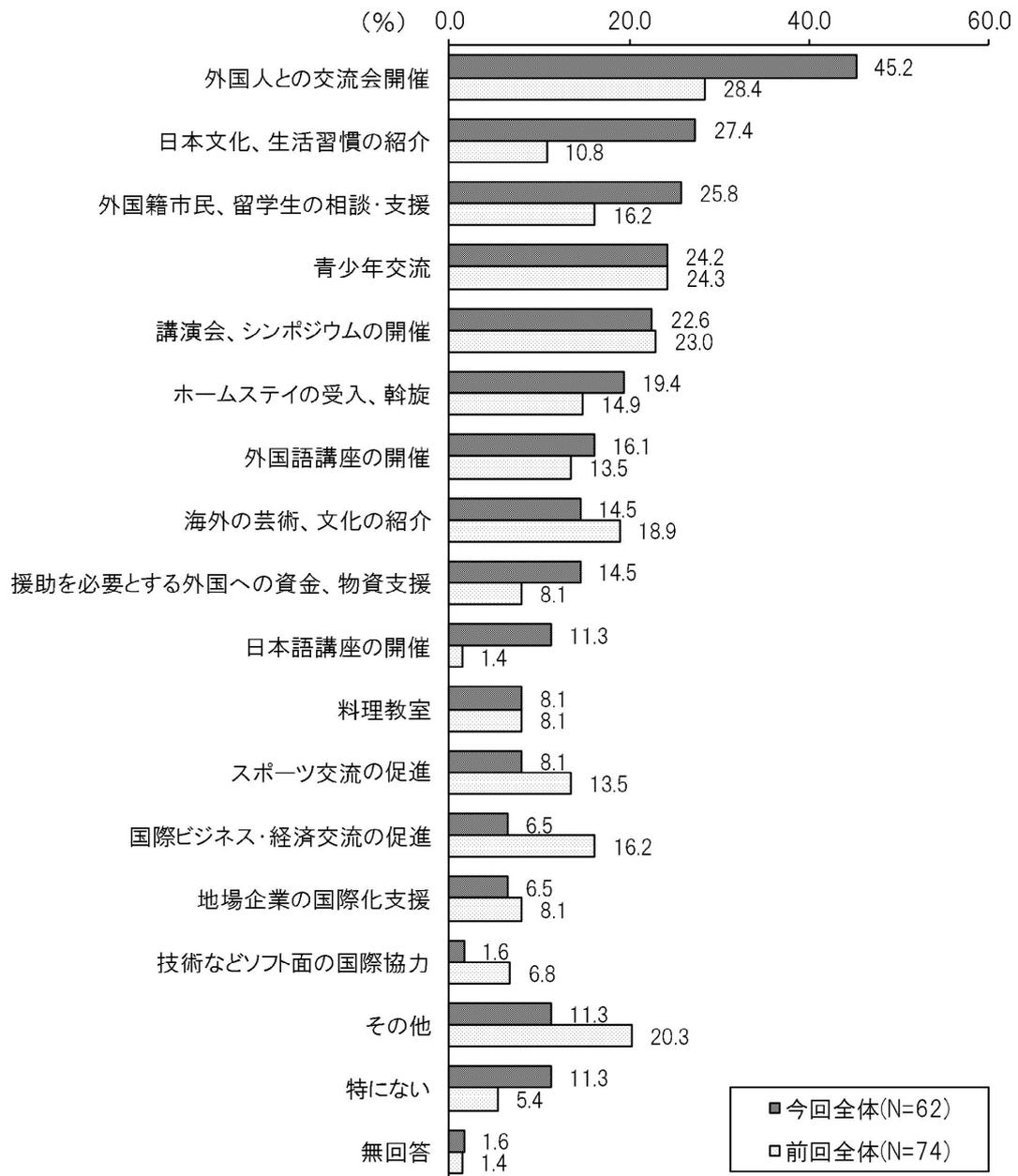
会員数別では、110名以上で特に「外国人との交流会開催」「日本文化、生活習慣の紹介」「海外の芸術、文化の紹介」などが高くなっている。

単位(%)	外国人との交流会開催	日本文化、生活習慣の紹介	外国籍市民、留学生の相談・支援	青少年交流	講演会、シンポジウムの開催	ホームステイの受入、斡旋	外国語講座の開催	海外の芸術、文化の紹介	援助を必要とする外国への資金、物資支援	日本語講座の開催
全体(N=62)	45.2	27.4	25.8	24.2	22.6	19.4	16.1	14.5	14.5	11.3
形態別	法人(n=37)	43.2	29.7	24.3	27.0	21.6	16.2	18.9	13.5	16.2
	非法人(n=25)	48.0	24.0	28.0	20.0	24.0	24.0	16.0	8.0	4.0
会員数別	30名未満(n=21)	42.9	28.6	23.8	28.6	9.5	9.5	14.3	4.8	9.5
	30～110名未満(n=20)	40.0	20.0	35.0	15.0	30.0	25.0	15.0	10.0	10.0
	110名以上(n=20)	55.0	35.0	20.0	25.0	30.0	25.0	20.0	25.0	15.0

単位(%)	料理教室	スポーツ交流の促進	国際ビジネス・経済交流の促進	地場企業の国際化支援	技術などソフト面の国際協力	その他	特になし
全体(N=62)	8.1	8.1	6.5	6.5	1.6	11.3	11.3
形態別	法人(n=37)	8.1	13.5	10.8	10.8	2.7	13.5
	非法人(n=25)	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.0
会員数別	30名未満(n=21)	9.5	4.8	4.8	4.8	0.0	14.3
	30～110名未満(n=20)	5.0	5.0	5.0	5.0	0.0	10.0
	110名以上(n=20)	10.0	15.0	10.0	10.0	5.0	20.0

前回調査との比較をみると、今回調査では「外国人との交流会開催」「日本文化、生活習慣の紹介」「外国籍市民、留学生の相談・支援」などが増加し、「海外の芸術、文化の紹介」「スポーツ交流の促進」「国際ビジネス・経済交流の促進」などが低下した。

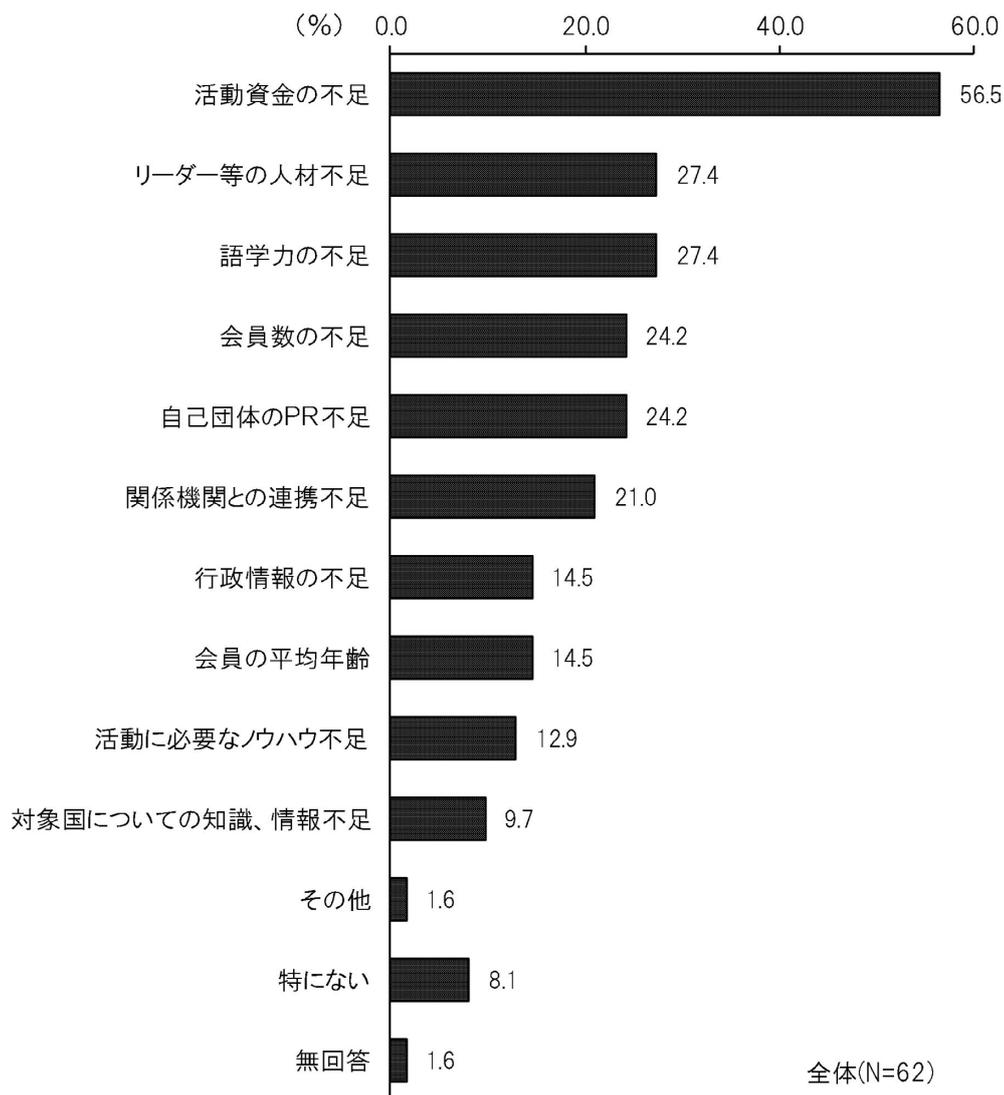
◆前回調査との比較◆



2. 活動上の問題点や課題(問6)

問6 活動をするうえで、問題点や課題があるとすれば何ですか？(該当5つ以内で回答)

活動上の問題点や課題は、「活動資金の不足」が56.5%と突出して最も高く、次いで「リーダー等の人材不足」「語学力の不足」(各27.4%)、「会員数の不足」「自己団体のPR不足」(各24.2%)、「関係機関との連携不足」(21.0%)の順となっている。



形態別では、法人で「活動資金の不足」「会員数の不足」「自己団体のPR不足」「活動に必要なノウハウ不足」、非法人で「リーダー等の人材不足」「行政情報の不足」「会員の平均年齢」がそれぞれ高くなっている。

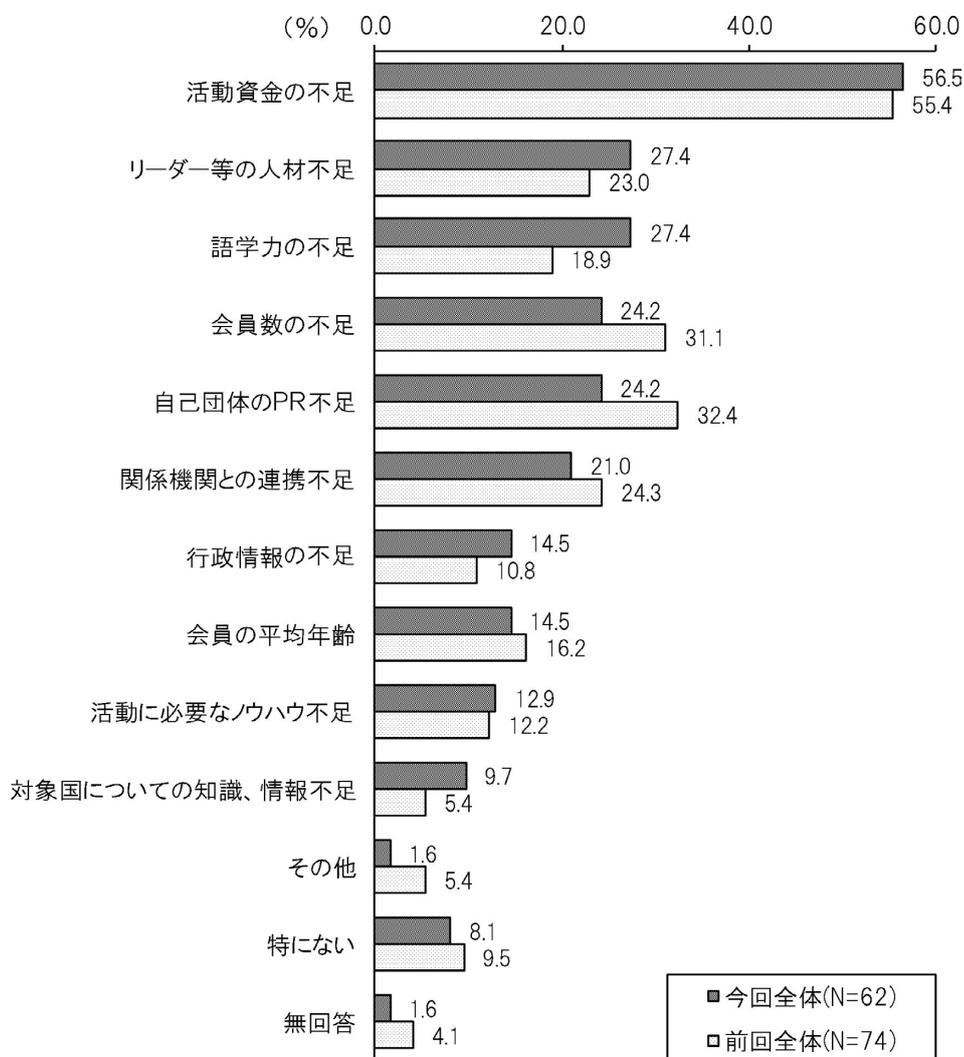
会員数別では、規模が小さくなるほど「活動資金の不足」「会員数の不足」などが高くなる傾向にある。また110名以上で特に「行政情報の不足」が高い。

単位(%)		活動資金の不足	リーダー等の人材不足	語学力の不足	会員数の不足	自己団体のPR不足	関係機関との連携不足	行政情報の不足	会員の平均年齢	活動に必要なノウハウ不足	対象国についての知識不足
全体(N=62)		56.5	27.4	27.4	24.2	24.2	21.0	14.5	14.5	12.9	9.7
形態別	法人(n=37)	59.5	24.3	29.7	27.0	29.7	18.9	10.8	5.4	16.2	10.8
	非法人(n=25)	52.0	32.0	24.0	20.0	16.0	24.0	20.0	28.0	8.0	8.0
会員数別	30名未満(n=21)	66.7	23.8	28.6	38.1	14.3	14.3	14.3	19.0	9.5	9.5
	30～110名未満(n=20)	50.0	25.0	20.0	20.0	30.0	25.0	5.0	15.0	15.0	10.0
	110名以上(n=20)	50.0	35.0	35.0	15.0	30.0	20.0	25.0	10.0	15.0	10.0

単位(%)		その他	特にない
全体(N=62)		1.6	8.1
形態別	法人(n=37)	2.7	10.8
	非法人(n=25)	0.0	4.0
会員数別	30名未満(n=21)	0.0	9.5
	30～110名未満(n=20)	0.0	5.0
	110名以上(n=20)	5.0	10.0

前回調査との比較をみると、今回調査では「リーダー等の人材不足」「語学力の不足」などが増加し、「会員数の不足」「自己団体のPR不足」などが低下した。

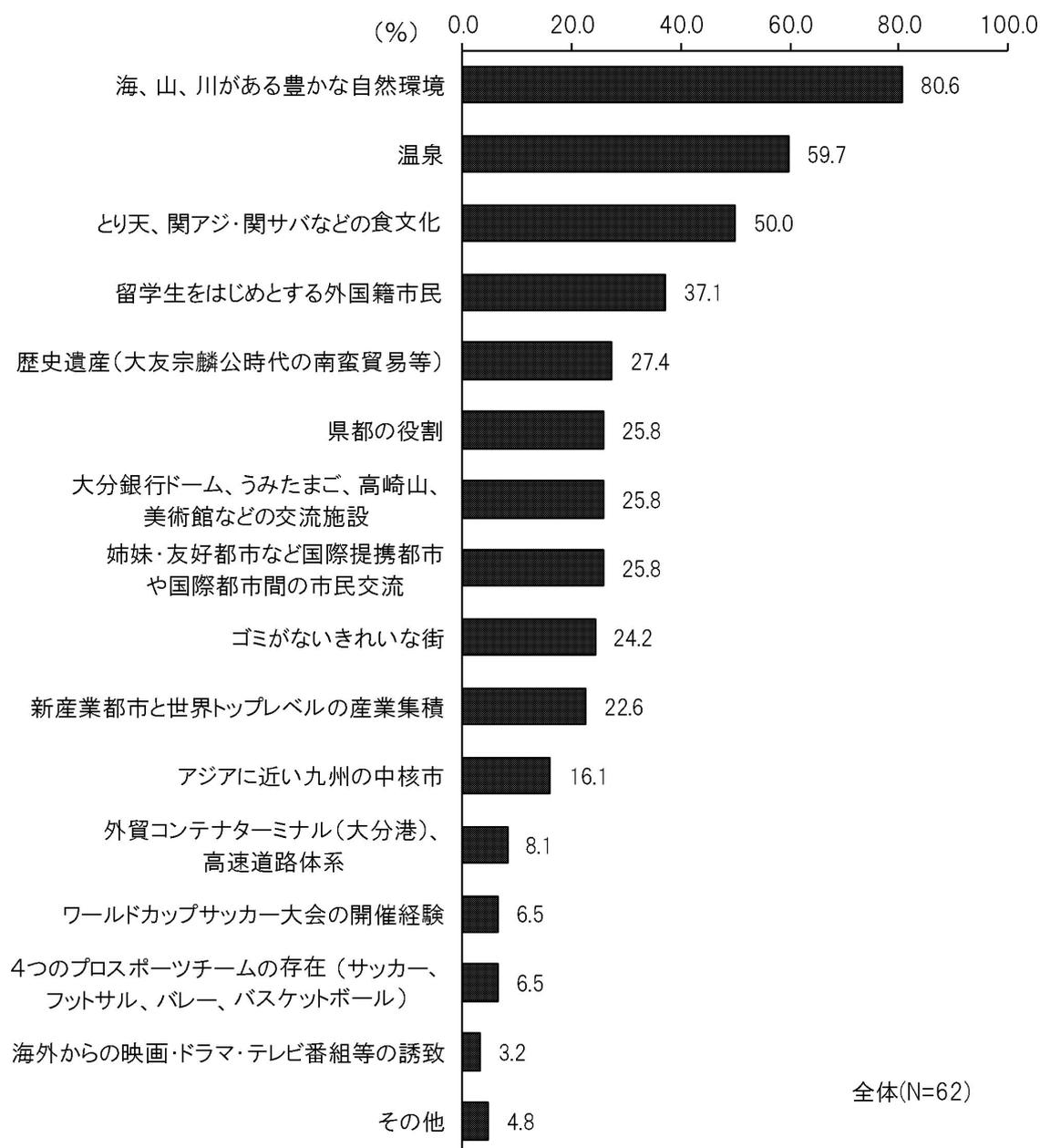
◆前回調査との比較◆



3. 大分市固有の特色や特徴で大切にしたいこと(問7)

問7 大分市固有の特色や特徴で大切にしたいことは何ですか？(複数回答可)

国際化計画をつくる際に大切にしたい大分市固有の特色や特徴については、「海、山、川がある豊かな自然環境」が80.6%と突出して最も高く、次いで「温泉」(59.7%)、「とり天、関アジ・関サバなどの食文化」(50.0%)、「留学生をはじめとする外国籍市民」(37.1%)の順となっている。



形態別では、法人で「ゴミがないきれいな街」「アジアに近い九州の中核市」「外貿コンテナターミナル(大分港)、高速道路体系」「ワールドカップサッカー大会の開催経験」、非法人で「とり天、関アジ・関サバなどの食文化」「大分銀行ドーム、うみたまご、高崎山、美術館などの交流施設」「4つのプロスポーツチームの存在(サッカー、フットサル、バレー、バスケットボール)」がそれぞれ高くなっている。

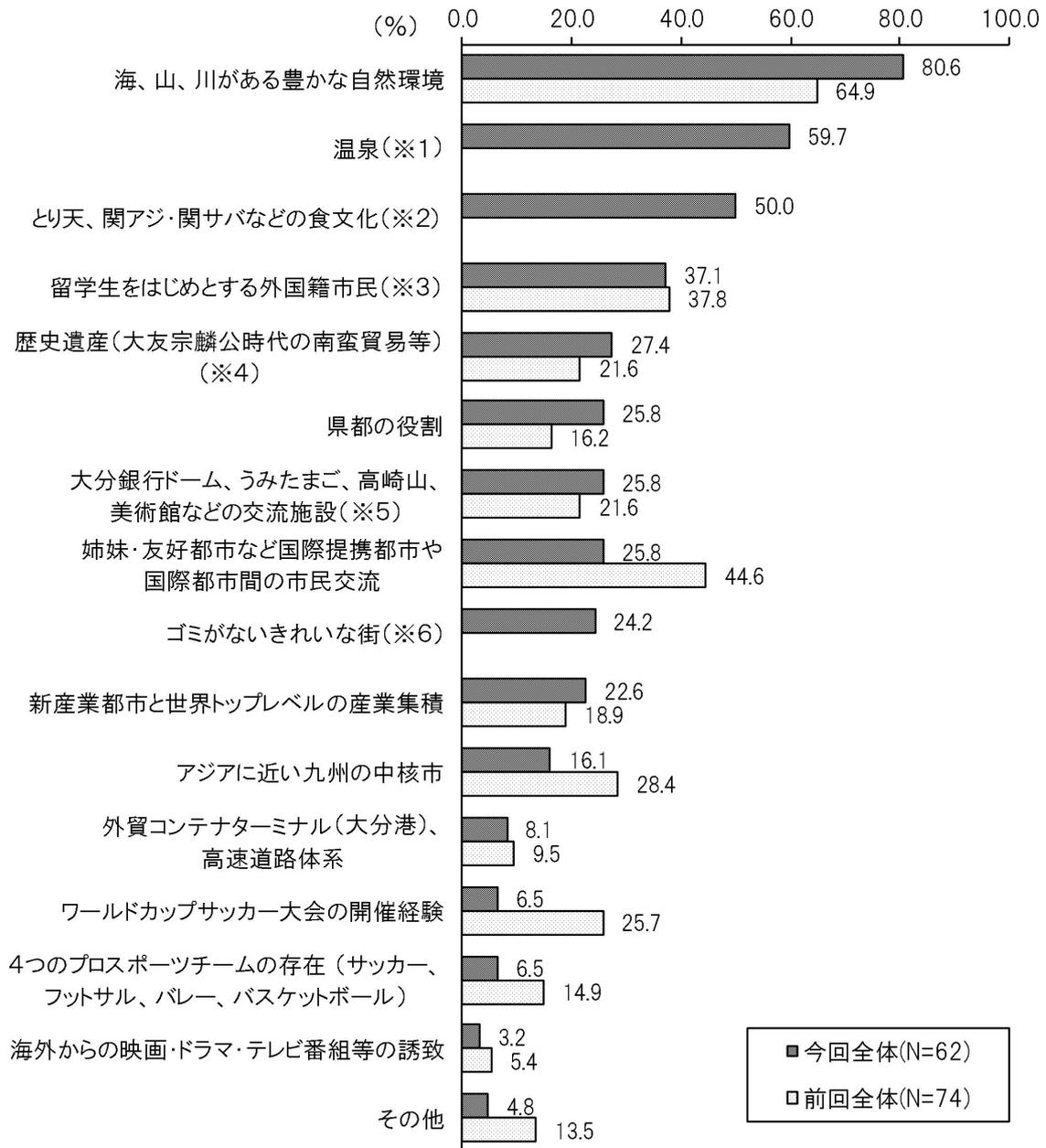
会員数別では、規模が大きくなるほど「歴史遺産(大友宗麟公時代の南蛮貿易等)」「大分銀行ドーム、うみたまご、高崎山、美術館などの交流施設」「姉妹・友好都市など国際提携都市や国際都市間の市民交流」などが高くなる傾向にある。

単位(%)		海、山、川がある豊かな自然環境	温泉	食とり文化	民留学生をはじめとする外国籍市民	歴史遺産(大友宗麟公時代の南蛮貿易等)	県都の役割	高崎山、美術館などの交流施設	大分銀行ドーム、うみたまご	姉妹・友好都市など国際提携都市	ゴミがないきれいな街	新産業都市と世界トップレベル
全体(N=62)		80.6	59.7	50.0	37.1	27.4	25.8	25.8	25.8	24.2	22.6	
形態別	法人(n=37)	78.4	62.2	40.5	35.1	29.7	24.3	21.6	27.0	27.0	24.3	
	非法人(n=25)	84.0	56.0	64.0	40.0	24.0	28.0	32.0	24.0	20.0	20.0	
会員数別	30名未満(n=21)	81.0	71.4	52.4	42.9	9.5	14.3	14.3	14.3	33.3	9.5	
	30～110名未満(n=20)	85.0	40.0	40.0	35.0	25.0	30.0	25.0	20.0	20.0	30.0	
	110名以上(n=20)	75.0	70.0	55.0	35.0	50.0	30.0	40.0	45.0	20.0	25.0	

単位(%)		アジアに近い九州の中核市	外貿コンテナターミナル(大分港)	ワールドカップサッカー大会の開催経験	4つのプロスポーツチームの存在(バレー、バスケットボール、フットサル)	海外からの映画・ドラマ・テレビ番組等の誘致	その他
全体(N=62)		16.1	8.1	6.5	6.5	3.2	4.8
形態別	法人(n=37)	21.6	13.5	10.8	2.7	5.4	5.4
	非法人(n=25)	8.0	0.0	0.0	12.0	0.0	4.0
会員数別	30名未満(n=21)	23.8	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0
	30～110名未満(n=20)	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	10.0
	110名以上(n=20)	15.0	10.0	5.0	10.0	10.0	5.0

前回調査との比較をみると、今回調査では「海、山、川がある豊かな自然環境」「歴史遺産（大友宗麟公時代の南蛮貿易等）」「県都の役割」などが増加し、「姉妹・友好都市など国際提携都市や国際都市間の市民交流」「アジアに近い九州の中核市」ワールドカップサッカー大会の開催経験」などが低下した。

◆前回調査との比較◆

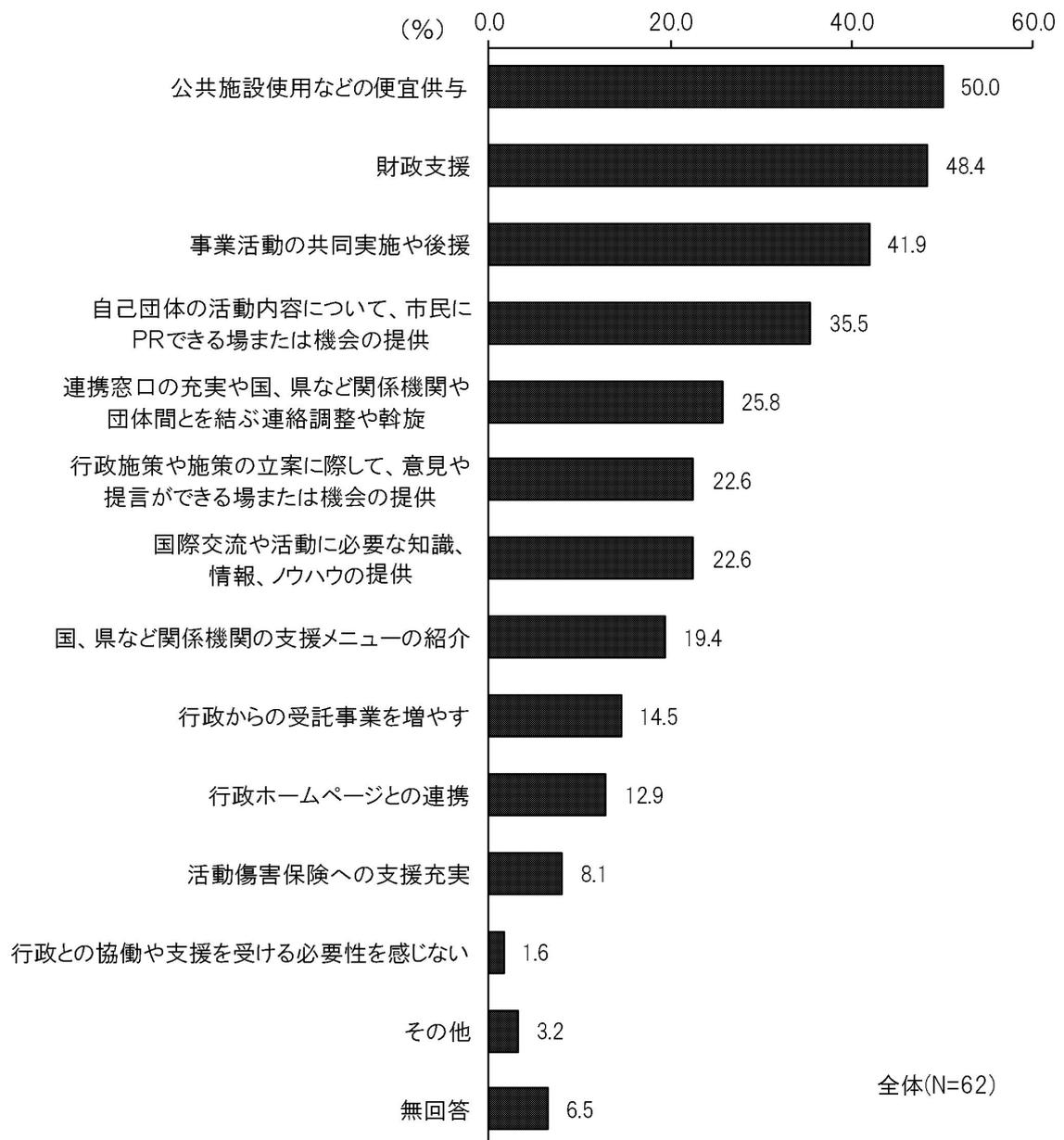


※1～2、※6：前回調査では選択肢に無い
 ※3：前回調査では「増加する留学生をはじめとする外国籍市民」
 ※4：前回調査では「大友宗麟公時代の南蛮貿易」
 ※5：前回調査では「九州石油ドーム、うみたまご、高崎山などの交流施設」

4. 国際交流・協力を行う場合の行政に対する希望(問8)

問8 国際交流・協力を行う場合、行政にどのような協働(連携)を望みますか？
(該当5つ以内で回答)

国際交流・協力を行う場合の行政に対する希望は、「公共施設使用などの便宜供与」が50.0%と最も高く、ほぼ並んで「財政支援」が48.4%と続き、以下「事業活動の共同実施や後援」(41.9%)、「自己団体の活動内容について、市民にPRできる場または機会の提供」(35.5%)の順となっている。



形態別では、法人で「財政支援」「行政からの受託事業を増やす」、非法人で「自己団体の活動内容について、市民にPRできる場または機会の提供」「国際交流や活動に必要な知識、情報、ノウハウの提供」「国、県など関係機関の支援メニューの紹介」がそれぞれ高くなっている。

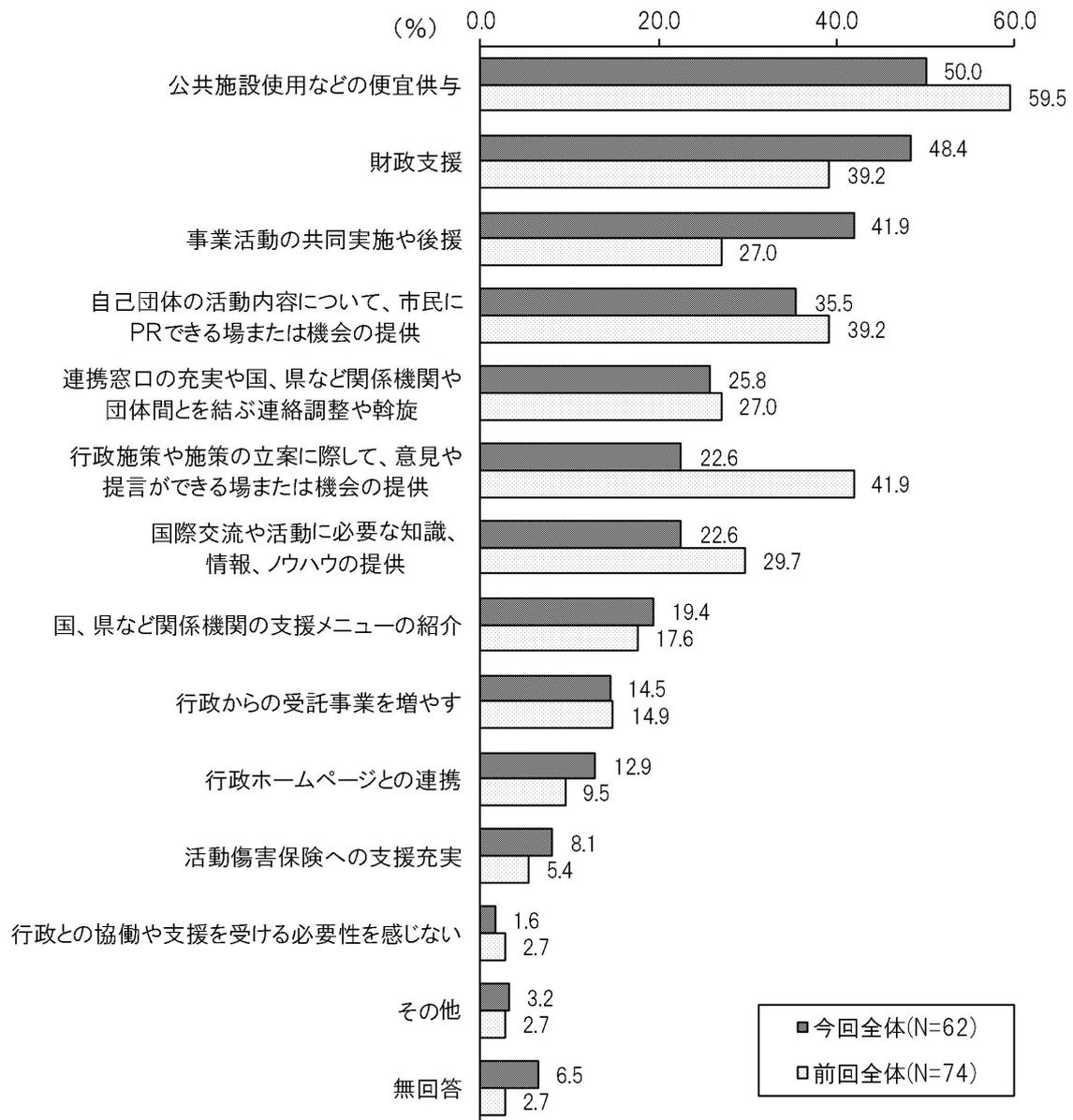
会員数別では、30名未満で「事業活動の共同実施や後援」、30～110名未満で「公共施設使用などの便宜供与」、110名以上で「行政施策や施策の立案に際して、意見や提言ができる場または機会の提供」がそれぞれ高くなっている。また、規模が大きくなるほど「国際交流や活動に必要な知識、情報、ノウハウの提供」「国、県など関係機関の支援メニューの紹介」が高くなる傾向にある。

単位(%)	公共施設使用などの便宜	財政支援	事業活動の共同実施や後援	自己団体の活動内容に関するPR提供	市民との活動内容に関するPR提供	関係機関の充実や団体間と	連携の充実に機会の提供	行政施策や見解の立案に際して、意見や提言ができる場または機会の提供	国際交流や活動に必要な知識、情報、ノウハウの提供	国、県など関係機関の紹介	行政からの受託事業を増やす	行政ホームページとの連携
全体(N=62)	50.0	48.4	41.9	35.5	25.8	22.6	22.6	19.4	14.5	12.9		
形態別												
法人(n=37)	48.6	56.8	43.2	32.4	24.3	24.3	16.2	16.2	21.6	13.5		
非法人(n=25)	52.0	36.0	40.0	40.0	28.0	20.0	32.0	24.0	4.0	12.0		
会員数別												
30名未満(n=21)	33.3	47.6	52.4	42.9	23.8	23.8	9.5	4.8	19.0	9.5		
30～110名未満(n=20)	70.0	50.0	30.0	30.0	35.0	10.0	25.0	20.0	20.0	20.0		
110名以上(n=20)	45.0	45.0	40.0	35.0	20.0	35.0	35.0	30.0	5.0	10.0		

単位(%)	実活動傷害保険への支援充	ける行政との協働や支援を受けたい	その他
全体(N=62)	8.1	1.6	3.2
形態別			
法人(n=37)	8.1	0.0	0.0
非法人(n=25)	8.0	4.0	8.0
会員数別			
30名未満(n=21)	9.5	4.8	4.8
30～110名未満(n=20)	0.0	0.0	0.0
110名以上(n=20)	15.0	0.0	5.0

前回調査との比較をみると、今回調査では「財政支援」「事業活動の共同実施や後援」が増加し、「公共施設使用などの便宜供与」「行政施策や施策の立案に際して、意見や提言ができる場または機会の提供」「国際交流や活動に必要な知識、情報、ノウハウの提供」などが低下した。

◆前回調査との比較◆



V フリーアンサー集約結果

1 個人／現在、実施している事業に対する意見等(問16)

大分市では、現行の「第2次大分市国際化推進計画」に基づき、様々な国際化及び国際交流事業を実施しています。これらの事業についてお尋ねします。

問16 上記の事業に関して、自由なご意見をお聞かせください。

現在、実施している事業については、自由記述によって尋ねたところ、次のような意見があげられた。

- ・あまり聞いたことのない事業ばかり(男性20歳代)
- ・観光客のマナー向上が急務(男性20歳代)
- ・様々な交流する機会があつてとても良いことだと思います。また、対象が中学生というのもあり次世代を担う若い年齢層の育成は大事だと思います。もっと大分から飛び出し海外を実際に感じる機会があるとなお良いのではないかと。(男性20歳代)
- ・知らない(男性20歳代)
- ・動員で満席になる事業でなく魅力あるイベントで、多くの市民が行ってみたいと思えるものへ変わることを期待しています(男性20歳代)
- ・マナーのよい外国人が来ることには賛成する(男性20歳代)
- ・興味の無い人は私同様全く知らないのもう少し情報を発信すべきである。(女性20歳代)
- ・車いすマラソンなどで世界に「大分」を知ってもらえるのはうれしく思います。世界におんせん県大分をもっと広めていただきたい(女性20歳代)
- ・知らない事業が多い(女性20歳代)
- ・武漢市との交流を多くされていますが、あまり武漢市のことについて知らない人も多いと思います。人がいっぱい集まる大手スーパーなどで武漢市の物産展や例えば独特のダンスを披露するなどの催しをみるとより親近感がわくのではないかと思います。(女性20歳代)
- ・もっと周知させたほうが良いと思います。CMやニュースで多く取り上げてください。全く知らない事業ばかりでした。(女性20歳代)
- ・私自身、興味を持って知ろうとしないのも原因の一つですが、上記イベントや事業があることをTVなどのメディアをもっと使って存在をアピールして強くプッシュするのも興味を持ってもらう方法だと思います。「おんせん県おいた」とPRしたような変化球のCMを流すのもいいと思います。(女性20歳代)
- ・21世紀はスポーツよりも音楽、絵画、演劇などの芸術に力をいれるべき。(男性30歳代)
- ・あまり知られてる大きなイベントが少ない。地理的に不利な面もある。大分市が空港から遠すぎる。(男性30歳代)

- ・大分国際車いすマラソンのようにスポーツの良さをいかして交流を増やしてもらいたい。(男性30歳代)
- ・行っている事業に対しての報道が少ない。事前に情報発信してほしい。(男性30歳代)
- ・偏った地域との交流の様な気がする。するからには、まんべんなく地域と交流を設けた方がいいかと(男性30歳代)
- ・車いすマラソン大会の国際招待選手の拡大・賞金を増やす努力が必要だと思う。障害者スポーツを大分の宝として打ち出すために国際レースとして価値を高めることは大分だからできること。(男性30歳代)
- ・今後すすむであろう少子高齢化に対し、外国人の移住や産業の流入、輸出、技術の海外への伝達など必須になってくると思います。国全体で考えないといけないお金(税金や国債)の問題など外国の方々の力が必要と思われるのでぜひとも促進をお願いしたいです。(男性30歳代)
- ・知っている事業はない。市民に対しやっているという感覚でいるのではなく、知ってもらおう努力をしてもらいたい。(情報発信が重要)(男性30歳代)
- ・市民の民度や所得、助成を見直ししない限り無駄だと思う(男性30歳代)
- ・長期的な視点で経済発展と恩恵をもたらす事業を始めるべき(男性30歳代)
- ・武漢市、武漢市とよく聞くが効果はほとんどなく税金の無駄使い。行政の自己満足である。(男性30歳代)
- ・ホームページに記載されていても興味がなければ誰も見ない。それでは意味がないので回覧板などで回すなどほかの手段も考慮してはいかが。(男性30歳代)
- ・大分市に30年以上住んでいながら知らないことが多かった(女性30歳代)
- ・大分に来て半年ですが国際交流や推進について何も感じたことがない。(女性30歳代)
- ・広報活動がないように思える。一部の市民しか知らないのではないかともっとアピールを。(女性30歳代)
- ・国際交流や国外に目を向けることも大事だと思うが、もっともっと小さい範囲である大分市内に目を向けることの方が大事である。(女性30歳代)
- ・こんなにも多くの事業をしているとは知らなかった(女性30歳代)
- ・上記事業が行われていることを全く知りませんでした。とても素晴らしい取り組みですね。特にリトルオースチン村には興味があります。(女性30歳代)
- ・上記事業はまったく知りませんでした。知らない人が多いと思います。現在、小学校にあがれば充実した英語生活ができなくなることがすごく不安です。公立小学校にも早期に英語を取り入れてほしいと思います。小学校でも毎日英語を話すというのが理想です。(女性30歳代)
- ・武漢市と友好都市なのは武漢の森で知っているが何の活動をしているのか全く知らない。(女性30歳代)
- ・私が中学生の頃、体験入学で来られた中国の生徒がいましたが違うクラスであったため、あまり話をしたりする機会がありませんでした。クラス数多かったので仕方なかったのですが、すごく貴重な体験なのでこういう機会が増えると良いと思いました。(女性30歳代)

- ・ オースチン・武漢・NPO等聞いたことがある程度でどういった内容なのか周知されていないように思われます。国際交流等もっと身近に感じられるようになるとよいと思います。(男性40歳代)
- ・ 外国籍市民による犯罪の増加(男性40歳代)
- ・ 偏った地域だけの交流に感じる(男性40歳代)
- ・ 残念ながら知っている事業はありません。(男性40歳代)
- ・ 自動翻訳などハード、ソフトの開発提供(男性40歳代)
- ・ 少子高齢化で人口が減っていきます。GDPも減っていきます。人口が減るからといって外国人労働者が増えれば大分市民の失業者が増えていきます。つまり、目的の無いただの国際交流では意味ないということです。今後は、大分に限らず日本の企業はクリエイティブで新しい価値を生み出す企業を促進するようなグローバリゼーションが必要だと考えます。例えばアップル社のような大分発の世界企業を生み出すことができるような目的や計画を立ててほしいです。大分の企業や産業が一步踏み出すグローバリゼーションを期待します。(男性40歳代)
- ・ 知りませんでした(男性40歳代)
- ・ 何も聞いたことがない。情報発信が不足している。魅力的なホームページや「大分市アプリ」などがあると若者へ浸透するのではと思うが。(男性40歳代)
- ・ 予算はいくら(男性40歳代)
- ・ あまり把握できていない事業が多い。もっと情報提供してほしいです。(女性40歳代)
- ・ 大分は住みやすくとてもいい場所だと思います。ただ、国際化となると空港の便が悪く、少し遠いかなと思います。もっと早く気軽に足を運ぶというのは他県に負けているかなと思います。別府・湯布院など素敵な場所があるのでまだまだ伸ばせると思います。(女性40歳代)
- ・ 興味が無いこともあり、現状もあまり知らないのが事実です(女性40歳代)
- ・ 興味関心のある市民が気軽に(一人でも)参加できる交流イベントの開催。例えば、料理、キャンプ、教室、体験活動。また、情報発信にも力をいれて。(女性40歳代)
- ・ 車いすマラソン毎年楽しみにしています。大変良いことだと思っています。(女性40歳代)
- ・ 知っている事業がない(女性40歳代)
- ・ 上記事業について知っているの方が少ないと思います。情報発信の仕方について考えるべきではないかと思います。ニュースや市報、ホームページだけでなく各地域イベントなどに出展してみても。(女性40歳代)
- ・ 上記のどれも知りませんでした。どの程度広報されているんでしょう。(女性40歳代)
- ・ 知らない事業が多い。ホームページを見るまでしないのもっと違うPRも必要(女性40歳代)
- ・ テレビを見た程度で難しいことはわからない(女性40歳代)
- ・ どれも余り知らない。地元のニュースなどでもっと情報などが出るとわかるかもしれませんが。ペーパーは読まないで情報を映像などで伝えてほしい。(女性40歳代)
- ・ 武漢雑技団の素晴らしい公演を見ました。もっと多くの人たちにみてほしいですね。雑技団の若い同いぐらいの年代の交流会があると良い刺激になると思います。また、武漢市の中学生がとても頭がいいと聞きました。指導される先生方のお話も聞いてみたいです。(女性40歳代)

- ・ 武漢市とオースチン市が姉妹友好都市であることはずいぶん前から知っているが実際にどのような活動をしているのかあまり周知されていないように思う。車いすマラソンのような全国的にメディアで目に触れるようなものは印象に残る。もっと教育などに生かせないか。(女性40歳代)
- ・ 武漢市との交流は盛んに行われているが、オースチン市が姉妹都市といわれるまで知らなかった。車いすマラソンに参加される海外の方に大分の宣伝を帰国してからもお願いしてほしい。そこから、その方だけでなくその国との交流が自然に始まれば良いと思います。(女性40歳代)
- ・ 武漢の森の近くに住んでいるので友好都市なのは知っていますがその活動をよく知りません。もっとアピールして欲しいし、武漢の森をもっと活用して欲しいし、市民のみなさんに知ってもらいたいです。(女性40歳代)
- ・ 目的は何なのか、本当に必要な事業なのかをしっかりと話し合ってもらいたい。ずっと続いているからなどという理由ではなくそのあたりをきちんとしてほしい。内容に関しても費用に関しても私たちの税金を使用しているのだから、きちんと意義を話し合い有意義な事業にしてほしい。何でも始めたらやめられないのではなく、必要がないものはやめることも必要。(女性40歳代)
- ・ 大分県の海外戦略からいえることは、これからますます外国人(特にアジア)との交流が盛んになると思われます。外国人との文化交流は学校教員である私にとっては重要なことだと思います。互いの文化を尊重していろんな国の人が大分市に来られても住みやすい環境をつくることだと思います。(男性50歳代)
- ・ 大分市のどこの機関がどのような活動をしているのか全くわからない。(男性50歳代)
- ・ 交流都市を増やしたい(男性50歳代)
- ・ CMが不足(何も考えてない人が知るくらい必要)(男性50歳代)
- ・ 市報などを利用してもっとアピールしてほしい(男性50歳代)
- ・ 市役所が予算を確保してやるべきではない。民間団体への補助金等にすべき。(男性50歳代)
- ・ 全然知らなかったことに驚いております。(男性50歳代)
- ・ 相互理解の観点から言うと、近隣国だけでなく遠くても親日国への積極的な国際交流事業展開が必要であると思う。(男性50歳代)
- ・ 単発的なイベントに力を集約するよりも長期的に見て何が必要なのかを重要視してPDCAの管理手法等を駆使しながら効果を最大化していくことが、これからの事業運営に求められるのではないかと思います。(男性50歳代)
- ・ もっと市民が知ることができるようPRすべき(男性50歳代)
- ・ もっと市民全員参加型の国際化に取り組んでいる一大イベントを開催してほしい。たとえば、各地の祭りや踊りを終結させ、そこに友好都市の祭りもきて、人も来てもらう。秋に行うのが良い。(男性50歳代)
- ・ もっと宣伝してください。ほとんど知らない。(男性50歳代)
- ・ ルーマニアのバカウシティ在住の女性、子どもとの交流をしていますが、同じ人間外国人だからといって特別変わることはないと思う。文化の違い、言葉の違いはあってもなんら日本人と変わらないですよ。(男性50歳代)

- ・以前にアペイロ市へ音楽交流で訪問した折、先方の役所の方が関わって準備をしてくださいました。が、内容については丸投げ状態で失望の連続でした。きっと、役所同士または協会同士などの交流ならもっと丁寧に関わってくれるのか、と思いました。中高生も参加していたのでとても残念でした。アペイロ市は小さな町なので職員も少ないとは思いますが、交流は形式ではないということをはっきり認識した思い出があります。(女性50歳代)
- ・大分の農業もすばらしいので外国に輸出できるようにしたらどうか。地域によっては外国からの子どもがいる場所もあるようなのでもう少し子育てにやさしい大分市にしてほしい(女性50歳代)
- ・聞いたことはいくつかあるが、自身関わっていないため無関心でした。まずは居住地を優先で考えていました。少しでも情報があれば協力できるかも。(女性50歳代)
- ・車いすマラソン大会では外国の方々の生き生きとした姿に感動しています。身近な友人もボランティアに参加し話を聞いたりすることで、国際事業の活動を陰で支えてくださっている方々の精神に深く感謝しているところです。(女性50歳代)
- ・国際交流では一方的な要求、要望をしたりまたそれを受け入れたりすることなく、相互に人と人として生きる地球人であることを大切に考えていくとよいと思います。(女性50歳代)
- ・事業としてのPR不足を感じます(女性50歳代)
- ・姉妹都市の件ですが、大分のテレビ等からは武漢市との交流ばかりニュースで出ますが、他都市のことはあまりありません。他都市との交流を行っているなら、もっと情報を流してください。偏っているのでは。(女性50歳代)
- ・台湾との交流はないのですか？(女性50歳代)
- ・長期間定着している事業は当然のように知っていますが、それにしても知らない事業が多すぎます。意識して知るようにしたい。(女性50歳代)
- ・テレビは福岡放送を見ることが多い。新聞は地元紙を購読していない。周りの人は大分についての話題が何一つない。この理由で情報がなかなかとれない。(女性50歳代)
- ・特に中国、朝鮮との交流は百害あって一利なし(女性50歳代)
- ・特にリトルオースチン、中学生相互派遣、武漢35周年は推進継続してほしいです。(女性50歳代)
- ・武漢市以外のことあまり知らないことが多かった。姉妹友好都市をもっと増やしてほしい。(女性50歳代)
- ・文化やスポーツ、ビジネスなど才能がある人が参加できる企画が多い気がしますが、もっと身近なテーマで交流できるような事業があればいいと思います。例) いっしょにダイエット、定年後の楽しみ方、大人の交換留学、自然エネルギー技術交流(家庭レベル)など(女性50歳代)
- ・韓国、台湾、インドネシア、ベトナムとの交流が今後大切になる。若い世代のホームステイの拡大で大分の若い世代の育成を！武漢市との交流に偏っている感がある。上海との交流も大切。(男性60歳代)

- ・ HPからの情報発信にはFBからの導入も併せて行う必要があり広く認知度をあげるにはツイッターではなくFBの効果は比べるまでもなく大きいものがあります。(男性60歳代)
- ・ あまり世間には知られていないようです。原因として考えられるのは①PRをしても特定の間人しか集めないのもっと深く意義等で地域等の密着型の(体制作りがいるのでは)②一般地域性に合った普通の人が普通に活動できること。③現状では、企業の社長や公務員の長が旗振りでは人が関心を持たないので、地域に住むご近所からのスタートが大事だと思われる。(男性60歳代)
- ・ あまり身近に感じない(男性60歳代)
- ・ 今の市政は閉鎖的。なぜ交流が必要なのか考えてほしい。市民と対話する市政がほしい。(男性60歳代)
- ・ 今までどのようなメリットがあったのか(男性60歳代)
- ・ 大分市国際化推進の実施内容はPR不足でしょうか？(男性60歳代)
- ・ 大分の良さを文化交流、グローバル化を通じてさらに高め、若い世代が潤う、例えば別府のAPUのように交流によって生まれる知ってもらうことが大分のためになることがあります。多くの人に来てもらうようになると発展につながる。国際化は大いに賛成でき実行に実のあることを望みます。(男性60歳代)
- ・ 「おんせん県大分」を明確にし人と人の付き合い裸の付き合いを通じ差別の無い国際交流を希望します(男性60歳代)
- ・ 外国人は当然ですが日本人自身が日本の歴史を正しく認識するべきだと思います。また、各国の歴史、文化、生活習慣等を十分に理解したうえで海外旅行あるいは外国人と交際すべきだと思います。(男性60歳代)
- ・ 会社関係で中国、シンガポール、マレーシア、ヨーロッパに行きましたが日本のように治安が良くない。観光ではシンガポールやヨーロッパはよいですが、中国は考え方が違うので犯罪が起らないようにしてほしい。今はシンガポールなどは中国人が40～50%住んでいます。以上のことを考えビジネスや姉妹都市を考えてほしい。(男性60歳代)
- ・ 聞いたことはあるが具体的にはわからない(男性60歳代)
- ・ 気軽に市民が参加できる事業を多くし、国際交流を活発にしてもらいたい。そのため伝統芸能や民謡を一層活用してもらいたい。(男性60歳代)
- ・ 釘宮市長勇退を機に武漢市との関係にピリオドを打ってはどうでしょう。(男性60歳代)
- ・ 具体的に知らないし、参加したこともない(男性60歳代)
- ・ 車いすマラソン、夢色音楽祭は市民が身近に感じられることができ、大分市に根差した事業でもあるので大変良い。毎年、楽しみに応援、見物に出かけています。(男性60歳代)
- ・ 車いすマラソンは良い。ポルトガル、武漢は無駄。東南アジア方面が良い。(男性60歳代)
- ・ 交流状況を市報等でもっと市民に知らせるべき(男性60歳代)
- ・ 国際化推進計画といっても余り関心がないので私たちにアンケートしてくださいといってもよく返答できない。(男性60歳代)

- ・ 国際交流に関わることに對し、高齢化になるとなじめない人が多いのではなからうか。車いすマラソン、雑技団公演など参加しやすいが交流となるとなんかおおげさで参加しにくいので、もう少し参加するものがあっても良いのでは。(男性60歳代)
- ・ これからも積極的に取り組んでください。(男性60歳代)
- ・ これらの事業は市民にはまったく見えない。関心がない。このアンケート項目も「何を問うているのか」が不明。総花的では何も見えない。「的を絞り、見える化」を図るべき。(男性60歳代)
- ・ 今後も積極的にできることは広く継続して欲しいし、新規事業に取り組んでほしい。応援します。(男性60歳代)
- ・ こんな事業をしているんだということをアピールしてもらいたい。知らない人が多いと思う。(男性60歳代)
- ・ 市ができること、県がやるべきことを仕分けしても良いと思う。市の負担を軽く。(男性60歳代)
- ・ 事業を凍結し、JR大分駅～大分空港間の線路を完成すること。(男性60歳代)
- ・ 実績の上がってる事業に対して集中していく。インターネットを活用したアピールをする。(男性60歳代)
- ・ 市民として誰でも住みやすい町づくりをすることができればことさらイベントをしたり多額の予算を使って海外交流することはないと思う。外国籍市民も豊かに暮らせる街づくりを(男性60歳代)
- ・ 地元の新聞を読んで知っている。マスコミの効果は大きい。(男性60歳代)
- ・ 上記事業の活動情報その他に接する機会がない。このように興味を抱かないのは内容に欠けるからでしょうか。(男性60歳代)
- ・ 上記事業全く知りません(男性60歳代)
- ・ 上記事業を行うことで大分市の人口が増加するのであれば積極的に行うべきだが、そのようなことがないなら再考すべき(男性60歳代)
- ・ 市レベルでは特に国際交流は必要とは思えない(男性60歳代)
- ・ 成果について外部評価を公表したらどうでしょうか(男性60歳代)
- ・ 全然認識ありません。(男性60歳代)
- ・ 地方で育成した人材が都市へ流出するのではなく、流入する箱ものや企業、大学を誘致する。県、市の部長級以上昇進条件に外国人を2年以上ホームステイさせると英会話を必須条件に。観光産業の掘り起こしで、肌の色、言葉の違う人が行きかう町、村で外国人にふれあうことで外国を身近に感じる。国際化へつながる。(男性60歳代)
- ・ 中学生相互派遣事業は広く市民に知らせていない。以前、PTA連合会の関係で知っているがもっと多方面に知らせていく方がよい。(男性60歳代)
- ・ 中国、韓国は国の指導者の考え方で交流が左右される。政治に影響されない国との交流を優先し、当事国が民主化が進まない限り本当の文化理解はできないのでは。(男性60歳代)
- ・ 中国からの研修生の受け入れは大分市にとって相応する何か利益がないとそれは交流できない。大分市がなぜ中国とするのかわからない。大分市が持つノウハウが中国にとって必要なくなればそれで終わりになるのでは。(男性60歳代)

- ・できるだけ長期に渡り継続してほしい(男性60歳代)
- ・ どうして友好都市になったのかよく知りませんが提携や交流に対しどのような意義や効果があるのかもっと市民に訴えてはどうでしょうか。(男性60歳代)
- ・ 取り組みの成果について広報発表などがあるとより理解が深まると思う。(男性60歳代)
- ・ 内容の濃い事業と継続をお願いしたい。(男性60歳代)
- ・ 費用対効果の説明が一切ない。外から見れば旅行気分での視察にしか思えない。(男性60歳代)
- ・ 武漢市との交流で今までどんな成果があったかは不明。どの程度予算を使っているのかは不明。もう収束に向けた考えもあって良いのではないかと。きれいごとばかり並べないでほしい。(男性60歳代)
- ・ 武漢市との交流本当に日本のためになっているのか。相手国のわがままにいつまでつきあっていくのか。国と国は別問題と考えているのか。(男性60歳代)
- ・ 武漢市は大分市を見ていない、新日鉄を見ている。訪問者は一度外国から日本、九州、大分を試してみる必要があり。もっと自由に訪問できる日本にする必要あり、上から目線ではダメ。(男性60歳代)
- ・ 武漢との交流に熱心のようにだが果たして武漢市民は大分市のことについて理解があるのか疑問(男性60歳代)
- ・ 文化交流は文化の交流だけにして(男性60歳代)
- ・ 友好都市のことなど初めて知りました。市民のどれぐらいの人が知っていますか(知りたい)(男性60歳代)
- ・ 一般市民も参加できる場を設けてほしい。市報等にイベント等を詳しく載せてほしい。(女性60歳代)
- ・ いろいろな事業が関係するところだけの行事になっている気がする。市報やHPの告知だけでは各年齢層に伝わりきれていないのではないと思う。(女性60歳代)
- ・ インターネットを活用する機会が増えていく。これからの情勢に合わせた取り組みが必要となってくると思います。(女性60歳代)
- ・ 大分市が国際交流事業を行っていることをほとんど知りませんでした。新聞やニュースで紹介されていると思いますが注意がたりませんでした。(女性60歳代)
- ・ 大分市民でありながら1つしか回答できなかった。興味を持って大分市をもっと愛する心があればいろいろ知識を得たと思うが、今後は大いに関心を持って生活したい。(女性60歳代)
- ・ 国際車いすマラソンや夢色音楽祭へは参加しています。選手の息遣いが伝わる車いすマラソンは感動しています。夢色音楽祭は南こうせつのファンなの楽しみにしています。(女性60歳代)
- ・ 市報にて事業に参加した人の数、意見などもう少し載せてほしい。様々な事業を通じて新しく起業があったか教えてほしい。(女性60歳代)
- ・ 知らない事業が多い(女性60歳代)
- ・ なぜ反日、抗日の中国と交流するのか。市の一部の人間の思想的思惑があるのではないかと。こんなことに税金を使わず市民の直接的な生活に使い。これで日中関係が良くなったのか。(女性60歳代)

- ・ 武漢市を通じて中国との国交関係が良好になればと願っています。(女性60歳代)
- ・ 若者を海外に参加させる事業を、市、県として力を入れてほしい。自分にできることはお手伝いしたい。(女性60歳代)
- ・ 一般市民は上記事業をほとんど知らない。効果的な情報発信が必要。(男性70歳以上)
- ・ いろいろな方面に向けてしっかりとした行事が行われていることを初めて知りました。ただ、勉強不足もありますが、知らないことばかりです。(男性70歳以上)
- ・ 大分市が中国武漢市との交流を図ることより日中関係の国交が少しでも柔らかくなることを期待しています。(男性70歳以上)
- ・ 大分市国際化推進計画の目的と意義、期待効果並びに成果が示されていないので、今後の進むべき方向について何をベースに回答していいのかわからない。(男性70歳以上)
- ・ 大分市は県都だけに多くの事業を展開していることは知っている。今後は全国的にも国際化の充実、拡大が進行することは明白である。このため、これらに向けた人材育成交流施設整備拡充等、地域社会づくりの推進を期待している。(男性70歳以上)
- ・ 大分の観光資源をさらに世界に向けて発信する必要がある。ただし、受け皿の準備を徹底的に実施しなければならない(男性70歳以上)
- ・ 大在埠頭に外国からの大型クルーズ船をつける(男性70歳以上)
- ・ 外国人が入ってくると日本人の負荷が大きくなるので慎重にお願いしたい。例えば、市報の多言語化。外国人教師の増加。(男性70歳以上)
- ・ 外国人数が住民数に対して非常に高い別府市を隣組に持っている大分市がもっと協力して良い方向へ持っていくことが「大切ですよ」縄張り根性をなくせ。(男性70歳以上)
- ・ 外国人との交流は大切かもしれないが常識人ばかりとは限らず外国人の常識外犯罪に不安を覚える。生活保護を目的に入国する外国人が許せない。(男性70歳以上)
- ・ 外国の方と交流するにも外国語を話せない高齢者が多い。簡単な日常会話できるよう自治会単位で英会話教室を開いてもらいたい。英会話は認知症予防になるので多数参加すると思う。英会話教室に補助金が出れば自治会で開催したいと思います。(男性70歳以上)
- ・ 車いすマラソン、アルゲリッチ音楽祭など協働参加型の行事、イベントの掘り起こし市民、在日の方による運営、発展させていく。たとえば、トライアスロン、府内ばっちゃんの国際化など。(男性70歳以上)
- ・ 車いすマラソンにおける市民の協力は大切。これからも続けてほしい。(男性70歳以上)
- ・ 継続すべし(男性70歳以上)
- ・ 現在、中国との交流が中央政府との軋轢によって以前ほど活発さに欠けているようです。武漢市など相手とのパイプを太くすることが肝要です。(男性70歳以上)
- ・ 広報活動不足だと思います。中国より韓国、台湾、アメリカ、西欧のほうが親しまれるのでは。(男性70歳以上)
- ・ 交流窓口で外国語を話せる人を増やす運動必要と感じます(3か国語程度)(男性70歳以上)
- ・ 国際化推進計画に基づき種々の交流事業を実施されているようですが、問10、問14等で回答いたしておりますが、これらに関する情報が少々不足しているのではないのでしょうか、市民として理解が低いと思っておりますので、回答に最良の意見が出ますかねと疑問に思っております。(男性70歳以上)

- ・国際化について市民が関心できるような情報活動、情報が少ない。活動についての報告。ホームステイの取り組み。(男性70歳以上)
- ・国際交流が自分の生活、県、市、にとってどう変化し生まれるのか？または期待して活動していくのか。みんなが知る必要がある。市民が日常生活の中で自然に参加している「参加していた」といったようなうまい方法はありませんかね。県、市の将来を考えるとこの計画は良いことだと思います。(男性70歳以上)
- ・国際交流事業において一般市民が参加できる内容が非常に少ない。外国の文化、祭りなどの行事を数多くできるといいと思います。テーマ、情報内容が硬すぎる。行政文章。(男性70歳以上)
- ・国際交流は今後も大分にとって良いことだと思う。治安に関しては十分な対策をして欲しい。外国の方にもマナーは守っていただきたい。(男性70歳以上)
- ・国際的な視点に立った個性ある大分市の構築と街づくり。ビジュアル情報の積極的な発信(男性70歳以上)
- ・子どもに道徳教育を行ってほしい(男性70歳以上)
- ・このような事業での助成金はやめて、観光で来てもらいその中で大分県、大分市を知ってもらえばよい(男性70歳以上)
- ・最近中国との関係は悪化する一方で少し冷却期間を置くべきかと思う(男性70歳以上)
- ・市議の関係で武漢の関係は視察に参加したので知っています(男性70歳以上)
- ・事業がいろいろあるが浸透度がどこまでか、このアンケートで判明されると思うが、実施方法、結果把握を都度検討していただきたい。こちらが無関心だったのかもしれませんが。(男性70歳以上)
- ・事業実施は良いことだと思います(男性70歳以上)
- ・事業の周知説明案内不足。市報で特集を組む必要ありと感じる。(男性70歳以上)
- ・事業を知らなかった。市民の大半は認識がないと思う。もっとPRを(男性70歳以上)
- ・知っていますが今は自分たちの生活しか考えられません。(男性70歳以上)
- ・市の取り組みは評価するが、末端住民の立場では国際交流を意識したら何もできない。地域の地域に見合う行事や活動に、居住する外国人留学生も地域住民と同じレベルで参加する場機会を通じて結果として交流が促進されればそれでよいのではないか。それが地域の役割だと思う。(男性70歳以上)
- ・姉妹都市オースチン・武漢市等ありますが市民一般の方々はどのぐらい認識しているのでしょうか？(男性70歳以上)
- ・姉妹都市交流事業の充実。青少年に限らずに多くの世代の人々にも広げること(男性70歳以上)
- ・姉妹都市を多く作り青少年交流を定期的に行う、継続させる。外国を知ることは個のスキルアップとなる。(男性70歳以上)
- ・知らないことが多い、もっとPRしてほしい(男性70歳以上)
- ・大変良いことだと思います。(男性70歳以上)
- ・中高生を対象に1カ月程度外国に派遣し視野の広い青少年の育成に力を注いでください。5カ国に各20人程度、将来を担う若者に思い切った施策が必要。(男性70歳以上)

- ・ 中国、韓国との交流が本当に必要なのか。草の根活動は理解できるがそれよりも他の国との友好を進め、日本の文化、生活習慣を理解してもらい、第3国経由で中国、韓国に理解してもらえればいいのでは。(男性70歳以上)
- ・ 日常生活において外国人の姿を見ることが多く違和感をまったく感じない。自然環境を生かし文化、芸術を中心に自然に交流が増加するようになれば時間はかかるが長続きの交流ができると思います。よって、現状諸策を少しずつ強化していくことが良いと思っています。(男性70歳以上)
- ・ 恥ずかしいことですが理解度ゼロです。(男性70歳以上)
- ・ もっと情報発信してほしいです。(男性70歳以上)
- ・ 約27年前に我が家に武漢市の子供をホストファミリーとして受け入れ、その体験で以降国際交流を始めた。現在は娘が引き継いでいる。中学生の交流事業で自国の「良・悪」がそれなりに理解して、本人の成長と我が家の生活に大変役立ちました。ただ、ホストファミリーには経済的な問題も考える必要がある。(男性70歳以上)
- ・ リトルオースチン村について初めて知りました。詳しく知りたいです。(男性70歳以上)
- ・ 大分市国際化推進計画とは大きいものに思えるが、大分市のやることは小さくていいのではないか。全体をみて考えるべき。(女性70歳以上)
- ・ 経済発展の著しい中国の武漢市との経済面においての交流を積極的に行うべきだと思う。(女性70歳以上)
- ・ 現在の中国政府が変化なく続く限り、幅広い武漢市との交流を促進すべきである(女性70歳以上)
- ・ 事業については詳しくは知りません。もっと市民へ伝える手段を広めていくことが良いと思います。行政がせっかくやっていることは、市民に届くこと、市行政の大切なことだと思う。このアンケートで知ったことも多いです。私だけですかね？(女性70歳以上)
- ・ 事業名は知っているが活動内容まで知らない(女性70歳以上)
- ・ 小・中学校の子ども達が関わっていく事業活動を提供してほしい。(女性70歳以上)
- ・ 次の世代を生きていく若い人達に広く世界をみてもらいたい。そして自分の住んでいるこの大分市が自分の生活している場所がどれ程幸せな場所であることを自覚してもらいたい。(女性70歳以上)
- ・ 娘が2年間オースチンに住みましたが、外人が多く土地が広く住みよく生活が楽しかったと言っていました。大分にまだまだ外国人が住んでほしいです。空家対策。(女性70歳以上)
- ・ 良く知らない(女性70歳以上)
- ・ 私が50歳のときインドネシアの方が会社に2年間いました。日本語も早く覚えて、外国の方と楽しく作業ができました。(女性70歳以上)

2 留学生／アルバイトに対する希望(問11)

問11 アルバイトをする場合の希望はありますか？(職種、給料、労働時間など)

アルバイトをする場合の希望について、自由記述によって尋ねたところ、次のような意見があげられた。

- ・ いい仕事がしたい。給料は高い方がいい。(男性10歳代・1年未満)
- ・ コンビニ、スーパーでレジがしたい(男性10歳代・1年未満)
- ・ コンビニで働きたいですけど、時間があればあるほどいいです。(男性10歳代・1年未満)
- ・ 喫煙を自由にしたい(男性10歳代・1年未満)
- ・ 弁当つくる。給料8～8.5万。一日4時間(女性10歳代・1年未満)
- ・ 15時～19時まで(男性20歳代・1年未満)
- ・ 4～5時間(男性20歳代・1～3年未満)
- ・ アルバイトしたくない(男性20歳代・3年以上)
- ・ アルバイト時間の延長(男性20歳代・1年未満)
- ・ アルバイト時間は週30時間がいい。時給1,000円(男性20歳代・1年未満)
- ・ アルバイト時間は週38時間がいい(男性20歳代・1年未満)
- ・ いいバイトをしたいです。時給800～900。(男性20歳代・1年未満)
- ・ いっしょに働く人がいい人であればなんでもいい(男性20歳代・1年未満)
- ・ お金(男性20歳代・1～3年未満)
- ・ コンビニ(男性20歳代・1～3年未満)
- ・ コンビニ(男性20歳代・1年未満)
- ・ コンビニ。週28時間。時給800円(男性20歳代・1年未満)
- ・ スーパーで働きたい(男性20歳代・1年未満)
- ・ スーパー惣菜であげながらつめる。時給700円。4時間(男性20歳代・1年未満)
- ・ デパートで仕事したいです(男性20歳代・1年未満)
- ・ どこでも役立つ仕事がしたい(男性20歳代・1年未満)
- ・ パソコン関係の仕事がしたい(男性20歳代・1～3年未満)
- ・ ホテルの仕事(男性20歳代・1～3年未満)
- ・ ラーメン屋でアルバイト。月10万(男性20歳代・1～3年未満)
- ・ レストラン。18時～22時(男性20歳代・1年未満)
- ・ レストラン。時給850円。一日6時間。(男性20歳代・1～3年未満)
- ・ レストランで午後2時からアルバイトをしたい(男性20歳代・1年未満)
- ・ 一週間28時間。時給1,000円(男性20歳代・1年未満)
- ・ 一日4時間。時給750円(男性20歳代・1～3年未満)
- ・ 飲食業、30万ぐらい、一日7時間(男性20歳代・1～3年未満)
- ・ 飲食業、時給800円、1日3時間(男性20歳代・1～3年未満)
- ・ 英語教える(男性20歳代・1年未満)

- ・外国人に対するアルバイト情報 (WEB サイト) があれば良いと思います (男性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・学校で勉強した知識を活かすことができるところ (男性 20 歳代・1 年未満)
- ・楽しかったらなんでもいいです (男性 20 歳代・1 年未満)
- ・給料 (男性 20 歳代・1 年未満)
- ・給料あげてもらいたい (男性 20 歳代・3 年以上)
- ・教えること、時給 1,000 円 (男性 20 歳代・1 年未満)
- ・私たち外国人だからバイトすると厳しい。アルバイトの面接は自分でして OK になったらいい。今は保証人が必要です。私たちは保証人がいません。 (男性 20 歳代・年数不明)
- ・事務所のアルバイト。時給 1,000 円。4 ～ 8 時間 (男性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・時給 1,000 円ほしい (男性 20 歳代・1 年未満)
- ・時給 1,000 円以上。働く時間と賃金を増やしてほしい。 (男性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・時給 750 円。4 時間 (男性 20 歳代・1 年未満)
- ・時給 800 円以上、労働時間 (夜、週末) (男性 20 歳代・3 年以上)
- ・時給が高い方が良い (男性 20 歳代・3 年以上)
- ・時給が高くて、時間も長い (男性 20 歳代・1 年未満)
- ・時給の高いところ (男性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・時給を高くもらいたい (男性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・週 28 時間。 (男性 20 歳代・3 年以上)
- ・週 28 時間。月給 7 万～ 9 万 (男性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・情報系、国際交流 (男性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・静かなところで仕事がしたい (男性 20 歳代・1 年未満)
- ・日本語ができればコンビニでバイトしたい。日本人と話すために時間はどれぐらいでもいいです。 (男性 20 歳代・1 年未満)
- ・日本語よく練習できる場所 (男性 20 歳代・3 年以上)
- ・日本人と話しの時間や機会が多くなりたいです。給料が高くなってもいい。 (男性 20 歳代・1 年未満)
- ・勉強していることに関するバイトがしたい (男性 20 歳代・3 年以上)
- ・母語に関係する仕事がほしい (男性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・お魚をパック。月 6 ～ 7 万。13 ～ 17 時 (女性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・コンビニ。給料は 800 ～ 1,000 円/時。時間は 4 時間。週 3 ～ 4 勤務。 (女性 20 歳代・1 年未満)
- ・コンビニのレジ。時給 1,000 円 (女性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・サービス業、日本語力を高める (女性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・スーパーで惣菜のバイト。月 7 万。 (女性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・ドラッグストア、時給 780 円、週 3 日× 4 時間 (女性 20 歳代・1 年未満)
- ・ものをつくる。月 7 万。週 25 時間 (女性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・レジの仕事。夜 5 時～ 10 時。時給 700 円 (女性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・レストラン。時給 1,200 円 (女性 20 歳代・1 年未満)
- ・レストランでアルバイト、1 日 4 時間、給料は月 7 ～ 8 万 (女性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・レストランとか人と話せるところ (女性 20 歳代・1 年未満)

- ・ レストランのホールの仕事がしたい。時給850円以上ほしい(女性20歳代・1年未満)
- ・ 一日5時間ぐらい(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 飲食業(ホール)、語学教室(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 家庭教師、時給1,500、一回2時間、週2～3(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 休みを自分で決められるところ(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 給料(女性20歳代・3年以上)
- ・ 給料が高いところ(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 給料が高く、労働時間が調整できるところ(女性20歳代・1年未満)
- ・ 給料が高くなりたいです(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 給料は低い(女性20歳代・1年未満)
- ・ 近くて時給高い(女性20歳代・1年未満)
- ・ 工場の軽作業、語学教室、洋服屋、本屋。給料はできるだけ貰いたい。授業に支障のない週末に希望する。(女性20歳代・1年未満)
- ・ 今の時給が755円ですが800円に引き上げてくれたらいい。(女性20歳代・1年未満)
- ・ 時給1,000円以上(女性20歳代・1年未満)
- ・ 寿司とかデザートとか揚げ物をつくる。18～22時。月60,000円(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 週27時間。レストラン。月75,000円(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 洗い物。月6～7万。20～28時間(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 通訳(女性20歳代・3年以上)
- ・ 通訳、自分の国の言語を教えるバイト。労働時間4時間。時給700～1,000円(女性20歳代・年数不明)
- ・ 日本語を使うところで働きたい。時給900～1,200円(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 半年以下の短期のバイトがしたい(女性20歳代・1年未満)
- ・ 病院(女性20歳代・1年未満)
- ・ 勉強が忙しくてわかりませんし、情報もありません(女性20歳代・1年未満)
- ・ 勉強や自分のプラスになること(女性20歳代・3年以上)
- ・ 弁当つくる。給料6万。1週間に20時間(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 弁当つめる。月58,000円。13時30分～5時半(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 留学生のできるアルバイト、時給1,000円(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 労働時間、週末朝8～5時(女性20歳代・1年未満)
- ・ 労働時間が1日4時間以内で一週間3日(女性20歳代・1年未満)
- ・ 飲食業、時給800円、1日4時間(性別不明20歳代・1～3年未満)
- ・ 寿司つくる。18～22時(性別不明20歳代・1～3年未満)
- ・ 日本語を良く使う仕事(性別不明20歳代・1～3年未満)
- ・ スーパーで一週間に28時間です(男性30歳代・1年未満)
- ・ なんでもいい(男性30歳代・1年未満)
- ・ レストランでアルバイト(ホールの仕事)。時間は6～10時まで。時給は700円です。(女性30歳代・1～3年未満)
- ・ 語学教室(女性30歳代・1～3年未満)
- ・ 時給900～1,200円(女性年齢不明・3年以上)
- ・ ホールの仕事。月給10万(性別不明年齢不明・年数不明)

3 国際交流団体／国際化や国際交流に関する意見(問9)

問9 国際化や国際交流・協力に関して自由なご意見をお聞かせください。

国際化や国際交流について、自由記述によって尋ねたところ、次のような意見があげられた。

- ・ 県内、あるいは市内の国際化や多文化共生の推進には今後とも関係機関の連携や協調が必要不可欠である。大分市のさらなる積極的な取り組みを期待します。(法人10名未満)
- ・ 行政が中心になって活動を活発化させることが必要だと思っています。民間中心ではまだ余裕がないのが現状(未法人10名未満)
- ・ 当団体に財政面でゆとりがなければ、なかなか交流協力ができないのが現状です。コツコツと支援を続けるためにも資金作りと助成金が必要だと感じています。(法人10～30名未満)
- ・ 我々のNPO法人の目的事業から見る場合、国際化や国際交流などよりも国内の地域・団体・行政との交流や協働をもっと活発にしたいと考えています。(法人10～30名未満)
- ・ 今後、東南アジア方面と姉妹友好都市として交流できればと願います。(未法人10～30名未満)
- ・ 大分に在住されている海外の人々の悩みやニーズの把握に努め、それらの情報を元に現在活動している国際交流団体へ意見や提言を行ってほしい。(法人30～50名未満)
- ・ さまざまなサービスを提供する国際センター(語学教室、交流の場、旅行の情報、国際理解講座)(未法人30～50名未満)
- ・ ライオンズクラブは社会奉仕をモットーとしておりますので、国際交流など協力できることはしたいと考えております。(未法人50～70名未満)
- ・ 姉妹友好都市への青少年交流(市民も含む)(以前に比べて海外への関心があまり感じられないのでぜひ海外経験をさせて関心を持ってもらい次世代のリーダーを育成したい。きっかけになるといいと思います)。市民、青少年が海外の方と交流できる場の充実(英語など話せるのに実際に使う機会がとても少ないと思います。もっと触れ合えたらいいと思います)。ワークショップや国際理解講座などの開催(小さな子ども参加できるような)。小・中・高生の海外ホームステイの補助(資金面など)(法人110名以上)
- ・ 中国、韓国とは毅然とした態度をとり、未来の子供たちのためにも終止符を打ってほしい(法人110名以上)
- ・ 中国武漢市との交流は重視しているが、是非この交流を幅広く展開してほしい(未法人110名以上)
- ・ 都市間交流もさることながら、在大分の外国人との交流が最優先されるべきではないでしょうか。在大分外国人から各交流都市への波及はインターネットの時代なので情報は早いものです。いていない110名以上)
- ・ ウォーターフロントにしても一部の企業の活動であり広がりが少ない。大分市を未来的にグランドデザインが描かれていない。今春の高速道路開通、新大分駅OPEN、県美術館もすべて国、県事業で大分市との連携でどういうまちづくりか不明。ホルトホールにしても「スペース、席数不足」で中途半端で使えない。駅前広場も規制が多く使用しにくい。(法人会員数不明)